

国際交流戦略に基づく分野別及び国・地域別交流の進め方

令和5年12月末現在

本県がこれから進めていく『岐阜県国際交流戦略』に基づいて、「1 分野別交流の方向性」においては、重点的な7つの柱（分野）の政策の方向性、主な実績及び今後の取組事例を示した。

また、「2 国・地域別交流の方向性」においては、主要な国・地域における岐阜県との交流の方向性及び主な交流事例について示したものである。

なお、これら分野別及び国・地域別の交流事例は、固定的なものではなく、今後、追加・再編等を行い、国際交流戦略の現状と成果について、適宜、見直しを実施していく。

【目次】

1 分野別交流の方向性

(1) 県民主体の国際交流の支援	2
(2) 頑張る企業の国際展開を後押しする支援	10
(3) 海外からの誘客戦略の積極的展開	29
(4) 我が国の国際貢献の一翼を担う国際協力事業の積極的展開	41
(5) 外国人の県民と共に歩む多文化共生社会の実現	46
(6) 国際化時代に対応した人づくり	58
(7) 国際交流戦略を支える基盤整備	61

2 国・地域別交流の方向性

(1) アジア・大洋州地域	63
(2) 欧州地域	84
(3) 北米地域	102
(4) 中南米地域	107
(5) アフリカ・中近東地域	109

1 分野別交流の方向性

(1) 県民主体の国際交流の支援

～県民のための世界各国・地域との多様な友好交流～

①これまでの取組実績

○岐阜県ハンガリー友好協会とハンガリーとの交流

- ・日本ハンガリー友好協会と協調し、岐阜県民とハンガリー国民相互の理解と親睦を図り、世界平和に寄与することを目的として発足 (H6)
- ・「ハンガリーの夕べ」と「ぎふ・リスト音楽院マスターコース」を二本の柱として、両地域間を結ぶ友好交流事業を実施
- ・ボハール駐日ハンガリー共和国大使の就任 (H19. 10) を歓迎した「駐日ハンガリー大使歓迎懇親会」を開催 (H19. 12)
- ・ハンガリー・ヴェスプレーム県のラストヴィツァ議長が県を訪問。友好協会が県内各地の視察に同行し、下呂市、多治見市、岐阜市で歓迎懇親会を開催 (H20. 4)
- ・ハンガリー・ヴェスプレーム県のパンノン大学において開催された「日本の日」に、県ハンガリー友好協会が岐阜県紹介ブースを設置 (H22. 10)
- ・ハンガリー・ヴェスプレーム県にある町「アイカ」において、アルミニウム精錬工場の工業廃液を溜めるダムが決壊し、有害物質を含んだ廃液が流出する事故が発生 (H22. 10)。県ハンガリー友好協会及びライオンズクラブ国際協会 334-B 地区が、汚染物質の空中飛散対策用のマスク 42 万枚 (240 万円相当) を寄贈 (H22. 11)
- ・日本・ハンガリー外交関係開設 150 周年記念事業として、ハンガリーの人形劇公演を県図書館で実施 (R1. 8)

○ブダペスト温泉公社と下呂温泉観光協会との交流

- ・令和元年 5 月、ブダペスト温泉公社と下呂温泉観光協会との間で、温泉を軸とした、観光交流覚書を締結
- ・下呂温泉合掌村でハンガリー温泉写真展を開催 (R1. 8～9)

○岐阜日仏協会とニューカレドニア（フランス）との交流

- ・H24 年 6 月にヌメア（ニューカレドニア）で開催する日本人移民 120 年祭の実行委員会会長を務めるマリー＝ジョゼ・ミッシェル駐ヌメア日本国名誉領事らが来岐 (H23. 10)。同記念行事の一環で、岐阜日仏協会が参加予定の日本フェスティバルについて協議
- ・岐阜日仏協会会員が日本人移民 120 年祭に参加。浴衣の着付けや郡上踊り等を通して交流 (H24. 7)

○ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会とモロッコ、モナコとの交流

- ・岐阜県民とモロッコ王国民相互の理解と親睦を図るため、「ぎふ・モロッコ王国同好会」が発足 (H17. 10)

- ・モナコ公国との交流も行っていくこととし、組織名を「ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会」に改組（H18. 4）
- ・モロッコ王国がバラ 500 株（H19. 3）、400 株（H20. 1）を寄贈
- ・知事のモロッコ訪問に合わせ同好会が訪問団を派遣。知事が署名した「岐阜県とウジュダ・アンガッド府の友好交流に関する覚書」に立会（H19. 8）
- ・（財）花の都ぎふ花と緑の推進センターが花フェスタ記念公園内にバラを国花とするモロッコ王国の庭園「モロッコ・ロイヤルローズガーデン」を整備（H20. 10）
- ・駐日モロッコ大使を招いた「カサブランカ・ナイト」を開催（H18. 11, H19. 10, H20. 10, H21. 10, H22. 10）
- ・「花フェスタ 2015 ぎふ」開会式に、駐日モロッコ王国特命全権大使及び同好会会長が参加し、続いて「モロッコ・ロイヤルローズガーデン」にて大使・同好会会長らが知事とともに記念植樹に参加（H27. 5. 16）
- ・花フェスタ記念公園で知事、駐日モロッコ王国大使館全権公使及び同好会会長らが参加し、県と駐日モロッコ王国大使館の主催で日本・モロッコ王国外交関係樹立 60 周年記念行事「モロッコウィーク」を開催（H28. 10. 8～12）
- ・花フェスタ記念公園で、知事、駐日モロッコ王国特命全権大使、公使、日本モロッコ協会長、同好会会長らが参加し、「岐阜県とウジュダ・アンガッド府の友好交流に関する覚書」締結 10 周年、また、ラシャッド・ブフラル大使の初めての岐阜訪問を記念した植樹式を開催（H29. 10. 7）。また、H29. 10. 7～8 を「モロッコデイ」と位置付け、花のミュージアム前芝生広場やモロッコ・ロイヤルローズガーデン周辺にモロッコスーク（市場）をイメージした本場モロッコのグルメ、雑貨、ショッピングの他、ベリーダンスなどステージショーを展開
- ・知事のモロッコ訪問に、同好会会長（在岐阜モロッコ王国名誉領事）らが同行し、「岐阜県とマラケシュ・サフィ州の友好交流に関する覚書」および「岐阜県とウジュダ・アンガッド府との友好交流に関する覚書」の追加文書への調印に立会（H30. 4. 23～24）
- ・花フェスタ記念公園での「春のバラまつり&モロッコデイ、ぎふ国際ローズフェスティバル」の開会式に知事、駐日モロッコ王国特命全権大使、公使、日本モロッコ協会長、同好会会長（在岐阜モロッコ王国名誉領事）らが参加（H30. 5. 12）
- ・岐阜県とモロッコ王国との共同プロジェクトとして、モロッコ王国との友好交流の証である、ぎふワールド・ローズガーデン内「モロッコ・ロイヤルローズガーデン」の改修工事を実施し、「モロッコガーデン」としてオープンした。オープニングセレモニーには、寛仁親王妃信子殿下の御臨席のもと、知事、モロッコ王国政府関係者らが参加（R4. 10. 15）

○在岐阜モロッコ王国名誉領事の就任

- ・岐阜県とモロッコ王国との友好交流のさらなる発展に向け、社会医療法人厚生会 理事長 山田 實紘氏が、モロッコ王国外務国際協力省から、中部地区で初となるモロッコ王国名誉領事に就任（H30. 3）
- ・美濃加茂国際交流協会新事務所にて在岐阜モロッコ王国名誉領事館を開館（H30. 11. 4）

○岐阜ボランティアサークルのモロッコでのボランティア活動

- ・同サークルが、ウジュダ・アンガッド府他を訪問し、アラビア語による手作り絵本の寄贈や、読み聞かせ等のボランティア活動を実施 (H23. 3、H24. 3、H26. 3)

○岐阜・エジプト友好協会の発足

- ・岐阜県民とエジプトの相互理解と友好を深めることを目的として、親睦会開催や、在岐のエジプト人留学生との交流を行う岐阜・エジプト友好協会が発足 (H23. 3)

○岐阜県ペルー友好協会の発足

- ・岐阜県民とペルー国民の相互理解と友好・親睦を深め国際交流に貢献することを目的として、岐阜ペルー友好協会が発足 (H22. 11)

○岐阜・ベトナム友好協会の発足

- ・岐阜県とベトナムとの友好関係の構築・発展を目的とするとともに、その実現のために、岐阜とベトナムとの友好交流促進に資する学術、経済、文化等の交流支援や、関係諸機関及び関係団体との連携並びにネットワークの構築などの活動を行う団体として、岐阜・ベトナム友好協会が発足 (H28. 2)

○岐阜・リトアニア友好協会の発足

- ・岐阜県とリトアニアとの友好交流のさらなる発展に向け、オール岐阜の体制で多面的かつ多彩な活動に取り組んでいくため、各界の協力のもと、岐阜・リトアニア友好協会を発足 (H29. 12)

○在岐阜リトアニア共和国名誉領事の就任、リトアニア経済視察団の派遣

- ・岐阜県とリトアニアとの友好交流のさらなる発展に向け、岐阜県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長（株式会社十六銀行 取締役頭取当時）が、リトアニア共和国外務省からの任命を受け、中部地区で初となるリトアニア共和国名誉領事に就任 (H29. 12)
- ・在岐阜リトアニア共和国名誉領事を団長とするリトアニア経済視察団（岐阜県商工会議所連合会、岐阜商工会議所合同）を派遣。カウナス市と岐阜市の企業との間で、リトアニア産蜂蜜の輸入に関する覚書（日本への輸入、及び日本での普及促進に関して相互協力を行う合意）に調印 (H30. 9)
- ・リトアニア産蜂蜜を使用した鮎菓子の発売開始 (R1. 7)
- ・リトアニア産ベリーを使用したパン・焼き菓子の限定発売 (R2. 8)

○美濃市とイタリア・アマルフィ市が「紙の文化交流」友好協定の締結

- ・アマルフィ紙の産地であるアマルフィ市と美濃市は、2013 年から「紙」を通じた交流を開始。両市は、手漉き紙の需要の低迷や後継者不足から伝統文化・伝統産業を守っていくことが困難な状況にあり、お互いが世界に向けて情報発信を行い、伝統文化の維持保存や手漉き紙を活用したまち（地域）づくり、販路拡大を目指し、「紙の文化交流」友好協定を締結 (H25. 5)

○白川村・合掌造り集落と韓国・安東(アンドン)市河回村が「姉妹世界遺産集落」締結

- ・朝鮮王朝時代の姿を残し、H22. 8 に世界遺産に登録された韓国安東市河回村（ハフェマウル）と世界遺産・白川郷の荻町集落は、1998 年頃から相互訪問の形で交流を深めていたが、今後、近代化と調和の取れた景観保全に向け、知識や技術の情報交換を図っていくために「姉妹世界遺産集落」を締結（H23. 12）

○東アジア諸国の青少年との交流

- ・外務省による「21 世紀東アジア青少年大交流計画」により、中国、韓国及び ASEAN 諸国の中高生の受入及び派遣を実施
 - 岐阜県立大垣東高等学校 インド高校生受入（H21. 5）
 - 岐阜県立郡上高等学校 ベトナム高校生受入（H21. 7）
 - 学校法人飛騨学園高山西高等学校 中国高校生受入（H22. 5）
 - 岐阜県立岐阜農林高等学校 インド高校生受入（H22. 6）
 - 岐阜県立郡上高等学校 中国高校生受入（H22. 11）
 - 麗澤瑞浪中・高等学校 インドネシア中高生受入（H23. 6）
 - 岐阜県立可児高等学校 インド高校生受入（H23. 11）
 - 岐阜県立大垣東高等学校 ネパール高校生受入（H26. 2）

○在京大使等県内地域視察

- ・宮内庁主催外交団鶴飼の翌日に、本県に対する理解を深めて頂くとともに、在京大使等各国キーパーソンとのネットワーク構築及び海外からの観光誘客を図ることを目的として、大使等を県内の主要施設や観光地等へ案内する事業を実施（H24～）
 - ※R2～4 は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○県下自治体の姉妹都市友好提携、県下自治体の外国都市との友好交流、学校の姉妹提携の例及び国際交流団体の例

- ・（公財）岐阜県国際交流センターホームページ『姉妹提携の窓』、『国際交流団体の窓』参照
(<http://www.gic.or.jp/aboutgic/publication/window/>)

○飛騨地酒ツーリズム協議会とアルザスワイン街道が「友好宣言」を締結

- ・アルザスワインで著名なアルザス州オ＝ラン県の「アルザスワイン街道」と飛騨地域の酒蔵などで組織する「飛騨地酒ツーリズム協議会」との間で友好宣言が取り交わされ、ワインと日本酒を通じた民間団体同士の交流・連携開始（H26. 4）

○県内友好団体等が実施する江西省との交流への支援

- ・県内友好団体及び県林政部職員が江西省を訪問し、同省内森林公園において関係者と協働による植樹活動等を実施（H26. 10）
- ・江西省林業訪問団が岐阜県を訪問し、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に

関する覚書」に基づく今後の交流方針について協議したほか、県内各地の森林・林業関係の施設を視察（H31. 4）

- 中国江西省と友好協力の覚書の締結に合わせて交流事業を実施
- ・岐阜県と中国江西省との友好提携30周年を記念し、知事他県内関係者約80名が江西省を訪問。同省森林公園における記念植樹、中国江西省直屬機関第二保育院において木育教室を開催（H30. 11）
- ・中国江西省を訪問し、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」に基づき、令和2年度以降の交流の詳細について協議を行ったほか、江西省各地の森林・林業関係の施設を視察（R1. 12）
- ・中国江西省直屬機関第二保育院の幼児を対象にオンラインによる「ぎふ木育教室」を開催（R2. 12、R3. 12）
- ・中国江西省直屬第五幼稚園の幼児を対象にオンラインによる「ぎふ木育教室」を開催（R4. 12）
- ・岐阜県と中国江西省との友好提携35周年を記念し、副知事他県内関係者約40名が江西省を訪問。同省林業科学院における記念植樹、中国江西省直屬第五幼稚園保育院において木育教室を開催（R5. 11）
- ・中国江西省林業局から研修員を受入れ（R5. 6～11）
- ・中国江西省林業局へ研究員を派遣（R5. 11～12）
- ・中国環境工程学院の学生が森林文化アカデミー等を訪問（R5. 11）

○高山市とフランス・コルマール市の協力協定締結

- ・高山市とフランス・アルザス州のオ＝ラン県コルマール市との間で、経済及び観光分野において互いに発展することを目的とした「協力協定」を締結（H26. 11、R1. 11 更新）

○白川村とフランス・リクヴィルが「友好協力推進宣言」に調印

- ・「フランスの最も美しい村」の1つとして認定されているフランス・アルザス州のオ＝ラン県にあるリクヴィルと白川村が、相互に友好協力関係を推進していくことを目的として、「友好協力推進宣言」に調印（H26. 11）

○岐阜県、高山市、下呂市とフランス陸上競技連盟が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用に関する基本合意書を締結

- ・2020年東京オリンピックに向け、フランス陸上競技連盟が2017年から2020年までの間、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施する旨の基本合意書を岐阜県、高山市、下呂市の三者と締結（H27. 11）

○岐阜県、高山市、下呂市とイギリスオリンピック委員会が2020年東京オリンピック事前合宿時における飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用に関する契約書を締結

- ・イギリスオリンピック委員会が2020年東京オリンピックの事前合宿として使用する飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアについて、対象施設、実施競技、合宿期間等を定めるとともに、合宿期間中に英国代表チームと地元住民との交流の場を設ける旨を定めた契約書を岐阜県、高山市、下呂市の三者と締結（H29. 11）

○岐阜県とカナダ陸上競技連盟が 2020 年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿時における岐阜メモリアルセンター利用に関する一般合意書を締結

- ・カナダ陸上競技連盟が 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿として使用する岐阜メモリアルセンターについて、対象施設、合宿期間等を定めるとともに、合宿期間中にカナダ代表チームと地元住民との交流の場を設ける旨を定めた一般合意書を岐阜県と締結（H30.11）

○東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前合宿の実施、ホストタウン交流

- ・岐阜メモリアルセンター及び平田リバーサイドプラザにおいて、カナダ（陸上・パラ陸上）が事前合宿を実施し、県内児童・生徒らによるビデオメッセージ等や折り紙金メダルの贈呈などでの選手団の歓迎やオンライン交流会、公開練習などを実施（R3.7（陸上）、R3.8（パラ陸上））
- ・川崎重工ホッケースタジアムにおいて、オランダ（ホッケー）が事前合宿を実施し、県内小学生とのオンライン交流会を実施（R3.7）

○八百津町とリトアニア・カウナス市が交流合意書締結

- ・杉原千畝「命のビザ」発給の地であるリトアニア・カウナス市と八百津町が、将来に向けた友好関係を築く合意書を締結（H28.7）
- ・カウナス市と八百津町が、教育・文化・観光分野における協力合意書に署名（H31.2）

○ホストタウン交流計画の登録

- ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施する、イギリス、フランス、アメリカを相手国とする交流計画【県・高山市・下呂市の共同申請】（H28.1）
- ・川崎重工ホッケースタジアムで合宿を実施する、オランダを相手国とする交流計画【県・各務原市の共同申請】（R2.5）
- ・スロバキアを相手国とする交流計画【岐阜市】（H28.12）
- ・スリランカを相手国とする交流計画【羽島市】（H29.7）
- ・イスラエルを相手国とする交流計画【八百津町】（H29.12）
- ・カナダを相手国とする交流計画【県・岐阜市】（H30.12）
- ・コートジボワールを相手国とする交流計画【岐阜市・関市】（H30.12）
- ・アメリカを相手国とする交流計画【中津川市】（H31.4）
- ・コロンビア・マダガスカルを相手国とする交流計画【郡上市】（H31.4）
- ・ポーランドを相手国とする交流計画【恵那市】（R1.10）

○サラマンカ大学創立 800 周年(2018 年)の交流事業

- ・サラマンカ大学が 2018 年に 800 周年を迎えるにあたり日本における記念事業を岐阜で実施するため、実行委員会(会長：岐阜大学学長)を立ち上げ（H29.1）
- ・プレイベント「名フィル 50 周年記念岐阜特別公演」をサラマンカホールで開催（H29.2）
- ・サラマンカ大学、岐阜薬科大学、岐阜大学の学術連携基本協定締結式及びサラマンカ大学創立 800

周年記念コンサートをOKBふれあい会館で開催（H30.4）

- ・サラマンカ大学日西文化センター「美智子さまホール」において、サラマンカ大学創立 800 周年記念「岐阜の地歌舞伎」公演を開催したほか、地歌舞伎衣裳や美濃和紙の技術と工芸品などを展示する企画展を開催（H30.10～11）

○関ヶ原町とアメリカ・ゲティスバーグ区、関ヶ原古戦場とゲティスバーグ古戦場が姉妹協定を締結

- ・ゲティスバーグ古戦場が所在するゲティスバーグ区と関ヶ原町は、住民の交流促進と住民同士の相互理解の促進に関する姉妹都市協定を締結（H28.9）
- ・ゲティスバーグ古戦場を管理するゲティスバーグ国立軍事公園と関ヶ原古戦場は、史跡や施設の維持管理、展示協力等に関する姉妹古戦場協定を締結（H28.9）
- ・姉妹古戦場協定に基づく取り組みとして、ゲティスバーグ国立軍事公園より、ゲティスバーグの戦いで使用された軍服等が紹介展示用に寄贈され、関ヶ原町歴史民俗資料館にて公開展示を実施（H30.11～）
- ・岐阜県と関ヶ原町より、関ヶ原の戦いで使用された甲冑のレプリカを手作りで製作し、ゲティスバーグ国立軍事公園に紹介展示用に寄贈（H31.3）
- ・岐阜関ヶ原古戦場記念館オープンにあたり、ゲティスバーグ区及びゲティスバーグ国立軍事公園から、ビデオメッセージを受領（R2.10）

○関ヶ原古戦場とベルギー・ワーテルロー古戦場が姉妹協定を締結

- ・ワーテルロー古戦場を管理する団体「L' intercommunale bataille Waterloo 1815」と関ヶ原町は、史跡や施設の維持管理、展示協力等に関する姉妹古戦場協定を締結（H29.8）
- ・岐阜関ヶ原古戦場記念館オープンにあたり、ワーテルロー古戦場管理団体から、ビデオメッセージを受領（R2.10）

○ONSEN・ガストロノミーウォーキングによる交流促進

- ・ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構とアルザス観光機構が、古田知事、オ＝ラン県副議長等の立会いの下に、岐阜県とアルザスで開催するガストロノミーツーリズムの相互PRを目的とした連携協定を締結（H29.9）
- ・ONSEN・ガストロノミーウォーキングの県内普及を図るシンポジウムを開催し、アルザスにおける取組みを県内に発信（H30.5）
- ・ONSEN・ガストロノミーウォーキング in 奥飛騨・平湯温泉にオ＝ラン県議会議長らを招聘し、奥飛騨の魅力をPR（H30.5）

○岐阜県人会インターナショナル（GKI）の発足

- ・国内外の岐阜県人会（当初 26 団体）が、「岐阜愛をつなぐ」を合言葉に国際間の県人会同士をつなぐ、岐阜県と世界をつなぐ、岐阜県への恩返し、の 3 点について取り組むべく、オンライン上でGKIを設立した。（R3.5）
- ・コロナ禍で直接的な交流ができない中、オンラインを活用した新たな国際交流のスタイルとして

スタートし、「第1回岐阜県人世界大会」を岐阜県で開催。国内外の岐阜県人会員が岐阜に集結した(R4.9)

②令和5年度取組予定

○県民、市町村、企業、NPOの国際活動への支援

- ・県は、県民のニーズを把握し、県民の国際活動が円滑に行えるよう、日頃から在日外国公館、外務省など関係機関と積極的にネットワークを構築
- ・県民のニーズを把握し、県の親書の受け渡しなど臨機応変に便宜供与や支援を実施
- ・国際交流センターの助成事業などによる支援を実施
- ・県の友好交流先等で培った人材やノウハウなどを提供

○県の友好交流を更に推進

- ・県の友好交流を推進するとともに、市町村や民間団体等主体の交流との連携・協働を行うなど、県民の交流を支援（県の友好交流先には、市町村や民間主体の交流へと発展している例（中国・江西省、ブラジル岐阜県人会など）あり）

○岐阜の良き理解者づくり

- ・在日外国公館など海外から来県された方々に対しては、岐阜県の良き理解者となっていただけるよう、市町村と連携し、もてなしの心で対応

○県内友好団体等が実施する江西省との交流への支援

- ・江西省林業局の訪問団が岐阜県を訪問し、県内各地の森林・林業関係の施設を視察

○中国江西省林業局との交流

- ・中国江西省林業局から研修員の受入れを予定
- ・森林教育等の学術交流を実施

○海外古戦場との連携

- ・コロナ禍で止まっていたゲティスバーグ、ワーテルロー両古戦場との交流を、まずはオンライン会議から再開するとともに、今後の新たな連携事象を実施予定

○ハンガリー・ヘレンド社との連携

- ・ハンガリー・ヘレンド社との友好協力に関する覚書を締結。覚書において、両者の陶磁器文化・産業の交流促進、人材交流について合意(R3.9.29)
- ・陶磁器産業の振興に資する交流として、セラミックパークMINOにおいて「セラミックバレーと世界の陶磁器展～美濃焼とハンガリーの名窯ヘレンド～」を開催(R3.9.30～10.17)

- ・ハンガリー・ヘレンド陶器博物館において「美濃焼展」を開催（R5.9.2～10.1）するとともに、美濃焼製造企業からヘレンド社への人材交流（派遣）を実施。

○ONSEN・ガストロノミーウォーキングによる交流促進

- ・フランス・アルザス欧州自治体関係者を招聘してONSEN・ガストロノミーウォーキングを実施予定

（２）頑張る企業の国際展開を後押しする支援

～産業・農林業振興のための海外との交流～

① これまでの取組実績

○地場産品等の海外市場展開の強化・促進

- ・地場産品等の海外市場展開を強化・促進するため、「中小企業販路開拓等支援事業費補助金」により県内中小企業等が実施する海外展示会出展事業の経費を助成
- ・県の海外プロモーションにおいて、県内蔵元参加による地酒 PR 及び現地輸入業者とのマッチングの機会を設定
- ・海外の主要都市に県産品を販売するパートナー拠点として、連携型アンテナショップを構築（9 国・地域 15 店舗）
- ・連携型アンテナショップ等におけるテストマーケティング、現地向け商品開発の実施
- ・海外バイヤーとの商談会の開催
- ・海外の日本産品物産展に出展（台湾：H26.11）
- ・本美濃紙がユネスコ無形文化遺産に認定されたことを受け、ロンドン、パリ、スイスにおいて美濃和紙展示会とテストマーケティングを実施（H27.11）
- ・海外デザイナーと連携した新商品開発を実施（アトリエ・オイ社パトリック・レイモン氏：H26～H30、R2、R4 セバスチャン・コンラン氏：H27～H30）
- ・岐阜県ハラルチャレンジプロジェクトとして、イスラム市場向けセミナーや商談会の開催、展示会への出展、専門家派遣を実施（H27～R5）
- ・海外デザイナーと連携した新商品等を国際見本市にて発表・展示（アトリエ・オイ社：H28.4、H29.4、H30.4（ミラノサローネ） セバスチャン・コンラン氏：H29.1、H30.1、H30.1（メゾン・エ・オブジェ））
- ・国際見本市へ出展し県産品のプロモーション実施（アメリカ：H30.2）
- ・新たな美濃和紙ブランドを披露するため、アメリカ・ニューヨーク、フランス・パリ、イタリア・ミラノの 3 箇所で展示会を開催（H29.3）
- ・海外販売に自力では取り組めない事業者の県産品をとりまとめ、海外向けにインターネット販売する事業者等を支援（H30）
- ・県産品販売・情報発信拠点「ザ・ギフト・ショップ」と連携した海外向けインターネット販売を行う事業者への支援（R1）
- ・新たな美濃和紙ブランドの認定商品を PR するため、北米最大規模の展示会「NY NOW」に初めて出

展 (H30. 2)

- ・美濃和紙商品をPRするため、在シンガポール日本大使館のジャパン・クリエイティブ・センターが開催した和紙人形展に出展 (H30. 9)
- ・リトアニアの最高級ホテルにおいて八百津町の地酒の販売開始 (H30. 夏～)
- ・美濃和紙、美濃和紙商品をPRするため、ジャポニスム 2018 公式企画展第6回「伝統と先端と～日本の地方の底力～」に出展、テストマーケティングを実施 (H31. 2)
- ・英国大規模百貨店と連携した県産品フェアを開催 (H31. 4, 5)
- ・香港貿易発展局主催の香港インターナショナルワイン&スピリッツフェアに岐阜県ブースを出展し県内酒蔵が日本酒をPR (H30、R1、R5)
- ・KURA MASTER 審査員を講師とした日本酒セミナーを開催 (R2. 1)
- ・中国のSNS ツール「WeChat」内の特設サイトにおいて県産品を販売し、中国市場における県産品の販路拡大を支援 (R2、R3)
- ・米国 EC サイト「Amazon」(R3、R5)「eBay」(R3)「shopify」(R5)にて県産品を販売
- ・欧州 EC サイト「Amazon」にて県産品を販売 (R4)
- ・リヨン「WASHOKUイベント」において、県産日本酒のPRを実施。(R4)

○(公財)岐阜県産業経済振興センター (GPC) による県内企業の海外市場展開支援

- ・県内企業を募り、中国国際工業博覧会(H15～27)、台湾「Food Taipei」(H23)、中国華東輸出入商品交易会 (H23)、シンガポール「Oishii JAPAN」(H24)、香港「Food Expo」(H25～R1)、ベトナム「MTA VIETNAM」(H28～H30)、タイ「タイ・メタレックス展示会」(H25～R1、R5)、上海「FHC」(R2)、タイ・ベトナム「FBC アセアンものづくり商談会」(R3～4)に出展。中国(含む香港)、台湾、シンガポールにおける販路拡大やパートナーの発掘を目的として出展する県内企業を支援
- ・専門家による海外ビジネス個別相談会やセミナー、アドバイザー派遣、海外ビジネス人材育成塾を開催し、県内企業に必要な知識と情報を提供
- ・海外展示会出展をより効果の高いものとするため、現地のビジネス事情に詳しい専門家をアドバイザーに委嘱し、出展企業のブースで商談支援を実施
- ・富山県と連携してアジアバイヤー招へいによる商談会を開催 (H23～R2)
- ・県内中小企業が海外で行う交渉等に国際ビジネスの専門家を同行させて現地で支援を実施
- ・韓国の産業振興関連団体と経済・人材交流に関する協定を締結するとともに、相互の中小製造業による商談会を開催
- ・海外販路開拓に意欲的な県内中小企業の支援を強化するため、「海外販路開拓チャレンジ支援助成金」により、①国際見本市への出展経費、②外国語表記自社ホームページの作成経費、③外国意匠・外国商標の出願経費の一部を助成(H24)
- ・成長著しいアジア・アセアン諸国への展開支援のため、海外ビジネス環境セミナーや現地企業とのビジネス交流・商談会を開催 (H27：韓国 H28：韓国、H29：韓国、タイ・ベトナム、H30：韓国、タイ)
- ・県内企業の海外展開を促進するため、韓日ビジネス商談会(旧韓国部品素材商談会)を開催。(H24～R2)

- ・沖縄大交易会参加における、県内中小企業の基本参加料の 1/2 を助成 (R1~R4)

○日本貿易振興機構 (JETRO) 岐阜貿易情報センター

- ・JETRO が主催・参加する海外展示会・商談会への出展、地場産品等の中小業者で構成される団体が
行う海外見本市への出展を支援
- ・最新の海外ビジネス動向を把握するためのセミナー、貿易実務を習得するための講座、JETRO 認定
アドバイザーによる個別相談会等を開催
- ・海外調査・情報提供事業の他、進出企業に対し海外 JETRO 事務所での支援を実施
- ・海外からバイヤーを招聘し、県内企業との商談会を実施

○グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ (G N I) 活動を通じた海外企業誘致

- ・「中国国際工業博覧会」にG N I ブースを出展し、グレーター・ナゴヤ地域の P R を行うとともに、
同行県内企業が商談を実施 (上海、H22. 11)
- ・アジア・ビジネス・ラウンド事業を開催し、日中韓タイ 4 カ国の企業関係者が参加した各国投資環
境セミナー、商談会、県内企業視察を実施 (岐阜市、H22. 9)
- ・「ファンボロー国際航空宇宙展」に参加し、グレーター・ナゴヤ地域の P R セミナーを開催 (イギ
リス、H22. 7、H24. 7)
- ・日欧産業協力センター主催研修事業を受入れ、欧州企業幹部による県内企業等の視察を実施 (H22. 6)
- ・岐阜大学留学生を対象としたインダストリアルツアーを開催し、県内企業を視察 (H22. 9、H23. 9、
H24. 9、H25. 9)
- ・パリにG N I ミッションを派遣し、仏政府機関、対日投資関心仏企業との意見交換等を実施 (H23. 6、
H25. 6)
- ・「クリーン・エネルギー・エキスポ・アジア」にG N I ブースを出展し、グレーター・ナゴヤ地域の
P R を行うとともに、共同出展した県内企業が商談を実施 (シンガポール、H23. 11)
- ・「フランス-グレーター・ナゴヤ経済投資セミナー」を開催し、双方向の経済投資を促進 (H24. 5)
- ・「2012 年国際航空宇宙展」にG N I ブースを出展し、グレーター・ナゴヤ地域を P R (H24. 10)
- ・海外研究機関を招聘し、グレーター・ナゴヤ地域企業とのマッチングを実施 (H25. 1、H25. 11)
- ・日本進出済のドイツ及びフランス企業を対象に二次投資セミナーを開催し、グレーター・ナゴヤ地
域を P R (H25. 2)
- ・日本進出済の台湾企業を対象に二次投資セミナーを開催し、グレーター・ナゴヤ地域を P R (H26. 3)
- ・「英国ファンボロー航空エアショー」へG N I によるミッション派遣を実施。その中でG N I シン
ポジウムを開催し、欧州航空関連企業や航空関連クラスターに対してグレーター・ナゴヤ地域を P
R (H26. 7)
- ・日本進出済のドイツ企業を対象に二次投資セミナーをG N I として開催し、グレーター・ナゴヤ地
域を P R (H27. 3)
- ・「パリ航空エアショー」へG N I によるミッション派遣を実施。G N I シンポジウムを開催し、海
外の航空機関連企業に対して岐阜県を含むグレーター・ナゴヤ地域を P R (H27. 6)
- ・外国報道機関、外国政府機関を対象に「グレーター・ナゴヤ・ビジネスセミナー」を開催し、グレ

- ーター・ナゴヤ地域をPR (H28. 5)
- ・「英国ファンボロー航空エアショー」へGNIによるミッション派遣を実施。GNIシンポジウムを開催し、欧州航空関連企業や航空関連クラスターに対してグレーター・ナゴヤ地域をPR (H28. 7)
- ・欧州の航空宇宙クラスター関係者をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し、シンポジウムを通してグレーター・ナゴヤ地域をPR (H28. 10)
- ・タイのミッション団をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し域内企業とのビジネス商談会及びインダストリアルツアーを実施 (H29. 4)
- ・パリにGNI ミッションを派遣し、仏関係機関、対日投資に関心を示す仏企業等との意見交換等を実施 (H29. 6)
- ・フランス航空機関連クラスターと(一社)中部航空宇宙産業技術センター及びGNIが両地域の航空機産業の発展を共通目的としたMOUを締結 (H29. 9)
- ・エアロマートナゴヤ2017の開催に合わせ、欧州航空機産業クラスター(フランス、ドイツ、トルコ)からのキーパーソン来訪を受け、両地域の連携強化のための意見交換会及びテクニカルツアーを実施 (H29. 9)
- ・フランス企業視察団をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し域内企業とのビジネス商談会、意見交換会及びインダストリアルツアーを実施 (H29. 12)
- ・タイのミッション団をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し域内企業とのビジネス商談会及びインダストリアルツアーを実施 (H30. 4)
- ・GNI協議会でRBC (Regional Business Conference) 事業に招聘する企業の発掘を目的として、ドイツ及び中国にミッションを派遣。対日投資意欲の高い企業を訪問し、グレーター・ナゴヤ地域をPR (H30. 11、12)
- ・GNI協議会で「RBC (Regional Business Conference) in グレーター・ナゴヤ」を開催し、6か国(アメリカ、イスラエル、スイス、スペイン、ドイツ、中国)19社の外国企業を招へい。グレーター・ナゴヤ地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施 (R1. 10)
- ・スペインバスク自治州とオンラインにて、「コロナ禍における日本とスペインの経済状況や、対日投資の現状、日本の投資環境および2021年に予定されている両国の企業間でのオンラインマッチング」について、意見交換を実施 (R2. 12)
- ・ドイツバイエルン州とオンラインにて、「今後の継続的な交流と、2021年に予定されている両国の企業間でのオンラインマッチング」について、意見交換を実施 (R3. 3)
- ・ドイツバイエルン州の外国企業とオンラインにて、外国企業との連携促進による新たなイノベーション創出を目的として、プレゼンセミナーとビジネスマッチングを実施 (R3. 11)
- ・スペインバスク州の外国企業とオンラインにて、外国企業との連携促進による新たなイノベーション創出を目的として、プレゼンセミナーとビジネスマッチングを実施 (R3. 11)
- ・ベトナム・ハイフォン市企業の訪日に合わせ、域内企業とのビジネスマッチングを実施 (R4. 9)
- ・ドイツバイエルン州にGNI ミッションを派遣し、州政府機関、独研究機関・企業との意見交換等を実施 (R4. 11)
- ・タイ企業とオンラインにて、域内企業とのビジネスマッチングを実施 (R5. 1)

- ・日英経済連携（EPA）の活用によるビジネスメリットや実務の紹介を目的として、英国・イングランド北部ビジネスチャンスセミナーをオンラインにて実施（R5. 2）
- ・マレーシアミッション団（航空関係企業 5 社、公的機関 4 者）へのインダストリアルツアーを実施。（R5. 9）

○航空宇宙産業の海外展開を支援

- ・「2012 年国際航空宇宙展（JA2012）」への県内企業 5 社の出展を支援（H24. 10）
- ・「東京国際航空宇宙産業展 2013」への県内中小企業 8 社の出展を支援（H25. 10）
- ・「グレーターナゴヤ海外航空関連企業セミナー in 岐阜」を開催し、海外航空関連情報を提供（H25. 12）
- ・「英国ファンボロー航空エアショー」へ G N I によるミッション派遣を実施し、欧州航空関連企業と県内企業の意見交換・交流を実施（H26. 7）
- ・「エアロマート名古屋 2014」への県内中小企業 8 社の出展を支援（H26. 9）
- ・「エアロマート・トゥールーズ 2014」への県内企業出展に合わせて、各務原市長を代表としたミッションを派遣し、トゥールーズ市やトゥールーズ商工会議所、エアバス社及び関連 Tier1 企業を訪問（H26. 12）
- ・県内中小企業参加のもと、「パリエアショー2015」に航空宇宙産業ミッションを派遣。エアバス社をはじめ機体メーカーのブースを訪問し、本県における航空宇宙産業の集積状況や関連企業の実績・技術力を PR（H27. 6）
- ・「東京エアロスペースシンポジウム 2015」への県内中小企業 8 社の出展を支援（H27. 10）
- ・「2016 年国際航空宇宙展」（東京）への県内中小企業等 8 者の出展を支援（H28. 10）
- ・「エアロマート・トゥールーズ 2016」（フランス）開催に合わせて、県内企業等参加のミッション団を派遣。現地航空関連企業を訪問し、県内企業との交流および商談支援を実施（H28. 11）
- ・「パリエアショー2017」（フランス）開催に合わせて、県内企業等参加のミッション団を派遣。また、アルザス地域における現地航空関連企業を訪問し、県内企業との交流および商談支援を実施（H29. 6）
- ・「エアロマート名古屋 2017」への県内中小企業 9 社の出展を支援（H29. 9）
- ・「2018 年国際航空宇宙展」への県内中小企業 8 機関（15 社）の出展を支援（H30. 11）
- ・「エアロマート・トゥールーズ 2018」への県内中小企業 2 社の出展を支援（H30. 12）
- ・「エアロマート名古屋 2019」への県内中小企業 8 社の出展を支援。また、合わせて開催された「日仏ワークショップ」にて、本県における航空宇宙産業の状況や主要企業の PR を実施（R1. 9）
- ・「シンガポールエアショー2020」への県内中小企業 2 社の出展を支援（R2. 2）
- ・「エンジンフォーラム神戸」への県内中小企業 4 社の出展を支援（R2. 10）
- ・「エアロマート名古屋 2021」への県内中小企業 11 社の出展を支援（R3. 10）
- ・「エンジンフォーラム神戸」への県内中小企業 4 社の出展を支援（R4. 10）
- ・「エアロマート名古屋 2023」への県内中小企業 11 社の出展を支援（R5. 9）

○医療福祉産業の海外展開を支援

- ・「Arab Health 2020」 ジャパンパビリオンへの県内企業 2 社の出展を支援 (R2. 1)
- ・「Arab Health 2021 Online showcase」 (JETRO 主催) への県内企業 2 社の出展を支援 (R3. 5～7)
- ・「Arab Health 2023」 ジャパンパビリオンへの県内企業 1 社の出展を支援 (R5. 1～3)
- ・「Arab Health 2024」 ジャパンパビリオンへの県内企業 1 社の出展を支援 (R6. 1～2)

○部材産業の海外展開を支援

- ・県内企業の海外展開を促進するため、ベトナム投資・促進事業をホーチミンとハノイ開催し、商談会、セミナー、投資環境調査を実施 (H28. 11、H29. 2)
- ・県内企業のベトナム進出・取引拡大など投資活動の促進を図るため、ベトナム企業経営者と県内企業との交流会を県内で実施。(H29. 6)

○県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校と中国・無錫機電高等職業学校との交流

- ・県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校と無錫機電高等職業学校との間で、中国からの留学生受入に関する協定を締結 (H18. 5)。平成 20、22 年度に 1 名ずつ受け入れ。

○外国人起業活動の促進

- ・県内で起業を望む外国人に対し、「IT、IoT等関連分野」と「観光分野」を対象に、起業準備のための在留を認める制度（通称：スタートアップビザ）の申請受付を開始 (H31. 4. 22)

○アジアにおける農畜水産物の販路開拓

中国

- ・平成 20 年度から中国への農産物等の販路開拓に取り組み、県主体による上海市内の百貨店（上海梅龍鎮伊勢丹百貨）での岐阜県観光物産展におけるりんごの試験販売を実施 (H22. 10)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、上海、江西省における花きの市場動向、消費動向調査を実施 (H26. 8～9)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、広州における花き市場動向調査を実施。(H29. 1)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、広州における花き市場動向調査を実施。(H29. 7 及び H30. 3)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、江西省で行われた友好提携 30 周年のレセプション会場で県産花きを使用した花飾りを制作。このため、中国の大手花き関連企業と連携し県産切花の輸送を実施。(H30. 11)

香港

- ・天皇誕生日祝賀レセプションにて、飛騨牛、富有柿等の PR を実施 (H20～H22)
- ・岐阜県農林水産物輸出促進協議会（以下「輸出促進協議会」。事務局：全農岐阜県本部）が主体となり平成 16 年度から香港の百貨店等において岐阜県産の富有柿等の農産物フェアを毎年継続して開催 (H30 : SOGO、YATA 等)

- ・平成 20 年度からは飛騨牛の香港への輸出を開始し、飛騨牛を取り扱うレストラン等の海外推奨店認定（H20～）、流通業者・レストラン関係者等へ飛騨牛を P R する飛騨牛プロモーションの開催（H23. 1）、継続した飛騨牛フェアの実施により、販路を開拓（H31. 2 現在現在 飛騨牛海外推奨店 6 店舗）
- ・県内食肉処理施設の JA 飛騨ミートが、香港向けの飛騨牛の輸出施設として認定取得（H22 年度 ※ それ以前は県外施設で委託処理）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱レストランあるいは取扱意向のレストラン関係者の産地招聘を実施（H24 年度～）（H31. 3）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、花きの市場動向、消費動向調査、日本植物輸出協議会主催の花き展示会に花きを出品・P R を実施（H26. 12、H27. 2、H28. 12、H29. 12）
- ・飛騨桃輸出を実施（H28～）、飛騨りんごの輸出を実施（H29～）
- ・香港高級百貨店「Y A T A」と香港における県産農産物のブランド力向上に関する覚書を締結（H30. 11）。
- ・香港のミシュラン星付きレストランでは初となる飛騨牛海外推奨店を認定するとともに 4 店舗で飛騨牛メニューフェアを開催（H30. 11）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、高級花き店舗で県産花きの展示販売を実施。（H30. 11）
- ・協力覚書を締結している高級百貨店「Y A T A」の C E O を招聘し、飛騨牛・鮎・枝豆などの産地を紹介（R1. 6）
- ・同国初となる鮎・枝豆の販売フェアを「Y A T A」にて開催（R1. 7）
- ・鮎・富有柿の販売フェアを「Y A T A」にて開催（R2. 11）
- ・柿のアフタヌーンティーセットをフレンチビストロ「Briketenia」にて販売（R3. 11）
- ・鮎・富有柿の販売フェアを「Y A T A」にて開催（R3. 12）
- ・鮎の販売フェアを「Y A T A」にて開催（R4. 11）
- ・富有柿の販売フェアを「Y A T A」にて開催（R4. 12）
- ・岐阜いちごの販売フェアを「Y A T A」にて開催（R5. 3）

台湾

- ・清流の国ぎふ花の大商談会に、台湾の花のバイヤーを 3 名招待し、岐阜県産の花きの P R を実施（H28. 3）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱レストランあるいは取扱意向のレストラン関係者の産地招聘を実施（H30. 6）
- ・輸出促進協議会主体で台湾初の飛騨牛メニューフェア及び農産物フェアを開催（H31. 2）
- ・現地の大手食品卸「メイフル」と連携し、高級レストランにおいて飛騨牛プロモーションを実施（R5. 7）
- ・有名レストラン 4 店舗にて、飛騨牛メニューフェアを開催（R5. 7）

韓国

- ・国際花きシンポジウムに、韓国花き輸出連合組織の代表理事を招聘し、花きの活用方法や輸出をテ

ーマとしたパネルディスカッションを実施 (H28.3)

○アセアン地域における農畜水産物の販路開拓

- ・輸出促進協議会による輸出の取組を加速化させるため、平成 21 年度から県が主体となり、タイ、シンガポールへの販路開拓に着手
- ・JA 飛驒ミートが、タイ向け、シンガポール、フィリピン、ベトナム向けの飛驒牛の輸出施設として認定取得 (タイ向け：H21 年度、シンガポール向け：H22 年度、フィリピン向け：H25 年度、ベトナム：27 年度)

インドネシア

- ・在インドネシア日本国大使公邸における交流会で柿とりんごの展示 PR (H25. 10. 11)
- ・平成 28 年 11 月に熊本県のゼンカイミートにより飛驒牛のハラール処理、12 月にインドネシアへ輸出。平成 29 年 3 月 7 日に現地レストランシェフを中心に試食会を開催。
- ・現地高級レストラン 3 店舗にて飛驒牛メニューフェアを開催 (H30. 3. 12~18)
- ・天皇誕生日祝賀レセプションにて飛驒牛 (H30) や地場産品を PR (H24~H26、H30)
- ・イスラム圏で初めての飛驒牛メニュー化決定を受け、飛驒牛メニューお披露目会を開催し、飛驒牛を PR (H30. 7)
- ・天皇誕生日祝賀レセプションで飛驒牛を PR (H30. 11)

マレーシア

- ・販路開拓を図るため、日本国大使公邸で開催されたレセプションへ桃やメロンなどを出展し、知事によるトップセールスを実施 (H22. 8)。
- ・日本国大使館主催の天皇誕生日レセプションへ富有柿 (H26~H29) 及び H29 年 11 月の牛肉輸入解禁を受け飛驒牛等を PR し、経済界関係者等への売り込みを実施 (H26~H29)
- ・日本食レストラン「天」でマスコミ、富裕層を招待して鮎を PR するとともに、鮎メニューの提供を 1 か月間実施 (H27. 11)
- ・富有柿フェア (伊勢丹 KLCC 他 2 店舗) にて富有柿の食材提供及び展示 P R (H29)
- ・富有柿・いちごフェア実施 (H28. 12)
- ・マレーシア政府の臨時許可を受けて飛驒牛を輸出し、自衛隊記念祝賀レセプション (在マレーシア日本大使公邸) にて提供・P R (H29. 7)
- ・現地食肉販売店での飛驒牛オンライン販売キャンペーンを実施 (R3. 2)
- ・飛驒牛を現地販売店「Jonetz by Don Don Donki」にて販売 (R3. 12)
- ・飛驒牛の販売フェアを現地販売店「Jones by Don Don Donki」にて開催 (R4. 11~12)
- ・「Jonetz by Don Don Donki Lot10」を対象に、飛驒牛海外推奨店認定式を開催するとともに、同店で飛驒牛フェアを開催 (R5. 7)
- ・5 つ星ホテル内にある高級レストラン「勘八」を対象に、岐阜鮎海外推奨店認定式を開催 (R5. 7)
- ・有名レストラン 3 店舗にて、飛驒牛・岐阜鮎フェアを開催。

フィリピン

- ・岐阜県 PR レセプション（在比日本大使公邸）にて 飛騨牛と鮎を現地要人へ PR。（H27. 7）
- ・天皇誕生日祝賀レセプション（在比日本大使公邸）にて飛騨牛等を PR（H27～H29）

シンガポール

- ・百貨店（伊勢丹スコッツ店（H21～24 年）、明治屋（H25～））で富有柿等の農産物フェアを継続開催
- ・日本食の大規模見本市（Oishii JAPAN 2012）で積極的な飛騨牛 P R と商談により販路開拓（H24. 11）
- ・飛騨牛の輸出拡大に向け、シンガポールにおいて知事トップセールスによる飛騨牛フェアを開催（H24. 2）、この飛騨牛フェアにおいて、新たに飛騨牛海外推奨店を 1 店舗認定し取り扱い店舗を順次拡大（H30. 2 現在 飛騨牛海外推奨店 2 店舗）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱意向のレストラン関係者の産地招聘を実施（H24～25 年度）
- ・日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにおいて富有柿及び飛騨牛等を PR し、経済界関係者等への売り込みを実施（H22～24 年度）
- ・「葵匠」を海外推奨店に認定するとともに、マスコミ等を対象に飛騨牛や県産農産物を試食 P R（H25. 10）
- ・MIKUNI（スタンフォードホテル内）で開催したセレブリティシェフにて、飛騨牛と鮎を P R（H26. 9）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、シンガポールにおける花きの市場動向、消費動向調査を実施（H26. 12）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、日本の花き文化を紹介するため、日本植物輸出協議会主催の花き展示会において、県産花きを PR（H27. 12）
- ・国際花きシンポジウムに国立公園庁の職員を招へいし、花きの活用方法や輸出の可能性をテーマとしたパネルディスカッションを実施（H28. 3）
- ・有名レストラン 3 店舗において、岐阜鮎メニューフェアを開催（R5. 11～12）

タイ

- ・知事トップセールス（H21. 11）を受け、百貨店で富有柿を中心とする農産物フェアを開催（H21 年度～モールグループ他）
- ・日本国大使館主催の天皇誕生日レセプションにおいて飛騨牛、富有柿等を P R し、経済界関係者等への売り込みを実施（H24 年度～H27 年度）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱レストランあるいは取扱意向のレストラン関係者の産地招聘を実施（H25 年度）
- ・タイの政府関係者、マスコミ、流通業者、レストラン関係者等を招待して知事トップセールスによる飛騨牛フェア（コンラッドバンコクホテル）を開催（H25. 10）
- ・日本食レストラン「きさら」において鮎のメニューフェアと商談会を開催するとともに、「きさら」ほか 9 店舗で鮎メニューの提供を 2 か月間実施（H27. 11）（H27. 12）
- ・岐阜県農産物（富有柿・いちご）フェア（サイアムパラゴン店他 9 店舗）を開催
- ・在タイ日本国大使公邸における岐阜県プロモーションで飛騨牛、鮎等の試食、展示 PR（H28. 5）
- ・天然鮎需要調査のため、タイの高級日本食料理店へ天然鮎のマーケティング調査を実施

(H28. 7、H29. 8)

- ・タイにおける岐阜県の農産物等の認知拡大等に向けて、タイ大手小売企業であるセントラルフードリテール社と人事交流に関する覚書を締結。(H28. 9. 30)
- ・新規輸出品目である飛騨りんごをセントラルリテールにてテスト販売 (H28. 12)
- ・富有柿・いちごフェア実施 (H29. 1、H30. 1)
- ・人事交流の覚書に基づき、セントラルフードリテール社のバイヤーを招聘し研修や商談会を開催 (H29. 2)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの市場・消費動向調査を実施 (H29. 3)
- ・セントラルフードリテール社へ飛騨牛専門職員を派遣 (H29. 6、H29. 8)
- ・セントラルフード社でクッキングショーにより飛騨牛と鮎を PR 販売 (H30. 8)
- ・平成 29 年度から県産鮎プロモーション及び商談会をコンラッドバンコクホテルにて開催 (H29, H30)
- ・岐阜鮎海外推奨店制度を立ち上げ、バンコクの日本食レストラン「きさら」を対象に第 1 号店の認定式を開催 (R1. 11)
- ・セントラルフードリテール社と連携し、鮎・いちごを PR 販売 (R3. 2)
- ・セントラルフードリテール社と連携し、鮎を PR 販売 (R4. 3)
- ・セントラルフードリテール社と連携し、いちごを PR 販売 (R5. 3)

ベトナム

- ・岐阜県観光・食・モノ PR レセプション (在越日本大使公邸 (ハノイ)、総領事公邸 (ホーチミン)) にて飛騨牛を現地要人へ PR。H27. 7)
- ・飛騨牛の取扱に前向きな現地飲食店オーナーの産地招聘 (H27)
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの新たな輸出先国としての可能性を探るため、花きの市場動向、消費動向調査を実施 (H27. 7、H28. 5)
- ・ベトナム国ガバメントゲストハウスにおける飛騨牛フェアの開催 (H28. 5)
- ・海外では初となる県産鮎の調理講習会を開催 (H30. 11)
- ・天皇誕生日祝賀レセプションにて飛騨牛等を PR (H29～) (H30. 11)

○EU 地域における農畜水産物の販路開拓

- ・新たな輸出先国を開拓するため、平成 26 年度から県が主体となり、フランス向けの輸出ルート開拓に着手 (H26. 10、試験輸送実施、県外施設で委託処理)
- ・フランスにおいて知事トップセールスによる「岐阜県・飛騨牛フェア」等を開催 (H26. 11)
- ・平成 27 年に JA 飛騨ミートが EU 向けの飛騨牛の輸出施設として認定取得し、EU 向け輸出が可能になったため、出発式及びレセプションを開催、本格的な EU 向け輸出の開始
- ・平成 27 年度には、フランスに加えてイギリスでも市場開拓を本格化し、11 月にはロンドンで初めて飛騨牛フェア等を開催した他、パリでも 2 年連続で飛騨牛プロモーションを実施。
- ・在リトアニア日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにて、飛騨牛等の PR を実施 (H27)
- ・平成 28 年度は、フランス、イギリスにおいて飛騨牛プロモーションを実施。
- ・平成 29 年度は、スペインへ飛騨牛を初輸出し現地シェフを対象に調理講習会等を実施したほか、

- フランス、イギリスの現地高級レストランにおいて飛騨牛メニューフェアを開催。
- ・平成 30 年度は、フランス、イギリス、スペインで飛騨牛メニューフェアを実施
 - ・フランスにおける県産農産物のブランド化に向け、パリ市内のショップ兼レストラン「ダローザ」とメニュー開発や情報発信に関する覚書を締結（H29. 11）
 - ・昨年度に続き「ダローザ」との連携によるメニュー開発・フェアを開催（H30. 4 月岐阜いちご、6 月飛騨牛、8 月飛騨桃、9 月岐阜枝豆、10 月岐阜柿、1 月飛騨やまっこ）
 - ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花き生産及び輸出の先進地であるスペイン及びオランダの生産、流通に関する調査を実施。（H29. 11）
 - ・ダローザオリジナル飛騨牛弁当を限定販売（R2. 12）
 - ・「ダローザ」にて、6 か月間にわたり飛騨牛フェアを開催（R3. 9～R4. 2）
 - ・「ダローザ」にて、飛騨牛フェアを開催（R5. 1）
 - ・在ポーランド日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにて、飛騨牛の PR を実施（R5. 2）
 - ・「ダローザ」にて、飛騨牛フェアを開催（R5. 8～9）

○アメリカにおける農畜水産物の販路開拓

- ・平成 27 年に、JA 飛騨ミートがアメリカ向けの飛騨牛の輸出施設として認定取得し、本格的なアメリカ向け輸出を開始。
- ・アメリカにおいて、知事トップセールスによる「飛騨牛メニューフェア」等を開催（H28. 9）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱意向のあるレストラン関係者の産地招聘を実施（H30. 6）
- ・アメリカに岐阜柿を初輸出し、飛騨牛と合わせて現地プロモーションを開催（H30. 11）
- ・ワシントン D. C. において、オンラインにより飛騨牛プロモーションを実施（R4. 3）
- ・在ロサンゼルス日本国総領事館主催の天皇誕生日祝賀レセプションにて、飛騨牛の PR を実施（R2. 2、R5. 3）
- ・ロサンゼルスのレストランにて、飛騨牛メニューフェアを開催（R5. 2）

○オーストラリアにおける農畜水産物の販路開拓

- ・平成 30 年に JA 飛騨ミートがオーストラリア向けの飛騨牛の輸出施設として認定取得し、輸出が可能になったため、出発式を開催（H30. 7）
- ・単独ブランド牛では全国初となるプロモーションを開催（H30. 8）
- ・天皇誕生日祝賀レセプションで飛騨牛を PR（H30. 12）
- ・同国初となる飛騨牛の知事トップセールスを実施（R1. 9）
- ・大手食肉卸「グローバルミート社」と飛騨牛のブランド力強化に関する協力覚書を締結（R1. 9）
- ・高級かつ人気のレストラン 2 店舗「NOBU(メルボルン)」「6 HEAD(シドニー)」を対象に飛騨牛海外推奨店認定式を開催（R1. 9）
- ・岐阜鮎のプロモーション輸出を行い、商業目的での輸出解禁を見据え現地 PR を実施（R1. 9）
- ・グローバルミート社と連携し、同国初の飛騨牛メニューフェアを開催（R1. 10）
- ・同国が求める生産園地及び梱包施設の登録を行い、岐阜柿のテスト輸出を実施（R1. 11）
- ・グローバルミート社と連携し、家庭用「飛騨牛すき焼きセット」を販売（R3. 2）

- ・日本初となるオーストラリア向けいちごの輸出を記念し出発式を開催（R3.2）
- ・天皇誕生日祝賀レセプション（在豪日本大使公邸、在メルボルン日本総領事公邸）にて飛騨牛、いちごをPR（R4.2）
- ・「岐阜いちごメニューフェア」を、メルボルンのレストラン等3店舗、キャンベラのレストラン1店舗にて開催（R4.2）
- ・グローバルミート社と連携し、家庭用「飛騨牛焼肉セット」を販売（R4.2）
- ・グローバルミート社の幹部職員を飛騨牛産地に招聘（R5.2～3）
- ・天皇誕生日祝賀レセプション（在メルボルン日本総領事公邸）にて、飛騨牛、いちごをPR（R6.2）
- ・グローバルミート社と連携し、メルボルンのワイナリーで飛騨牛プロモーションを実施（R6.3）

○江西省との花き交流の促進

- ・本県と江西省の花き分野での交流を進めるため、生産者、関係機関と共同で、花きの品種・品目の情報交換や研修員の受入など、交流促進に向けた取組について調査を実施（H20.7）
- ・本県と江西省の花き分野での交流を進めるため、「岐阜県園芸特産振興会と江西省花卉協会との花卉産業についての交流促進覚書」の取り交わしを支援（H20.11）
- ・本県と江西省の花き分野での技術交流を進めるため、受け入れる研修員や研修内容などについて調査を実施（H21.12）
- ・江西省の花き分野に関わる人材育成並びに技術協力を進めるための研修員の受入を実施（H22・23年度事業（CLAIR事業）、2カ年で2名受入れ、H22.7～11、H23.8～12）
- ・江西省の花き生産状況調査及びH23年度花き研修員候補者面談を実施（CLAIR事業、H23.1）
- ・江西省の花きの消費動向や流通事情の実態調査及び江西省の花きの物流拠点である広州市における花き流通の現状を調査（CLAIR事業、H24.2）
- ・江西省の花き産業育成支援を目的に、本県が有する流通ノウハウや生産者の経営理念などを江西省の花き業界関係者に広く紹介するセミナーを実施（H24.11、H25.2）
- ・江西省の花き産業育成支援を目的として、中国江西省の農業専門家及び花き界のリーダーを受け入れ、県内花き生産企業視察等を実施（H25.8、10）
- ・友好提携25周年記念事業の一環として、岐阜県代表団が江西省を訪問した際、花きセミナーを実施（H25.11）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花き生産者等6名が江西省を訪問し、江西省農業庁長との面談、農業科学院等の訪問を実施（H26.9）
- ・江西省の花き分野の技術交流等を進めるため、中国江西省の農業科学院及び農業庁職員を受け入れ、研究施設や県内生産企業、農業フェスティバル等の視察を実施（H27.10）
- ・清流の国ぎふ花の大商談会に、中国江西省の花きバイヤー2名を招待し、岐阜県産花きのPRを実施。（H28.3）
- ・国際花きシンポジウムに、江西省花卉協会会長を招聘し、花きの活用方法や輸出をテーマとしたパネルディスカッションを実施（H28.3）
- ・岐阜県園芸特産振興会花き部会及び農政部職員が江西省を訪問し、江西省花卉協会と中国への花きの輸出に向けた意見交換を実施。（H28.8）

- ・江西省農業庁職員 21 名が来岐し、農業技術センター及び生産施設を視察 (H28. 10)
- ・江西省花卉協会訪問団 35 名が来岐し、岐阜花き流通センターで開催された商談会及び生産施設を視察 (H29. 2)
- ・岐阜県園芸特産振興会花き部会と江西省花卉協会との間で交わした覚書締結から 10 周年を迎え、両者の交流をさらに進めるため「花き産業発展に関する覚書」の締結を支援 (H30. 11)
- ・岐阜県産の花き(切花)を初めて輸送し、友好提携 30 周年記念のレセプション会場において、県産花きを使用した花飾りを制作 (H30. 11)
- ・農政部長と花き生産者 5 名らが江西省農業庁を訪問し、副農業庁長と面談 (H30. 11)

○ミネラルウォーターの海外市場開拓

- ・財団法人岐阜県産業経済振興センターに設けた基金を活用し、シンガポールにおいてレセプション等でのミネラルウォーターの提供や交流会での現地企業との情報交換 (H22. 8)。中国上海において万博パビリオンでの展示や百貨店での展示販売等 (H22. 10)。APEC 中小企業大臣会合において展示や提供を実施 (H22. 9～10)。シンガポールにおいて飛騨牛フェア等の岐阜県プロモーション活動でのミネラルウォーターの PR 及び提供、現地企業との情報交換を実施 (H24. 2)

○県産木材製品の海外市場開拓

- ・財団法人岐阜県産業経済振興センターに設けた基金を活用し、岐阜県産の木材製品を海外へも販路拡大するため、韓国において展示会への出展等(「田園住宅博覧会 (H22. 9)」、「第 25 回 MBC 建築展示会 (H23. 2、H24. 1)」、「キョンヒャンハウジングフェア (H23. 2、H24. 2)」)により PR 活動を実施。また中国における市場調査 (H23. 1)、韓国において「(社) 韓国木造建築技術協会との意見交換会 (H24. 1)」を実施
- ・韓国において市場調査 (H27. 2) を実施
- ・木材関係事業者、輸出支援団体、県等で構成する「岐阜県産材輸出推進協議会」を設置 (H27. 3)
- ・(社) 韓国木造建築技術協会が県内の木材加工施設等を視察研修 (H27. 5. 19～5. 21)
- ・県内事業者 4 社と県が、韓国キョンヒャンハウジングフェア 2016 に県産材製品を出展 (H28. 2. 24～28)。本フェア期間中に、韓国木造建築技術協会との共同セミナー (H28. 2. 25) 及び韓国木材産業等視察研修 (H28. 2. 26) を開催
- ・県産材の海外輸出に向けた県内事業者の取組みに対して助成 (H27 年度)
- ・県内事業者 5 社と県が、韓国「KOREA BUILD 2017」に県産材製品等を出展 (H29. 2. 22～26)。本フェア期間中に、(社) 韓国木造建築技術協会との共同セミナー (H29. 2. 25) を開催
- ・県産材の海外輸出に向けた県内事業者の取組みに対して助成 (H28 年度)
- ・韓国内で住宅建築に携わる大工など技術者が県立森林文化アカデミーや木材加工工場等で研修 (H29. 5. 24～5. 26)
- ・県と県内事業者が台湾で木材産業調査を実施 (H29. 12. 13～12. 15)
- ・県内事業者 6 社・団体と県が、韓国「KOREA BUILD 2018」に県産材住宅や県産材製品等を出展 (H30. 2. 22～25)。本フェア期間中に、(社) 韓国木造建築技術協会との共催で日本式木造軸組住宅建築技術セミナー (H30. 2. 24) を開催

- ・ 県産材の海外輸出に向けた県内事業者の取組みに対して助成 (H29)
- ・ 韓国内で住宅建築に携わる大工など技術者が県立森林文化アカデミーや木材加工工場等で研修 (H30. 5. 30～6. 1)
- ・ 県と県内事業者が中国で木材産業調査を実施 (H30. 7. 20～7. 21)
- ・ 台湾において県内事業者 5 社とともに県産材製品を展示・販売する常設展示場を開設 (H30. 11. 9～5 ヶ月間)。また、展示場にてセミナーを開催 (H30. 12. 15)
- ・ 県内事業者 4 社・団体と県が、韓国「KOREA BUILD 2019」に県産材住宅や県産材製品等を出展 (H31. 2. 20～24)。本フェア期間中に、(社) 韓国木造建築技術協会との共催で日本式木造軸組住宅建築技術セミナー (H31. 2. 23) を開催
- ・ 県産材の海外販路拡大、海外技術者育成及び県産材海外 P R 施設整備に取り組む県内事業者に対して助成 (H30)
- ・ 県産材を一定量以上使用し、海外で建設する住宅を設計又は施行する工務店・設計士等に対して助成 (H30)
- ・ 韓国技術者向けに日本式木造軸組住宅の加工や建築技術を紹介する研修会を開催 (R1. 5. 16～18)
- ・ 台湾での常設展示場を引き続き設置し、セミナー開催 (R1. 7. 27)、商談会と体験イベント (R1. 11. 8～10) を開催
- ・ 中国での建材博覧会に県内事業者 2 社と出展し、県産材製品を出展し P R を実施 (R1. 12. 5～8)
- ・ 台湾での建材展に県内事業者 2 社と出展し、県産材製品を出展し P R を実施 (R1. 12. 12～15)
- ・ 県産材の海外販路拡大 (6 社)、海外技術者育成及び県産材海外 P R 施設整備 (1 社) に取り組む県内事業者 7 社に対して助成 (R1)
- ・ 台湾での常設展示場を引き続き設置し、オンラインによるセミナーと商談会を開催 (R2. 10. 30)
- ・ 台湾での台北建材展 (台湾・台北) に県内事業者 3 社が出展し、県産材製品を P R (R2. 12. 10～13)
- ・ 県産材の海外販路拡大 (1 社)、県産材海外 P R 施設整備 (1 社) に取り組む県内事業者 2 社に対して助成 (R2)
- ・ 台湾での常設展示場を引き続き設置し R4. 1. 31 まで展示、オンラインによるセミナーと商談会を開催 (R3. 11. 5)
- ・ 中国に向けた木材製品輸出についての研修会 (R3. 12. 6)、オンラインセミナー (R4. 1. 12)、オンライン商談会 (R4. 2. 22) を開催。県内事業者 4 社がオンライン商談会に参加
- ・ 県産材の海外販路拡大 (1 社)、海外技術者育成 (1 社) 及び県産材海外 P R 施設整備 (1 社) に取り組む県内事業者 3 社に対して助成 (R3)
- ・ 台湾に向けた木材製品輸出についてオンラインによるセミナー及び商談会 (R5. 2. 24) を開催。県内事業者 4 社がオンライン商談会に参加

○インターネットを活用した地場産品等の海外市場開拓

- ・ 楽天 (株) との包括協定プロジェクトの一環として、同社が運営している海外ユーザー向けのインターネットサイト「楽天海外販売」において、今後の市場拡大が期待される中国語圏市場をターゲットとした「岐阜クラフト観光展」を開催 (H22. 2)
- ・ 平成 22 年度には、より広い市場をターゲットにアメリカやオーストラリア、香港、シンガポール

等英語圏の国々に向けて、「岐阜県海外フェア 2010」として英語で開催。出店店舗に対しては、ホームページの英語翻訳サービスを行うほか、海外取引に係る勉強会を開催することで、店舗の海外への販路開拓・販売拡大の取り組みを支援(H22. 12)

- ・平成 23 年度には、楽天市場利用者に人気のポイント企画を集客の目玉として、「岐阜県×楽天市場タイアップ 海外配送で抽選で 100 名に 1 万ポイントがあたる」として英語圏、中国語圏向けにフェアを開催。前年度に引き続き、無料の英語翻訳サービスや事例発表による勉強会を実施 (H23. 12)
- ・令和 2、3、4 年度に、海外バイヤーと県内モノづくり事業者や日本酒事業者とのオンラインによる商談会を開催。中国の SNS ツール「WeChat」内に特設サイト「日本岐阜県跨境商城」を開設し、県産品を販売 (R2. 12～R3. 2)
- ・米国 EC サイト「Amazon」(R3, R5)「eBay」(R3)「shopify」(R5)にて県産品を販売
- ・欧州 EC サイト「Amazon」にて県産品を販売 (R4)

○国際会議等を活用した県内産業等の P R

- ・岐阜市で開催された「APEC 中小企業大臣会合」において、県内産業や地場産品、農産物及び観光資源などを、歓迎行事や展示 P R、エクスカージョンなどの参加者にアピールし、岐阜県の魅力をアジア太平洋地域に向けて情報発信 (H22. 10. 2-3)

○内装に東濃ヒノキを使用したラッピングショップ「MIWA」のオープン

- ・「都市と森とをつなぐ交流モデル」の構築で県と包括的事業連携協定を締結した一般社団法人モア・トゥリーズの関連会社が、東濃ヒノキを高級材としてパリに売り込む拠点となるラッピングショップ「MIWA」をオープン (H24. 10)

○県立森林文化アカデミーとオーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ大学(UNSW)との交流

- ・県立森林文化アカデミーと UNSW は平成 16 年度から短期の交換授業として学生の相互交流を開始。UNSW から平成 23 年度は学生 5 名、平成 24 年度は 4 名を同アカデミーで受け入れ

○大手損害保険会社と連携した県内企業の海外事業支援

- ・「県内企業の海外事業支援に関する協定」を締結した三井住友海上と連携し、ビジネスセミナーを実施 (H24. 11)

○モノづくり産業グローバル人材育成事業（緊急雇用創出事業）

- ・県内企業に生産技術者等として就職を希望する求職者を対象に、県内企業等での研修と海外研修を組み合わせた人材育成事業を実施 (H25、H26)

○ドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州(BW州)との連携強化

- ・知事と BW 州フランツ ウンターシュテラー 環境・気候・エネルギー大臣等との間で、人的交流等により BW 州から先進的な技術を学ぶことで築かれた友好関係を一層深め、両県州相互の森林環境の保全及び林業の振興等を図る覚書を締結 (H25. 5. 22)

- ・県立森林文化アカデミーとBW州・ロッテンブルク林業大学との間で、知事、BW州テレジアバウアー科学・研究・芸術省大臣、ロッテンブルク市長立会いのもと、技術交流・人材交流等の連携覚書を締結（H26. 11. 10）
- ・県内森林技術者育成カリキュラムを開発するため、CLAIR 事業（自治体国際協力促進事業）を一部活用し、ドイツから森林技術者を招へい（H26. 9. 30～10. 3）
- ・岐阜県版次世代住宅の普及に対応できる施工技術者を育成していくため、国際たくみアカデミーとBW州フライブルク市のリヒャルト・フェーレンバッハ職業学校との連携に向けた両校協議等を実施（H26. 11）
- ・BW州太陽エネルギー・水素研究センター（Z S W）と共同研究等の覚書を締結した岐阜大学と連携し、県が事務局を務める岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアムの主催で、Z S Wの研究者による講演会を開催（H28. 9. 6）
- ・副知事がBW州政府農村・消費者保護省を表敬訪問し、同省事務次官等と森林文化アカデミーとロッテンブルク林業大学との連携覚書期間（～H31. 11）の延長を見据え、今後の連携の深化について協議（H30. 9. 5）
- ・林政部長及び森林文化アカデミー副学長がBW州農村・消費者保護省を訪問し、同省事務次官や林政部長とアカデミーとロッテンブルク林業大学との連携が一層深化するようBW州及び県の支援についての意見交換を実施（R1. 10. 22）
- ・KWF 林業機械技術展について、令和2年6月30日～7月7日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期
- ・森林文化アカデミー学長及び副学長が、BW州政府食料・農村地域・消費者保護省を表敬訪問し、森林文化アカデミーと同省及びロッテンブルク林業大学との今後の連携強化について同省大臣と意見交換を実施（R5. 5. 10）
- ・BW州政府食料・農村地域・消費者保護省大臣及び農林業関係の企業代表が岐阜県を訪問し、森林文化アカデミーの視察、農業・林業分野での企業連携等について知事や県内企業代表者等と意見交換を実施（R5. 10. 2-3）

○県立森林文化アカデミーとドイツBW州・ロッテンブルク林業大学（HFR）との交流

- ・全国育樹祭記念行事「2015 森林・林業・環境機械展示実演会」において、HFRペルツ教授による特別講演、BW州林業架線機械メーカー技術者による製品紹介を2日間開催（H27. 10. 11～12）
- ・HFR学部生を森林文化アカデミーで2か月間のインターンシップ受入。県内民間林業事業者での現地実習等を通じて、受入事業者技術者へのドイツ林業技術の教育普及の一環とした（H27. 10～11）
- ・HFR等におけるドイツ林業・林産業技術者教育手法等を森林文化アカデミーの教育に導入するため、同校教員が訪独調査研究に着手（H27. 10～11 訪独）
- ・県森林技術開発・普及コンソーシアム（事務局：森林文化アカデミー）が県内林業関係事業者12社を引率し、BW州の林業等事情調査と同州企業とのビジネスミーティングを実施（H27. 11. 1～10）。これを契機に個別具体的な新商品開発等の検討開始
- ・BW州でドイツ・ロッテンブルク林業大学等と共催で日独林業シンポジウムを開催するとともに、

- 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに、ドイツ森林環境教育等の調査を実施
(H28. 6. 3～13)
- ・ H F R 主催のサマーセミナーに学生 3 名が参加 (H28. 9. 10～20)
 - ・ 翔風祭行事「日独木造建築シンポジウム」において、H F R デドリッヒ教授による特別講演開催
(H28. 11. 10～13)
 - ・ H F R 教授と教育連携を進めるため、本学教員の情報交換・学生及び一般向けシンポジウムの開催。
(H28. 11～12)
 - ・ H F R 等におけるドイツ森林環境教育・建築流通システム等を森林文化アカデミーの教育に導入
するため同校教員 3 人が訪独調査 (H29. 3. 12～30)
 - ・ 森林文化アカデミーにおいて、2 か月間、H F R 学部生をインターンシップ受入 (H29. 8～9)
 - ・ H F R 主催のサマーセミナーに学生 1 名、教員 1 名が参加 (H29. 9. 16～24)
 - ・ B W 州でドイツ・ロッテンブルク林業大学等と共催で、ドイツ森林環境教育プログラム実習等を実施
(H29. 9. 21～10. 1)
 - ・ 岐阜県内においてドイツ・ロッテンブルク林業大学等と共催で日独林業シンポジウムを開催し、大
学間の連携強化、ドイツ企業と連携した商品開発を促進 (H29. 11. 6～9)
 - ・ H32 年度に森林文化アカデミーに開設予定の「森林総合教育センター (仮称)」の基本構想を練るた
めの木造建築デザインワークショップを実施し、その過程についてロッテンブルク林業大学と情
報共有 (H30. 2. 26～3. 4)
 - ・ 森林総合教育センター (仮称) 建設及びドイツ林業等の調査のため森林文化アカデミー教職員 6 名
が訪独調査 (H30. 2～3)
 - ・ 森林総合教育センター (仮称) 整備に向けたプログラム開発のため、森林文化アカデミー教員 1 名
が訪独・訪英し、英国の森林環境教育プログラム「フォレストスクール指導者育成コース」を受講
(H30. 3. 7～16)
 - ・ ドイツ等の欧州における林業機械・獣害対策資材等の調査のため、森林文化アカデミー教職員 3 名
が岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施 (H30. 7. 19～26)
 - ・ H F R 主催のサマーセミナーに森林文化アカデミー学生 3 名、教員 1 名が参加。(H30. 9. 15～27)
 - ・ 森林総合教育センター (仮称) の開校に向けた教育プログラムの実践研修のため、森林文化アカデ
ミー教員 1 名が訪独 (H30. 9. 23～10. 6)
 - ・ 森林文化アカデミー内においてドイツの環境教育の専門家 4 名を招聘し森林総合教育センターの
開校に向けた指導者向けセミナー等を開催 (H30. 12. 2～4)
 - ・ ドイツにおける獣害対策と林業技術の調査のため森林文化アカデミー教職員 2 名と学生 3 名が岐
阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施 (H30. 12. 2～9)
 - ・ 木造建築の授業におけるプログラム強化に向けて、ロッテンブルク林業大学と共同で木造建築デ
ザインワークショップを実施するため、森林文化アカデミー学生 2 名と教員 1 名が訪独 (H31. 2. 23
～3. 3)
 - ・ ドイツにおける林業技術と燃料用木質ペレットの調査のため、森林文化アカデミー教職員 2 名が
岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施 (R1. 9. 22～29)
 - ・ H F R において、森林文化アカデミーの学生が 1 年間留学 (R1. 6～R2. 5)

- ・森林総合教育センター（仮称）の開校に向けた森林環境教育研修のため、森林文化アカデミー教員1名が訪独（R1. 6. 30～7. 16）
- ・HFR等サマーセミナーに森林文化アカデミー学生5名が参加。（R1. 9. 15～22）
- ・HFR等森林環境教育研修へ森林文化アカデミー学生1名、教員1名が参加。（R1. 9. 20～10. 6）
- ・HFRとの連携協定の更新のため、学長や林政部長が訪独し、HFR学長とともに、11月に期限を迎える両校の連携に関する覚書の延長協定を締結した。（R1. 10. 21）
- ・森林文化アカデミーにおいて、3か月間及び6か月間、HFR学部生2名をインターンシップ受入（R1. 10～12、R1. 10～R2. 3）
- ・HFR学部生1名（林業）のインターンシップのアカデミー受入れ（R4. 8. 16～31）
- ・HFR等サマーセミナーへ学生1名、引率教員1名が参加（R4. 9. 18～25）
- ・HFR等森林環境教育研修へ学生3名、引率教員1名が参加（R4. 9. 21～10. 2）
- ・HFRにて今後のプロジェクト打合せ（森林環境教育）（R5. 5. 7～12）
- ・教員2名、学生2名によるドイツの木造建築事情の調査（R5. 5. 7～16）
- ・日独木造建築シンポジウムをHFR他にて開催、教員2名が講演（R5. 5. 11）
- ・HFRへ1名留学（R5. 9月～2月）
- ・HFR職員1名による県内植生調査（R5. 7. 19～20）
- ・HFR等サマーセミナーへ学生2名、引率教員1名が参加（R5. 9. 18～24）
- ・HFR等森林環境教育研修へ学生3名、引率教員1名参加（R5. 9. 16～10. 1）
- ・HFR教員等の来岐（狩猟・獣害対策研修）、シンポジウム「野生生物管理と獣害対策を考える」において講演（R5. 11. 19～11. 25）

○欧州の先進的な林業技術（次世代型林業架線集材）の導入

- ・木材生産において、急傾斜等で条件が不利な森林に対応できる次世代型架線集材技術を導入するため、欧州（チェコ国立メンデル大学）での技術研修会へ森林技術者を派遣（H28. 2. 12～2. 21、H29. 2. 4～2. 17）
- ・次世代型林業架線集材技術を県内に普及するため、研修用機材としてチェコ製の次世代型林業架線集材機（タワーヤーダ）を、県立森林文化アカデミーに配備し、次世代型林業架線集材研修を（H28:5回、H29:4回、H30:5回、R1:3回、R2:3回、R3:2回）実施

○国際たくみアカデミーとリヒャルト・フェーレンバッハ職業学校（RFG）との連携・協定（覚書）の締結（H27. 6）

- ・国際たくみアカデミー職業訓練指導員のRFGへの研修派遣（H27. 9）
- ・RFG指導教員を招聘し導入予定カリキュラムをフォローアップ（H28. 11）
- ・RFGから適宜助言を受けながら、岐阜県版次世代住宅の普及に対応できる施工技術者育成のための訓練カリキュラム・指導方法を国際たくみアカデミーにおいて試行導入（H29）
- ・連携協定（覚書）を更新（H30. 6. 9）
- ・施設内訓練におけるカリキュラム、プログラムを本格導入（H30）
- ・RFG指導員を招へいし意見交換会、講義、導入したカリキュラム等のフォローアップを実施

(H30. 10)

- ・連携協定（覚書）を更新（R3. 6. 9）

② 令和6年度取組予定

○地場産品の海外市場展開の強化・促進

- ・海外の主要都市に県産品を販売するパートナー拠点として連携型アンテナショップを構築
- ・連携型アンテナショップ等と連携した、現地向け商品開発とテストマーケティングの実施
- ・オンラインを活用した販路開拓の支援を目的とする米国 BtoB 向け EC サイトを活用した県産品の販売促進
- ・日本地酒 P R
- ・「中小企業販路開拓等緊急支援事業費補助金」による海外見本市の出展の助成
- ・新たな美濃和紙ブランドの認定商品を PR するため、海外展示会に出展
- ・県産品を海外向けにインターネット販売する事業者に対する支援

○（公財）岐阜県産業経済振興センター（GPC）による県内企業の海外市場展開支援

- ・案件に応じた国際ビジネスの専門家が現地交渉等に同行し、県内企業の海外展開をサポート
- ・海外の市場や投資環境に関するセミナー、ワークショップの開催
- ・海外展開全般や貿易投資に関する個別相談の実施
- ・国際ビジネスの専門家に国内で直接相談できる相談窓口を設置
- ・海外バイヤーとの商談会の開催
- ・海外見本市の現場へアドバイザーを派遣し県内出展企業をサポート
- ・アジア・アセアン諸国のビジネス環境視察や現地企業との交流・商談会を開催
- ・（公財）岐阜県産業経済振興センターが県内企業を募り、国際見本市に出展
- ・沖縄大交易会参加における、県内中小企業の基本参加料の 1/2 を助成

○活力のある海外企業の誘致

- ・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ（G N I）を通じた活力のある海外企業の誘致を推進

○外国人起業活動の促進

- ・県内で起業を望む外国人に対し、起業準備のための在留を認める制度（通称：スタートアップビザ）の活用を促進

○海外市場開拓における資金繰りの支援

- ・県内中小企業者等が行う海外への販路開拓に必要な取引先の調査や、経済連携協定により輸出拡大を行う事業に係る施設設備の整備に係る資金調達を支援

○県産農畜水産物・県産材製品の海外市場販路拡大への支援

- ・マレーシアやインドネシアの小売店、レストランにおいて販売 P R を実施

- ・生産者が実施する検疫条件に応じた生産技術導入や商談会参加等を支援

○県立森林文化アカデミーとドイツ・ロッテンブルク林業大学（HFR）との交流

- ・平成26年11月に締結した連携覚書に基づき、学生・教員等の人材交流等を実施
- ・ドイツ林業の渡航調査、森林環境教育研修会、獣害対策研修会等により、ドイツ・ロッテンブルク林業大学との連携を強化
- ・令和元年11月に更新した連携覚書に基づき、学生・教員等の人材交流等を実施
- ・林業、森林環境教育、木造建築、野生動物管理により、ドイツ・ロッテンブルク林業大学との連携を強化

○航空宇宙産業の海外展開を支援

- ・「シンガポールエアショー2024」（R6.2.20～25／シンガポール）への県内企業出展（2社）を支援

○医療福祉産業の海外展開を支援

- ・世界中の医療機器メーカーや代理店、医療従事者等が集まる有望な海外展示会のジャパンパビリオン等への県内企業出展を支援

○県産木材製品の海外市場開拓

- ・住宅関連展示会等への出展
- ・韓国の建築士等に対し、日本式木造軸組住宅に関する研修会開催等
- ・県産材の輸出に取り組む県内事業者への助成

（3）海外からの誘客戦略の積極的展開

～広域連携等を活用した重点市場からの誘客～

① これまでの取組実績

○海外向け観光キャンペーン等の実施

【海外国際旅行博覧会への出展】

- ・マレーシア）MATTA2011 出展（H23.8 クアラルンプール）
- ・シンガポール）NATAS2011 出展（H23.8 シンガポール）
- ・タイ）Discovery World2011 出展（H23.8-9 バンコク）
- ・台湾）ITF2011 出展（H23.1 台北市）
- ・タイ）TITF2012 出展（H24.2 バンコク）
- ・シンガポール）NATAS2012 出展（H24.2 シンガポール）
- ・マレーシア）MATTA2012 出展（H24.3 クアラルンプール）
- ・韓国）ハナツアー旅行博覧会（H24.5 高陽市）
- ・タイ）TITF2012 出展（H24.8 バンコク）

- ・シンガポール) NATAS2012 出展 (H24. 8 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2012 出展 (H24. 9 クアラルンプール)
- ・韓国) 釜山国際旅行博 (H24. 9 釜山市)
- ・台湾) ITF2012 出展 (H24. 10 台北市)
- ・タイ) TITF2013 出展 (H25. 2 バンコク)
- ・シンガポール) NATAS2013 出展 (H25. 2 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2013 出展 (H25. 3 クアラルンプール)
- ・韓国) ハナツアー旅行博覧会 (H25. 5 高陽市)
- ・タイ) TITF2013 出展 (H25. 8 バンコク)
- ・シンガポール) NATAS2013 出展 (H25. 8 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2013 出展 (H25. 9 クアラルンプール)
- ・韓国) 釜山国際旅行博 BITF (H25. 9 釜山市)
- ・台湾) ITF2013 出展 (H25. 10 台北市)
- ・タイ) TITF2014 出展 (H26. 2 バンコク)
- ・シンガポール) NATAS2014 出展 (H26. 2-3 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2014 出展 (H26. 3 クアラルンプール)
- ・インドネシア) ASTINDO FAIR2014 出展 (H26. 3 ジャカルタ)
- ・韓国) ハナツアー旅行博覧会 (H26. 5 高陽市)
- ・台湾) 日本の観光物産展 2014 (H26. 6 台北市)
- ・タイ) TITF2014 出展 (H26. 8 バンコク)
- ・シンガポール) NATAS2014 出展 (H26. 8 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2014 出展 (H26. 9 クアラルンプール)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (H26. 11 コルマール)
- ・台湾) ITF2014 出展 (H26. 11 台北市)
- ・タイ) FIT トラベルフェア 2014 出展 (H26. 11 バンコク)
- ・タイ) TITF2015 出展 (H27. 2-3 バンコク)
- ・ドイツ) ITB ベルリン 2015 出展 (H27. 3 ベルリン)
- ・インドネシア) ジャパントラベルフェア出展 (H27. 3 ジャカルタ)
- ・マレーシア) MATTA2015 出展 (H27. 3 クアラルンプール)
- ・シンガポール) Travel Revolution 出展 (H27. 3 シンガポール)
- ・台湾) Touch the Japan 出展 (H27. 4 台北市)
- ・中国) 上海 WTF 出展 (H27. 5)
- ・韓国) ハナツアー旅行博覧会 (H27. 6 ソウル市)
- ・香港) 香港 ITE 出展 (H27. 6)
- ・香港) 香港ブックフェア出展 (H27. 7)
- ・タイ) TITF2015 出展 (H27. 8 バンコク)
- ・マレーシア) MATTA2015 出展 (H27. 9 クアラルンプール)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (H27. 11 コルマール)

- ・英国) WTM 出展 (H27.11 ロンドン)
- ・台湾) ITF2015 出展 (H27.11 台北市)
- ・ベトナム) ジャパンフェスティバル出展 (H27.11 ホーチミン)
- ・中国杭州イオンモール観光展 (H28.1 杭州市)
- ・フィリピン) TTE 出展 (H28.2 マニラ)
- ・タイ) TITF2016 出展 (H28.2 バンコク)
- ・シンガポール) Travel Revolution 出展 (H28.2 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2016 出展 (H28.3 クアラルンプール)
- ・ベトナム) VITM 出展 (H28.4 ハノイ)
- ・中国) 上海 WTF 出展 (H28.5)
- ・韓国) ハナツアー旅行博覧会 (H28.6 ソウル)
- ・香港) 香港 ITE 出展 (H28.6)
- ・マレーシア) MATTA2016 出展 (H28.9 クアラルンプール)
- ・シンガポール) Japan Travel Fair2016 出展 (H28.10)
- ・台湾) ITF 出展 (H28.11 台北)
- ・英国) WTM 出展 (H28.11 ロンドン)
- ・ベトナム) ジャパンフェスティバル出展 (H28.11 ホーチミン)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (H28.11 コルマール)
- ・フィリピン) TTE 出展 (H29.2 マニラ)
- ・タイ) TITF2017 出展 (H29.2 バンコク)
- ・シンガポール) NATAS 出展 (H29.2 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2017 出展 (H29.3 クアラルンプール)
- ・インドネシア) ASTINDO(H29.3 ジャカルタ)
- ・米国) NY JAPAM WEEK 2017 出展 (H29.3 ニューヨーク)
- ・ベトナム) V I T M出展 (H29.4 ハノイ)
- ・中国) 上海 WTF 出展 (H29.4)
- ・中国) BITE2017 出展 (H29.6 北京)
- ・韓国) ハナツアー旅行博覧会 (H29.6 ソウル)
- ・フィリピン) TME 出展 (H29.7 マニラ)
- ・シンガポール) NATAS 出展 (H29.8 シンガポール)
- ・タイ) TITF2017 出展 (H28.8 バンコク)
- ・台湾) Touch The Japan 出展 (H29.8 台北)
- ・インドネシア) Japan Travel Fair2017 出展 (H29.8 ジャカルタ)
- ・マレーシア) MATTA2017 出展 (H29.9 クアラルンプール)
- ・フランス) ユネスコジャパンウィーク出展 (H29.9 パリ)
- ・シンガポール) Japan Travel Fair2017 出展 (H29.10 シンガポール)
- ・ベトナム) Japan Travel Festival 出展 (H29.10 ハノイ)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (H29.11 コルマール市)

- ・スペイン) FITUR 出展 (H30.1 マドリード)
- ・フィンランド) MATKA 出展 (H30.1 ヘルシンキ)
- ・米国) NY タイムズトラベルショー出展(H30.1 ニューヨーク)
- ・フィリピン) TTE 出展 (H30.2 マニラ)
- ・米国) LATAS 出展 (H30.2 ロサンゼルス)
- ・米国) Japanese Food Festival 出展 (H30.3 ロサンゼルス)
- ・米国) シートレードクルーズ出展 (H30.3 マイアミ)
- ・マレーシア) MATTA2018 出展 (H30.3 クアラルンプール)
- ・中国) SWTF2018 (上海世界旅遊博覧会) (H30.5 上海)
- ・中国) BITE2017 (北京国際旅遊博覧会) (H30.6 北京)
- ・韓国) ハナツアー博覧会 (H30.6 ソウル)
- ・シンガポール) NATAS 出展 (H30.8 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA2018 出展 (H30.9 クアラルンプール)
- ・ポルトガル) Sea Trade Cruise Med (H30.9 リスボン)
- ・シンガポール) Japan Rail Café (H30.10)
- ・タイ) FIT FAIR 出展 (H30.11 バンコク)
- ・英国) WTM 出展 (H30.11 ロンドン)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (H30.11 コルマール)
- ・スペイン) FITUR 出展 (H31.1 マドリッド)
- ・米国) NY タイムズトラベルショー出展 (H31.1 ニューヨーク)
- ・米国) LATAS 出展 (H31.2 ロサンゼルス)
- ・フィリピン) TTE 出展 (H31.2 マニラ)
- ・香港) 旅行商品販売イベント (H31.2)
- ・マレーシア) MATTA2019 出展 (H31.3 クアラルンプール)
- ・韓国) ハナツアー博覧会(H31.5 ソウル)
- ・フィリピン) TME (R1.7 マニラ)
- ・シンガポール) NATAS Holidays2019(R1.8 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA Fair(R1.9 クアラルンプール)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (R1.11 コルマール)
- ・台湾) ITF(R1.11 台北)
- ・米国) NY タイムズトラベルショー出展 (R2.1 ニューヨーク)
- ・スペイン) FITUR 出展 (R2.1 マドリッド)
- ・米国) LATAS 出展 (R2.2 ロサンゼルス)
- ・マレーシア) ONLINE APPLE TRAVEL FIESTA 出展 (R2.10 オンライン)
- ・台湾) ITF 出展(R2.10 台北)
- ・台湾) ITF 出展(R3.11 台北)
- ・タイ) TITF 出展(R3.12 バンコク)
- ・香港) ITE 出展 (R4.8 香港)

- ・マレーシア) MATTA 出展 (R4.9 クアラルンプール)
- ・台湾) ITF 出展 (R4.11 台北)
- ・英国) WTM 出展 (R4.11 ロンドン)
- ・フランス) コルマール国際観光展出展 (R4.11 コルマール)
- ・タイ) FIT FAIR 出展 (R5.1 バンコク)
- ・インドネシア) Japan Travel Fair 出展 (R5.2 ジャカルタ)
- ・米国) LATAS 出展 (R5.2 ロサンゼルス)
- ・シンガポール) Japan Travel Fair 出展 (R5.2 シンガポール)
- ・シンガポール) NATAS 出展 (R5.2 シンガポール)
- ・マレーシア) MATTA 出展 (R5.3 クアラルンプール)
- ・香港) Book Fair 出展 (R5.7 香港)
- ・シンガポール) Natas 出展 (R5.8 シンガポール)
- ・オーストラリア) Japan Road Show 出展 (R5.8 シドニー・ブリスベン)
- ・インドネシア) Japan Travel Fair 出展 (R5.8 ジャカルタ)
- ・マレーシア) MATTA 出展 (R5.9 クアラルンプール)
- ・シンガポール) Japan Travel Fair 出展 (R5.9 シンガポール)
- ・タイ) FIT Fair 出展 (R5.10 バンコク)
- ・台湾) ITF 出展 (R5.11 台北)
- ・英国) WTF 出展 (R5.11 ロンドン)

【海外ミッション等派遣によるプロモーション】

- ・中国教育旅行関係者現地セミナー (H21.4 上海・蘇州)
- ・岐阜県観光プロモーション in シンガポール (H21.9 シンガポール)
- ・岐阜県観光プロモーション in タイ (H21.10 バンコク)
- ・中部教育旅行等誘致ミッション (H21.11 北京市・上海市)
- ・台北旅行商品提案会 (H22.1.27 台北)
- ・岐阜県観光プロモーション in シンガポール (H22.8 シンガポール)
- ・岐阜県観光プロモーション in マレーシア (H22.8 クアラルンプール)
- ・シンガポール訪日教育旅行誘致 (H22.8 シンガポール)
- ・中国ハイレベルミッション (H22.9 北京市、南京市)
- ・岐阜県観光プロモーション in 上海 (H22.10 上海市)
- ・台湾観光プロモーション (H22.11.2 高雄市)
- ・日中観光交流促進会 (H23.6 北京・天津)
- ・中部広域ハイレベルミッション (H23.7 上海・香港)
- ・中国現地メディア向けセミナー (H23.8 北京・上海)
- ・インドネシア観光セミナー (H23.10 ジャカルタ・バンドン)
- ・Feel Gifu, Japan キャンペーン (H23.10 シンガポール)
- ・台湾教育旅行誘致現地説明会 (H23.12 台北・台中・高雄)

- ・ 新浪公司授賞式 (H24.1 北京)
- ・ 富山・長野・岐阜・立山黒部アルペンルート商品提案会 (H24.2 台北)
- ・ 中国広東省商務・研修・教育旅行セールススクール (H24.2 広州等)
- ・ Feel Gifu, Japan キャンペーン (Vol.2) (H24.2 シンガポール)
- ・ フランス Le Jardin Japonais (春祭り) 出展 (H24.4-5 パリ)
- ・ 中部広域ハイレベルミッション (H24.5 上海・広州)
- ・ 昇龍道ミッションセールス (H24.7 上海・杭州)
- ・ インドネシアセールスミッション (H24.9-10 ジャカルタ)
- ・ タイ現地共同プロモーション (H24.12 バンコク)
- ・ 富山・長野・岐阜・立山黒部アルペンルート商品提案会 (H25.1 台北・台中・高雄)
- ・ Quality GIFU イベント (H25.1-2 シンガポール)
- ・ 中国北京観光PRイベント (H25.3 北京)
- ・ ガルーダ航空セールスミッション (H25.4 ジャカルタ)
- ・ 中国微博フォロワー・メディア向け交流会 (H25.6 上海)
- ・ 昇龍道ミッションセールス (H25.5 台北)
- ・ 岐阜県観光プロモーション (H25.10 インドネシア・シンガポール・タイ・台湾)
- ・ 中国ハイレベルミッション (H25.10-11 北京・上海)
- ・ タイ現地プロモーション (H25.12 バンコク)
- ・ 広域観光商品提案会 (H26.1 台北・台中・高雄)
- ・ ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H26.1 ハノイ・ホーチミン)
- ・ 昇龍道ハイレベルミッション (H26.10 マレーシア)
- ・ ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H26.10 ハノイ・ホーチミン)
- ・ インドネシアセールスミッション (H26.11 ジャカルタ)
- ・ フィリピンビジットジャパンセミナー・商談会 (H26.11 マニラ)
- ・ 中国微博フォロワー・メディア向け交流会 (H26.12 上海)
- ・ 広域観光商品提案会 (H27.1 台北・台中・高雄)
- ・ 日中観光文化交流団参加 (H27.5 北京)
- ・ 岐阜県観光セミナーの開催 (H27.7 ホーチミン、マニラ)
- ・ インドネシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H27.8 ジャカルタ)
- ・ フィリピン航空旅行会社セミナー (H27.8 マニラ)
- ・ 昇龍道ハイレベルミッション (H27.10 ジャカルタ)
- ・ 日インドネシア経済観光交流団参加 (H27.11 ジャカルタ)
- ・ フィリピンビジットジャパンセミナー・商談会 (H27.11 マニラ)
- ・ 広域観光商品提案会 (H27.12 台北・台中・高雄)
- ・ ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.1 ハノイ)
- ・ 中国微博フォロワー交流会 (H28.1 上海)
- ・ マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.1 ジョホールバル)
- ・ マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.3 クアラルンプール)

- ・インドネシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.3 ジャカルタ、スラバヤ、メダン)
- ・岐阜県観光プロモーション (H28.5 ハノイ、バンコク)
- ・広域観光商品提案会 (H28.5 台北・台中・高雄)
- ・フィリピン旅行商品提案会 (H28.7 マニラ)
- ・昇龍道ミッション (H28.8 ベトナム)
- ・インドネシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.8 ジャカルタ、スラバヤ)
- ・マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.9 クアラルンプール、ペナン)
- ・岐阜県観光セミナーの開催 (H28.9 ニューヨーク)
- ・フィリピンビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.10 マニラ、セブ)
- ・フィリピン航空セミナー (H28.10 マニラ)
- ・ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H28.11 ホーチミン)
- ・マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.3 クアラルンプール、コタキナバル)
- ・岐阜県観光セミナーの開催 (H29.11 マドリード)
- ・オーストラリアビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.12 ブリスベン、シドニー)
- ・広域観光商品提案会 (H29.6 台北・台中・高雄)
- ・中国ビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.6 南京)
- ・中国ビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.7 広州)
- ・インドネシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.8 ジャカルタ、スラバヤ、メダン)
- ・マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.9 クアラルンプール、ペナン)
- ・フィリピンビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.10 マニラ)
- ・ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.10 ハノイ)
- ・台湾岐阜県観光セミナー・商談会 (H30.1 台北)
- ・ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H30.1 ホーチミン)
- ・中国在上海日本国総領事館観光イベント (H30.3)
- ・マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H30.3 クアラルンプール、コタキナバル、ジョホールバル)
- ・台湾広域観光商品提案会 (H30.6 台北・台中・高雄)
- ・韓国ビジットジャパンセミナー・商談会 (H30.6 ソウル)
- ・香港岐阜県観光プロモーション (H30.11 香港)
- ・オーストラリア Japan Travel Fair (H30.12 シドニー、メルボルン)
- ・ベトナムビジットジャパンセミナー・商談会 (H29.10 ハノイ)
- ・マレーシアビジットジャパンセミナー・商談会 (H31.1 クアラルンプール、コタキナバル)
- ・インドネシアセントレア主催中部セミナー・商談会 (H31.2 ジャカルタ)
- ・ロシア JNT0 観光セミナー、地域交流フェスティバル出展 (H31.5 サンクトペテルスブルク)
- ・オーストラリア Japan Roadshow (H31.5 シドニー、メルボルン)
- ・香港 EGL33 周年記念式典、セールスコール (H31.5 香港)
- ・台湾 広域観光商品提案会 (R1.6 台北、高雄)
- ・マレーシア AISO Japan Travel Product Seminar (R1.7 クアラルンプール)
- ・シンガポール Chan Brothers Travel Fair (R1.7 シンガポール)

- ・オーストラリア 岐阜県観光プロモーション(R1.9 シドニー)
- ・インドネシア JNTO 主催 3 都市セミナー(R1.9 ジャカルタ、スラバヤ、メダン)
- ・インドネシア セントレア主催プロモーション(R1.11 ジャカルタ)
- ・マレーシア セントレア主催セールスコール(R1.11 クアラルンプール)
- ・台湾) 商談会、セールスコール(R1.11 台北)
- ・フィリピン フィリピン航空連携セミナー(R1.11 マニラ)
- ・タイ 旅行会社セールス(R1.11 バンコク)
- ・オーストラリア 岐阜県観光プロモーション(R1.12 ブリスベン、シドニー)
- ・台湾 広域観光商品提案会、観光連盟セールスミッション (R5.3 台北)
- ・台湾 広域観光商品提案会、観光連盟セールスミッション (R5.7 台北)
- ・台湾プロ野球球団「楽天モンキーズ」連携誘客キャンペーン「岐阜県 Day」記者発表 (R5.7 桃園)
- ・台湾プロ野球球団「楽天モンキーズ」連携誘客キャンペーン「岐阜県 Day」 (R5.9 桃園)

○海外からの旅行・マスコミ関係者等受入事業

- ・招請件数 (人数)

H21 : 22 件 (延べ 202 人) 25 カ国・地域

(中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、オーストラリア、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、スウェーデン、デンマーク、ハンガリー、スイス、ポーランド、ノルウェー、エストニア、ルーマニア、ロシア、香港)

H22 : 35 件 (延べ 321 人) 22 カ国・地域

(中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、オーストラリア、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、スウェーデン、デンマーク、ハンガリー、チェコ、スイス、ロシア、香港)

H23 : 65 件 (延べ 561 人) 12 カ国・地域

(中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、アメリカ、フランス、ポーランド、香港)

H24 : 47 件 (延べ 724 人) 10 カ国・地域

(マレーシア、香港、中国、台湾、タイ、シンガポール、韓国、フランス、アメリカ、インドネシア)

H25 : 47 件 (延べ 375 人) 10 カ国・地域

(韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、アメリカ、香港、中国、ベトナム、フランス、フィリピン)

H26 : 56 件 (延べ 379 人) 17 カ国・地域

(香港、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ミャンマー、インド)

H27 : 57 件 (延べ 274 人) 15 ヶ国・地域

(タイ、韓国、中国、フィリピン、ベトナム、フランス、イギリス、インドネシア、台湾、香港、マレーシア、米国、ドイツ、オーストラリア、シンガポール)

H28 : 47 件 (延べ 218 人) 19 ヶ国・地域

(台湾、中国、タイ、香港、アメリカ、イギリス、イタリア、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、韓国、フランス、スペイン、フィリピン、ドイツ、カナダ、シンガポール、マレーシア、ニュージーランド)

H29 : 64 件 (延べ 380 人) 18 ヶ国・地域

(台湾、香港、中国、韓国、マレーシア、アメリカ、タイ、インドネシア、スペイン、フィリピン、ベトナム、カナダ、国内外ランド等、イギリス、イタリア、ドイツ、イスラエル、シンガポール)

H30 : 62 件 (延べ 214 人) 19 ヶ国・地域

(台湾、香港、中国、韓国、マレーシア、タイ、インドネシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、アメリカ、オーストラリア、フランス、スペイン、カナダ、イギリス、イタリア、ベルギー、モナコ)

R1 : 44 件 (延べ 223 人) 16 ヶ国・地域

(香港、台湾、中国、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、韓国、イギリス、フランス、イタリア、スペイン、オーストラリア、アメリカ)

R4 : 16 件 (延べ 92 人) 8 ヶ国・地域

(台湾、中国、シンガポール、韓国、イギリス、イタリア、オーストラリア、アメリカ)

R5 : 10 件 (延べ 61 人) 7 ヶ国・地域

(台湾、香港、マレーシア、アメリカ、イギリス、オーストラリア、欧州)

○国際会議、国際的なスポーツ・文化イベント等の誘致・開催

- ・「キスマークススペシャル LG スノーボード FIS ワールドカップ 2009 GIFU/GUJO 大会」
岐阜県で世界最高峰のスノーボード競技大会（ハープパイプ競技のみ）を 2 年連続開催（H21. 1. 14 高鷲スノーパーク）
- ・第 4 回日中韓観光大臣会合（実行委員会主催）
3 国の観光交流と協力を一層強化し、3 国間の人的交流を拡大し、地域経済の繁栄と社会の発展を促進するため、平成 18 年から日本、中国、韓国の 3 ヶ国で持ち回りで開催。中部圏知事会議で第 4 回会合の中部地域での開催を誘致し、高山市において閉幕晩餐会、記念植樹、市内視察が実施されたほか、白川郷をはじめとする中部地域の観光資源をめぐるエクスカージョンを実施（H21. 10. 17～H21. 10. 21）
- ・マラソン&サイクリング・ジャパン in 台北に出展
日本各地で実施されているマラソン大会を世界に向けて情報発信するため、平成 25 年から観光庁が開催しているセミナー及び交流・商談会。岐阜県は平成 26 年に初めて参加し、「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」ほか、県内 3 大会を PR（H26. 6）
- ・「御嶽高原高地トレーニングエリア」等、県内スポーツ施設での合宿の誘致
2015 年世界陸上北京大会、2018 年平昌冬季オリンピック及び 2020 年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致に向けて、当エリアや岐阜メモリアルセンター等の視察を実施（アメリカ（H26. 9、H26. 10、H27. 7、H28. 9、H29. 2）、フランス（H26. 10）、イギリス（H26. 12H27. 3、H27. 7、H29. 3、H30. 5）、オーストラリア（H27. 4）、カナダ（H28. 6）、ニュージーランド（H28. 11））

- ・2015年世界陸上北京大会の事前合宿実施
イギリス、アメリカ、ベルギー、ナイキオレゴンプロジェクトの選手14名、スタッフ15名、合計29名がH27.7～8にかけて御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施
- ・2018年アジアジュニア陸上競技選手権大会の開催
H30.6.7～10にかけて、岐阜メモリアルセンター長良川球技場で開催。34か国地域627名が参加し、大会期間を通じて約24,000人が来場。応援モザイクボードの原画作成、1校1国応援事業など、「県民総参加」で様々なおもてなしの開催や大会を通じた本件の魅力発信の実施

○インターネットを活用した海外誘客の促進

- ・楽天(株)との包括協定プロジェクトの一環として、同社が運営している海外ユーザー向けのインターネットサイト「楽天海外販売」において、今後の市場拡大が期待される中国語圏市場をターゲットとした「岐阜クラフト観光展」を開催(H22.2)
- ・平成22年度には、アメリカやオーストラリア、香港、シンガポール等英語圏の国々に向けて「岐阜県海外フェア2010」として英語で開催(H22.12)
- ・中国での岐阜県WEBサイトの運営、公式ブログや「新浪微博(シナウェイボ)」を使った情報発信を上海万博出展(H22.10)を契機として展開
- ・世界最大級のオンライン旅行会社エクスペディアと連携したプロモーションの展開(H25.10.10～11.9)
- ・世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」に広告掲載(H28.1-2)
- ・大手ニュースチャンネルCNNのテレビ・ウェブサイト動画広告掲載(H28.2)
- ・大手ニュースチャンネルBBCのウェブサイト動画広告掲載(H28.3)
- ・大手外国人向け日本観光情報サイトJapanGuide.comへ地歌舞伎の広告記事を掲載(H28.3)
- ・フランス大手インターネット旅行会社マルコ・エ・バスコと連携したオンラインキャンペーンを実施(H28.1-3)
- ・フランスで人気の日本観光情報発信YouTube番組に観光PR動画を掲載(H29.8)
- ・大手スペイン語圏向け日本情報専門メディアに観光PR動画等を掲載(H29.8)
- ・楽天トラベルの香港向け中国語サイトに岐阜県特設ページ「春のぎふ旅」を設け観光情報を発信するほか、県内宿泊施設による「特別宿泊プラン」を販売(H30.3)
- ・香港の個人旅行者に向けたSNSキャンペーンを実施(H30.11-H31.2)
- ・世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」に特設ページ掲載(H30.10-H31.2)
- ・アクティビティ販売サイト「Voyagin」にて伝統工芸産業をテーマとした体験型プログラムを販売(H31.3～)
- ・フランスミシュラン社のサイト「ミシュランガイド」に東海3県の特設ページを掲載(R1.5)
- ・訪日旅行を検討する欧米豪の個人旅行者に対し、オンラインバナー広告を配信(R2.2～3)
- ・アクティビティ販売サイト「Voyagin」にて伝統工芸や文化、自然アクティビティ等をテーマとした体験型プログラムを販売(R2.3～)
- ・外国語版WEBサイト(9か国語)を全面リニューアルし、着地型オプションツアーや宿泊を直接予約できるワンストップサービスを提供(R2.3～)

- ・インドネシア語版の県公式 Facebook を開設し、現地消費者向けに情報発信 (R. 2. 4～)
- ・YouTube にてインバウンド向け観光 PR 動画「Timeless Japan, Naturally an Adventure」1～5 を配信 (R2. 5～)
- ・知事による台湾政府観光局とのオンライン会談 (R2. 9)
- ・知事によるシンガポール及びマレーシアの有力訪日旅行会社とのオンライン会談 (R2. 9)
- ・台湾 (台北) に向けて県内観光地からライブ配信 (R2. 11)
- ・香港に向けて県内観光地からライブ配信 (R2. 11)
- ・アメリカ及びフランスの EC サイト (楽天 France/米国 CASA GIFU) にて匠の技等の県産品を販売 (R3. 1～)
- ・県内観光関連施設の Google マップ登録支援による情報発信の強化 (R3. 1～)
- ・イタリアの人気 DJ 兼作家の SNS を活用した情報発信及び SNS キャンペーンを実施 (R3. 2～3)
- ・県外国語版 Web サイト上にランディングページを作成し、デジタルマーケティングを活用したオンライン広告の配信により当該サイトへ誘導 (R3. 2～)
- ・シンガポール向けオンラインイベントにおいて PR 動画を配信 (R3. 2)
- ・米国向けオンラインイベントにおいて県内観光地からライブ配信 (R3. 2)
- ・ベトナムの主要オンライン新聞「VnExpress」に広告記事を掲載 (R3. 2～3)
- ・マレーシアにおける中華系大手メディア「中國報 (オンライン)」に広告記事を掲載 (R3. 3)
- ・県外国語版 Web サイトを核としたデジタルマーケティング手法を活用し、外国人旅行者のニーズに即した旬の情報を効果的・効率的に届けるデジタルプロモーションを展開 (R3、R4、R5)
- ・台湾プロ野球球団「楽天モンキーズ」と連携し、球団公式チアガール「楽天ガールズ」を県内観光地に招請し、SNS 等を通じて県の魅力を発信 (R5. 9)

○国際会議等を活用した県内産業等のPR

- ・岐阜市で開催された「APEC 中小企業大臣会合」において、県内産業や地場産品、農産物、観光資源などを歓迎行事や展示PR、エクスカージョンなどで参加者にアピールし、岐阜県の魅力をアジア太平洋地域に向けて情報発信 (H22. 10. 2～3)

② 令和6年度取組予定

国の「ビジット・ジャパン (VJ)」の重点市場のうち、外国人宿泊者数の上位を占める東アジア (台湾、香港) 及びアセアン地域 (シンガポール、タイ、マレーシア、ベトナム等) のほか、訪日宿泊者数の全国順位が高いフランス、スペイン、米国 (西海岸) を本県の重点対象地区に設定し、これら重点市場を中心に広域連携及びVJ事業の活用等により、各種事業展開を図る

○海外での観光キャンペーン等の実施<予定>

- ・台湾) 現地商談会の開催[富山県・長野県連携]
日 程：時期未定
場 所：台北市

- ・シンガポール) NATAS 出展
日 程 : R6.8 又は R7.3
場 所 : シンガポール
- ・タイ) TITF 出展
日 程 : R6.8 又は R7.1
場 所 : バンコク
- ・マレーシア) MATTA Fair 出展
日 程 : R6.9
場 所 : クアラルンプール
- ・タイ) FIT Fair 出展
日 程 : R6.10
場 所 : バンコク
- ・台湾) ITF 出展
日 程 : R6.11
場 所 : 台北市
- ・英国) WTM 出展
日 程 : R6.11
場 所 : ロンドン
- ・フランス) SMT 出展
日 程 : R6.3
場 所 : パリ
- ・インドネシア) Japan Travel Fair 出展
日 程 : R6.6
場 所 : ジャカルタ
- ・スペイン) FITUR 出展
日 程 : R7.1
場 所 : マドリード
- ・米国) LATAS 出展
日 程 : R7.2
場 所 : ロサンゼルス、

○海外からの旅行関係者等受入事業<予定>

- ・県単独、国・他県・民間等との連携により旅行会社の視察やメディアの取材等を随時受入

○国際会議、国際的なスポーツ・文化イベント等の誘致・開催

- ・在日外国公館、外務省、独立行政法人国際協力機構(JICA)及び市町村など関係機関と連携し、国際会議、国際的なスポーツ・文化イベント等を招致し、岐阜の情報発信と県民との交流を促進

○インターネットを活用した海外誘客の促進

- ・ 県外国語版 Web サイトを核としたデジタルマーケティング手法を活用し、外国人旅行者のニーズに即した旬の情報を効果的・効率的に届けるデジタルプロモーションを展開
- ・ 英語版の県公式ブログや Facebook、Instagram、YouTube チャンネルによる情報発信
- ・ 中国での岐阜県 WEB サイトの運営、公式ブログや「新浪微博（シナウェイボ）」で情報発信
- ・ タイ語版及びインドネシア語版の県公式 Facebook による情報発信

○国連世界観光機関が推進する I N S T O への加入

- ・ UNWTO（国連世界観光機関）が推進する I N S T O（International Network Of Sustainable Tourism）に加入し、本県独自の指標に基づく取組みを進めるとともに、県内各地における持続可能な観光地域づくりを促進

○岐阜未来遺産プロジェクトの展開

- ・ 本県の持続可能な観光のモデルであり、将来的には世界に誇る観光地になり得る先進的取組みを「NEXT GIFU HERITAGE（ネクスト ギフ ヘリテージ）～岐阜未来遺産～」として認定し、国内外に広く発信するとともに、世界からの誘客拡大につながる地域の取組みを支援

（４）我が国の国際貢献の一翼を担う国際協力事業の積極的展開

～岐阜の特性を活かした国際社会への貢献～

①これまでの取組実績

○ブータンに対する林業（キノコ栽培技術）支援

- ・ ブータンは山岳地域であり、主要な産業が農業や観光などに限られている。キノコ生産は同国民の栄養向上、生活改善に直結する貴重な産業であるが、同国内で栽培技術を習得するのは困難な状況
- ・ （一財）自治体国際化協会（CLAIR）、J I C A など外部事業を活用し、県林政部や林業関連機関等において研修生を受け入れ、キノコ栽培技術・知識の向上を図る実技研修を実施（CLAIR：H10～11、13～14、J I C A：H15～17）
- ・ 当該事業はブータン及び、国際貢献を希望する県内林業関係者から高い評価を受けた。森林県である岐阜県の特長を生かし、継続的で効果的な貢献が可能な分野
- ・ 琉球大学が J I C A の支援を受けて実施するプロジェクトへの協力依頼を受け、プロジェクトの企画、研修受入れ及びブータン現地での指導を実施（プロジェクト期間：H28～31）

○中国江西省（友好提携先）に対する高齢者介護技術支援

- ・ 中国では、急速な経済発展、生活環境や医療の向上、一人っ子政策等により、高齢化が進行し、江西省においても、専門技能を有する人材育成の必要性が高い
- ・ J I C A 事業を活用し、県立寿楽苑等にて、江西省の公立社会福祉施設の部門責任者に対し、専門技術指導や施設運営、健康福祉施策にかかる研修を実施（H18～H20）

○中国江西省（友好提携先）に対する農業・林業・環境技術支援

- ・中国で課題となっている農林業の振興や森林伐採、工場からの廃水などによる大気汚染や水質汚濁の対策に向け、農林業や環境分野の研修員を CLAIR 事業により受け入れ、研修を実施（H20 保健環境研究所（環境）、H21 森林文化アカデミー（林業）、H22～23 県内花き生産者（各1名ずつ受入）、H25 県内花き生産者（3名））

○モロッコ王国ウジュダ・アンガッド府（友好提携先）への技術協力

- ・ J I C A 事業を活用して、モロッコ王国ウジュダ・アンガッド府から技術研修員を受け入れ、「緑地帯維持管理能力向上」に関する研修を県立国際園芸アカデミーで実施（H21～H23）するとともに、専門家を同府に派遣して、研修事業の成果確認や現地指導を実施（H24.1）
- ・ J I C A 事業を活用して、同府から技術研修員を受け入れ、「再生可能エネルギー活用能力向上」に関する研修を実施（H24～26）するとともに、本研修事業の成果を確認するため、県担当者を同府に派遣（H27.2）
- ・（一財）自治体国際化協会（CLAIR）事業を活用し、同府にあるムハンマド1世大学から研修生を受け入れ、「地震工学」に関する研修を実施（H27.9～10）
- ・（一財）自治体国際化協会（CLAIR）事業を活用し、同府技術職員を受入れ、「緑化技術」に関する研修を実施（H29.10）
- ・同府園芸担当者を受け入れ、県内関連施設での研修および関係者との意見交換を実施（R2.2）

○モロッコ王国マラケシュ＝サフィ州（友好提携先）への国際協力

- ・（公財）岐阜県国際交流センターが同州との友好交流を深めるため、友好交流担当者2名を受け入れ、今後の交流に向けた意見交換や視察を実施（H30.10）

○ブラジルに対する果樹生産（カキ栽培技術）支援

- ・日系人が地域農業の担い手となっている中南米諸国において、ブラジル・サンパウロ州でのカキ栽培における諸課題を解決するため、同州の技術指導員を農水省の中南米日系農業者連携交流委託事業で受け入れ、研修を実施（農業技術センター H24.10～11月 1名）

○アジア地域の森林政策担当行政職員に対する森林管理研修への協力

- ・ J I C A が主催するアジア地域の森林政策を担当する行政職員を対象とした地域別研修（森林管理）を受け入れ、県が進めている「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」の現場視察等を実施
- ・インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、中国、ミャンマー、エチオピアから9名を受け入れ（H20.10）
- ・インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、中国、ベトナム、エチオピアから12名を受け入れ（H21.10）
- ・インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ラオス、ベトナム、インドから12名を受け入れ（H22.7）

- ・モザンビーク、ベトナム、ボツワナから 9 名を受け入れ (H25. 8, 10, 12)

○JICA の地方研修プログラムの受入れ

- ・ JICA が主催する開発途上国の若手行政官を対象とした将来の国づくりを担う人材の育成に協力するため、岐阜県世界青年友の会 (GWY) を通じて地方研修を受入れ、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、行政、技術を理解するための研修を実施
- ・ インドネシア/地域における中小企業振興コース。インドネシア 16 名を受入れ (H22. 12)
- ・ マレーシア/行政管理コース。17 名を受入れ (H25. 9)
- ・ ミャンマー経済行政 (産業振興) コース。17 名を受入れ (H25. 11)
- ・ アフリカ (仏語)/地方行政コース。チャド、コートジボワール、コモロ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、ジブチ、セネガル、ブルンジ、ベナン、モーリタニア、ハイチから 19 名を受入れ (H26. 10)
- ・ アフリカ (仏語) 地方行政コース。ベナン、ブルンジ、カメルーン、チャド、ハイチ、マダガスカル、モーリタニア、ニジェール、サントメ・プリンシペから 18 名を受入れ (H28. 10)

○ベトナム・ゲアン省 (友好提携先) に対する農業技術研修の実施

- ・ (一財) 自治体国際化協会 (CLAIR) 事業を活用して、ベトナム・ゲアン省から農業担当者 2 名を受け入れ、県内農業施設等の視察を実施 (H28. 9~10)
- ・ ベトナム・ゲアン省から農業担当者 13 名を受け入れ、県内農業施設等の視察を実施 (H30. 7)

○ベトナム・トゥアティエン=フエ省 (友好提携先) への国際協力

- ・ (一財) 自治体国際化協会 (CLAIR) 事業を活用して、県の観光分野の専門家の派遣や、同省観光担当者 3 名を受け入れによる観光研修実施を通し、「観光アクションプラン」を作成 (H30)
- ・ (一財) 自治体国際化協会 (CLAIR) 事業を活用し、高山市および岐阜大学との協働により、フエ省での観光セミナーの開催および本県での同省観光担当者に対する観光研修を実施 (R1)

○内水面漁業研修センターにおける海外研修生の受け入れ

- ・ 世界農業遺産「清流長良川の鮎」認定を機に、研修生の受入れや専門家の派遣を行う内水面漁業研修センターを設立
- ・ 海外からの研修生を受入れて内水面漁業に関する研修等を実施
- ・ 北アフリカ諸国 (モーリタニア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ、セネガル) から 10 名を受け入れ (H28. 7)
- ・ 中国農業部から 4 名を受け入れ (H28. 8)
- ・ タイ農業協同組合省水産局に対する現地指導 (H28. 8)
- ・ NAAHM (飢餓・アライアンス) から 7 名を受け入れ (H28. 9)
- ・ 中央アフリカ諸国 (ギニア、コートジボワール、トーゴ、ベナン、カメルーン、ガボン、コモロ) から 10 名を受け入れ (H28. 10)
- ・ タイ農業協同組合省水産局から 2 名を受け入れ (H28. 10~11)

- ・韓国海洋水産部等から 10 名を受け入れ (H28. 12)
 - ・タイ農業協働組合省水産局から 5 名を受け入れ (H29. 3)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (H29. 5～6)
 - ・ミャンマーから 6 名を受け入れ (H29. 6. 5)
 - ・北アフリカ諸国 (モーリタニア、チュニジア、アルジェリア、モロッコ、セネガル) から 7 名を受け入れ (H29. 7)
 - ・タイ農業協働組合省水産局から 2 名を受け入れ (H29. 8)
 - ・SEAFDEC (インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ) から 4 名を受け入れ (H29. 8～9)
 - ・イタリアから 1 名を受け入れ (H29. 9. 14)
 - ・アフリカ諸国 (コートジボアール、ベナン、ガボン、コモロ) から 4 名を受け入れ (H29. 9)
 - ・中央アフリカ諸国 (ベナン、コートジボアール、ギニア、ギニアビサウ、マリ) から 8 名を受け入れ (H29. 10)
 - ・ブラジルから 1 名を受け入れ (H29. 11)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (H29. 12)
 - ・タイ大学関係から 2 名を受け入れ (H30. 8)
 - ・SEAFDEC (インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、ラオス) から 8 名を受け入れ (H30. 8～9)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (H30. 9)
 - ・SEAFDEC (タイ) から 3 名を受け入れ (H30. 9)
 - ・アジア・オセアニア・アフリカ諸国 (カンボジア、ミャンマー、フィジー、ベナン、カメルーン、ケニア、ナイジェリア、ザンビア) から 8 名を受け入れ (H30. 9～10)
 - ・アフリカ諸国 (コートジボワール、ベナン、ガボン、コモロ) から 4 名を受け入れ (H30. 10)
 - ・タイ農業協働組合省水産局から 2 名を受け入れ (H30. 11)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (H30. 12)
 - ・中国研究機関から 4 名を受け入れ (H30. 12)
 - ・アジア・アフリカ諸国 (イラク、カンボジア、カメルーン、コートジボワール、ガーナ、ケニア、ミャンマー、フィリピン、ベナン) から 9 名を受け入れ (R1. 7)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (R1. 9)
 - ・SEAFDEC (インドネシア、カンボジア、タイ、マレーシア、ミャンマー、ラオス) から 6 名を受け入れ (R1. 10)
 - ・キルギス、ネパールから 4 名を受け入れ (R1. 11)
 - ・タイ農業協働組合省水産局に対する現地指導 (R1. 12)
- ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R2 年度は受け入れ、現地指導ともに中止。R3、R4 年度はオンライン研修を実施。

○ぎふ国際協力大使 (岐阜県出身の J I C A 海外協力隊) への支援

- ・ J I C A 海外協力隊 (青年、シニア) など、国際協力に関心を持つ県民が増加
- ・県では、県民のニーズを把握し、J I C A と連携して、海外協力隊員募集、説明会など情報提供を

実施。また、岐阜県出身の J I C A 海外協力隊を「ぎふ国際協力大使」として任命し、活動を県民に P R するとともに、赴任地における岐阜の情報発信を依頼

- ・平成 9 年から委嘱開始し、R4 年度末までに計 93 回・495 名に委嘱

②令和 6 年度 of 取組予定

○外務省及び J I C A の地方研修プログラムの受入

- ・海外の地域への貢献は、その地域との交流によるメリットに加え、地域振興の新たなノウハウを蓄積する機会と考え、積極的に協力

○友好交流先等への技術協力

- ・中国・江西省、ブラジル・岐阜県人会など、長年培ってきた良好な友好関係を礎に、引続き産業、農林業など相互利益がある人材育成支援・技術移転支援を実施
- ・中国江西省（友好提携先）に対する農林業技術支援
- ・ベトナム・ゲアン省およびトゥアティエン＝フエ省（友好協力に係る覚書締結先）に対する人材・技術交流の実施
- ・モロッコ王国ウジュダ・アンガッド府およびマラケシュ＝サフィ州（友好交流に係る覚書締結先）に対する人材・技術交流の実施

○教員の海外ボランティア現職派遣を促進

- ・教員及び県職員の J I C A 海外ボランティアへの派遣については、今後も制度周知等を通じて参加を促進（派遣に必要な制度については S63 整備済）
- ・教員の現職派遣については、海外ボランティアの様々な経験が、帰国後の教員個人のスキルアップ、「国際化に対応した人づくり」や「外国籍の県民と共に歩む多文化共生社会の実現」にも寄与

○ぎふ国際協力大使（岐阜県出身の J I C A 海外協力隊）への支援

- ・引き続き、県では、J I C A と連携して、海外協力隊員募集、説明会など情報提供を実施する。岐阜県出身の J I C A 海外協力隊を「ぎふ国際協力大使」として任命し、活動を県民に P R するとともに、赴任地における岐阜の情報発信を依頼

○NPO の国際協力活動への支援

- ・NPO の国際協力活動への支援として、ニーズを把握し、県の親書の受け渡しや政府機関との連絡調整など便宜供与を実施
- ・国際交流・多文化共生推進事業助成金の交付などによる支援を実施
- ・海外において国際協力活動実績のある団体に、これまでの活動を通じて蓄積した経験や技術に基づいた国際協力活動を促進

○内水面漁業研修センターにおける海外研修生の受入れ

- ・海外からの研修生を受入れて内水面漁業に関する研修等を実施
- ・タイ農業協同組合省水産局から2名程度を受け入れ（R6春）

（5）外国人の県民と共に歩む多文化共生社会の実現 ～在住外国人にも開かれた地域社会づくり～

①これまでの取組実績

○外国人起業活動の促進

- ・県内で起業を望む外国人に対し、「IT、IoT等関連分野」と「観光分野」を対象に、起業準備のための在留を認める制度（通称：スタートアップビザ）の申請受付を開始（H31.4.22）

○ホームページやフェイスブック等を活用した多言語情報の提供

- ・多文化共生に関する情報を幅広く提供し、また、在住外国人が生活に役立つ行政関連情報をホームページ、フェイスブック、刊行物、を通じて発信

○情報誌「世界はひとつ」の発行

- ・国際交流センターや国際関係団体の取組み、在住外国人のための生活情報、国際交流・多文化共生情報を掲載した多言語情報誌「世界はひとつ」を発行

○岐阜県在住外国人相談センター設置

- ・国際交流センター内に、岐阜県在住外国人相談センターを設置し、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語の堪能な相談員を配置して相談対応を実施。また、14言語の通訳サービスを導入し、電話による外国人のコミュニケーションをサポート
- ・多様な相談に対応するため、外国人カウンセラー等による外国人県民向けの「こころの相談会」や名古屋出入国在留管理局職員による相談会等を実施
- ・上記相談員のほか、市町村に配置されている相談員も含めた情報交換、勉強会等を開催するとともに、他団体の相談員とのネットワークを構築

○在住外国人行政相談員の設置、相談窓口の設置、ネットワーク会議の実施

- ・県事務所に在住外国人行政相談員等（ポルトガル語、タガログ語）を配置し、多言語での相談対応を実施

西濃県事務所（大垣市）：ポルトガル語1人

可茂県事務所（美濃加茂市）：ポルトガル語2人及びタガログ語1人

○地域日本語コーディネーター等の派遣による日本語教室の設置や運営支援

- ・日本語教室の立ち上げ支援や、教室運営上の諸課題の解消などを目的に、地域日本語コーディネーター等を派遣

○日本語教育の総合的な体制づくり推進

- ・令和元年度に策定した「日本語教育の総合的な体制づくり実施計画」に基づき、外国人活躍・共生社会推進課に日本語教育総括コーディネーターを配置するとともに、日本語教育人材育成研修の実施、地域日本語教育コーディネーターの委嘱、市町村と連携したモデル日本語教室の開設等、体制整備に向けた取組みを実施

○日本語教室のボランティアのネットワークづくり

- ・県内に存在する日本語教室を活性化し、岐阜県における日本語教育の体制整備を図るため、研修会を開催（R5年度：1回、参加者33名）

○岐阜県多文化共生推進補助金

- ・初期指導教室の整備など、市町村が多文化共生の推進に向けて行う事業を補助（R5年度：ハード事業4市町、ソフト事業7市町）

○地域日本語教室運営事業に対する支援

- ・日本語教室を運営する市町村や企業に対し、開設及び運営経費の一部を補助

○「やさしい日本語」の普及啓発事業に対する支援

- ・「やさしい日本語」の普及啓発を行う市町村や企業に対し、経費の一部を補助

○地域日本語教室運営事業に対する支援

- ・日本語教室を運営する市町村や企業に対し、開設及び運営経費の一部を補助（R5年度：市町村4市町、企業2社）

○外国人の子どもの学習支援を行う担い手の育成・確保

- ・地域の日本語教室で教えるボランティア等が、外国人児童生徒に適切な日本語指導が出来るように研修会を開催（R5年度：4回、参加者延べ81名）

○外国人看護師候補者に対する支援

- ・経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師候補者が、国家資格を取得し日本で就労できるよう、候補者受入施設が行う日本語研修等を支援

平成25年度受入状況、対象施設：4施設、対象者：13名

平成26年度受入状況、対象施設：2施設、対象者：8名

平成27年度受入状況、対象施設：3施設、対象者：8名

平成28年度受入状況、対象施設：3施設、対象者：7名

○外国人介護福祉士候補者に対する支援

- ・経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士候補者が、国家資格を取得し日本で就労できるよう、受入施設が行う日本語研修等を支援

平成 25 年度受入状況、対象施設：12 施設、対象者：38 名

平成 26 年度受入状況、対象施設：9 施設、対象者：32 名

平成 27 年度受入状況、対象施設：9 施設、対象者：42 名

平成 28 年度受入状況、対象施設：13 施設、対象者：61 名

平成 29 年度受入状況、対象施設：13 施設、対象者：72 名

平成 30 年度受入状況、対象施設：17 施設、対象者：76 名

令和 元年度受入状況、対象施設：16 施設、対象者：78 名

令和 2 年度受入状況、対象施設：16 施設、対象者：61 名

令和 3 年度受入状況、対象施設：23 施設、対象者：93 名

○公立小中学校における外国人児童生徒支援教員等の配置

- ・日本語指導の必要な外国人児童生徒が多数在籍する公立小中学校に対して、教員を 35 人（平成 28 年度 2 名増員）配置し、外国人児童生徒が学びやすい環境づくりを推進

○県立高等学校における外国人生徒支援教員の配置

- ・日本語指導の必要な外国人生徒が複数在籍する高等学校に対して 8 人の教員を配置し、外国人生徒を対象とする選択科目の開設や、放課後、空き時間に日本語指導を実施

○外国人対応日本語指導員の設置

- ・日本語指導の必要な外国人児童生徒に対応し、通級による日本語指導を実施するための指導員（教員経験者等）を 36 人配置し、外国人児童生徒が学びやすい環境づくりを推進

○外国人児童生徒適応指導員の配置

- ・日本語指導の必要な外国人児童生徒の急増に対応するため、母語を話すことができる外国人児童生徒適応指導員（日本の学校生活に適応するための通訳等）を 26 人配置し、学習活動の支援、学校生活への適応指導及び日本語についての指導・援助を行う等、外国人児童生徒に母語で対応できるよう環境づくりを推進（対応言語：ポルトガル語 9 人 タガログ語 13 人 中国語 4 人）

○外国籍の子どもの進学支援

- ・義務教育の就学年齢を超えて高等学校進学などを目指す外国籍の子どもが、希望する高等学校に進学、就学、就職ができるように、日本語指導、進学に必要な教科指導、受験準備、進路に関する相談・指導等を行う補習校的な進学支援教室（R4 年度：3 団体）に対して、助成を実施

○外国人の子ども・保護者向け生活設計支援事業

- ・外国人の子どもの保護者を対象に、定住を前提とした生活設計の策定を支援するため、専門家によるお金や教育制度に関する講座を開催。また、説明動画をポルトガル語、英語、タガログ語、ベト

ナム語で作成し YouTube に掲載。(R4 年度：講座 1 回、参加者計 31 名)

○外国語版新生児育児テキストの作成・配布

- ・外国人の妊婦が安心して出産できるように、妊娠や出産に関する必要な情報を提供するためのテキストを作成。中国語、ポルトガル語、英語、タガログ語版を作成し、周産期医療機関や市町村へ配布

○外国人高校生等を対象としたキャリア教育

- ・県立高校等と連携し、外国人青少年が自身のキャリアビジョンを具体的に描き、将来について考える機会を提供するため、外国人の先輩社員による講話やライフプラン講座及び職業体験を実施。また、令和 2 年度には、日本語の聞き取りが一段と難しい生徒に対応するため、外国人の先輩社員による講話の DVD を作成し、タガログ語の字幕を付けて県立高校等に提供。(R4 年度(講座及び職業体験) 5 回、参加者計 131 名)

○外国人学校に対する私立専修学校等教育振興費補助金の交付

- ・学校法人が設置する外国人学校に対し、学校運営に要する経費の 1/2 の範囲内で補助を実施

○市町村が行うブラジル人子弟等交流支援事業に対する補助金の交付

- ・ブラジル人等子弟のよりよい生活環境を確保するとともに、健全なる心身の発達を図るため、市町村が行う交流支援事業に要する経費の 1/2 の範囲内で補助を実施

○外国人労働者の適正就労に向けた取組の実施

- ・岐阜県庁ホームページにおいて、東海三県一市(岐阜県、愛知県、三重県及び名古屋市)並びに静岡県が策定した「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」の周知を実施

○医療通訳ボランティア派遣の斡旋・育成

- ・医療機関の依頼に応じて医療通訳ボランティア(ポルトガル語・中国語・タガログ語及びベトナム語)を斡旋
- ・令和 4 年度、通訳方法として、オンラインによる通訳を追加
- ・医療通訳ボランティアの登録者の拡充やブラッシュアップを図るため、実践で役立つ知識の習得やロールプレイを通じた研修をオンラインで実施。(医療通訳ボランティア数：78 名(R5.3 月現在))

○外国人患者受入環境の整備

- ・増加する外国人患者に対応するため、新たに医療通訳の確保を図る場合の person 費、医療通訳サービスの導入を図る場合の経費、多言語対応ツールの導入を図る場合の経費を医療機関に助成

○災害時語学ボランティアの育成

- ・災害時の語学ボランティア向けの研修会を開催。(災害時語学ボランティア数:168名(R5.3月現在))

○外国人防災リーダー育成事業

- ・外国人自身に地域や外国人コミュニティで、日本語に不慣れな方々への日本の災害の啓発、災害時のサポートなどを担ってもらうため、外国人防災リーダーを育成
- ・このうち、市町村において活動・連携を望んでいる外国人防災リーダーをリストに登録
(R4年度:リスト登録者9名、活動実績12回・延べ13名)

○避難情報の多言語化

- ・市町村が発令する避難指示や土砂災害警報、河川等の情報を多言語で提供(言語:英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、やさしい日本語)

○「あんしん賃貸支援事業(モデル事業)」の実施

- ・県、地元自治体及び不動産業界が連携して、外国人の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する「あんしん賃貸支援事業」について、可児市でモデル事業を実施(H22~27年度)

○住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅事業の実施

- ・外国人をはじめとする住宅確保に配慮が必要な方の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援することを目的として、これらの方の入居を拒まない民間賃貸住宅を県が登録する事業をH29.10.25から実施

○多言語版防災チラシ等の作成・配布

- ・日本語が不慣れな外国人向けに、改正された避難情報をはじめとする防災情報が記載された関係の知識を提供し、災害から身を守ることができるよう、必要な防災情報を多言語版(英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語)のチラシ等を作成し、防災講話、イベント等にて配布

○防犯講習会の開催

- ・各警察署において、在住外国人を集め、日本での習慣、モラル、犯罪被害防止対策などを内容とした研修用DVD、小冊子等を活用し、犯罪被害防止を目的とした防犯講習会を実施

○外国人居住者が多い地域に対する安全対策・防犯講話等の実施

- ・留学生等が在学する大学、日本学校や技能実習生、特定技能を受け入れている監理団体、登録支援機関、受入企業等において中長期滞在者等を対象に安全対策、防犯講話等を実施

○外国人店舗等「子供110番の家」設置

- ・外国人集住地域において、県教育委員会、自治体等の関係機関と連携し、外国人(ブラジル・フィリピン国籍)の経営する店舗や施設に「子供110番の家」を設置

○外国人交通安全教育指導員の配置

- ・県内に居住する日本語が堪能な日系ブラジル人を外国人交通安全教育指導員として採用し、日系ブラジル人のコミュニティ等との連携を図り、交通安全に関する相談の受理、交通安全教材の作成、提供など効果的な交通安全教育を推進

○外国人に対する交通安全教育の実施

- ・外国人学校や外国人を雇用する企業等を対象に、外国人交通安全教育指導員による参加・体験・実践型の交通安全教育を実施
- ・運転免許課に外国人交通安全教育指導員を派遣し、外国免許切替者等に対する交通安全指導等を実施

○訪日外国人等対応業務専門職の設置

- ・警察署において外国人とのコミュニケーションを円滑化し、制度・手続等の分かりやすさの確保を図るとともに、各種届出（拾得・遺失、事故等）への対応を実施

○音声翻訳アプリ等の活用

- ・交番を訪れた外国人に対する道案内や相談業務、祭りなどのイベント警戒時において音声翻訳タブレットを活用し、円滑なコミュニケーションを図った
- ・音声タブレットに代え、外国人とのコミュニケーションを図るため、全警察署、交番に翻訳アプリが搭載されたスマートフォン型端末（ポリストリプルアイ）を配備し、事件事故や相談などの警察活動に活用した

○運転免許試験問題の多言語化

- ・運転免許試験を受験する外国人に対し、学科試験問題や外国免許切替試験の際の知識確認を多言語（学科試験問題は3言語、外国免許切替試験時の知識確認は10言語）化して提供

○外国人の居住支援

- ・岐阜県在住外国人相談センターと岐阜県住宅供給公社が連携し、外国人からの住まいに関する相談を対面等で受け付け、適切な情報提供等を実施
- ・住宅確保に関する情報（公営住宅等）について、多言語（6言語）パンフレットにより広く周知
- ・不動産事業者や大家が外国人等の住まい確保を支援できるよう、既存の相談体制等必要な情報をガイドブックとしてまとめ広く周知

○在留外国人等総合対策の推進

- ・関係行政機関、住民団体、企業等と連携し、在留外国人等に係る犯罪被害防止、外国人コミュニティに対する犯罪組織の浸透防止等を図るための総合的な対策を推進

○外国警察幹部を招いての岐阜県警察における視察・研修

- ・国際協力機構（JICA）などとの共催で、アジア等の計8か国にある警察機関の捜査幹部を招き、犯罪捜査における国際協力の推進を図ることを目的に、視察・研修を実施

○多文化共生推進員の設置

- ・外国人県民と行政との橋渡しを担う人材を「岐阜県多文化共生推進員」として委嘱し、推進員による外国人県民への行政情報等の提供や、日本語教室、子どもの学習支援、国際交流イベントの開催などを通じ、地域における多文化共生を推進（R5年度：多文化共生推進員委嘱人数：30人）

○外国人県民会議の開催

- ・外国人県民の意見を施策に反映させるため、外国人県民会議を開催（R5年度：8月開催）

○多文化共生シンポジウムの開催

- ・外国人県民を含むすべての県民が地域社会で円滑に日常生活を送り、社会活動を行うことができる「多文化共生社会」を一層推進するため、多文化共生シンポジウムを開催（R5年度：11月開催）

○県内統一妊娠届出書の外国語版作成

- ・妊婦が市町村の窓口で提出する妊娠届出書の英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語版を作成し、周産期医療機関や市町村へ配布するとともにホームページに掲載

○乳幼児健康診査問診項目（問診票）の外国語版作成

- ・各市町村において、平成27年度より使用する乳幼児健康診査における追加問診項目の英語版、中国語版、ポルトガル版、タガログ語版を作成し、各市町村へ配布

○外国人向け防災啓発・減災事業

- ・岐阜県災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施するとともに、市町村が外国人防災対策に取り組む上で重要な項目をまとめた「市町村防災対策カルテ」により、市町村の取り組みを促進。そのほか、外国人県民向け防災啓発講座や、ボランティアとも連携した市町村災害時多言語支援センター設置・運営訓練などを実施。
- ・防災意識の高揚を図るため、ブラジル人学校の児童生徒を対象に地震体験車や土石流の模型を使った防災啓発講座を実施。（R4年度：2回開催）

○国際交流センターによる助成

- ・草の根レベルの活動促進、地域の国際化を図るため、県内に活動拠点を有する民間団体が実施する国際交流・協力事業、多文化共生社会づくり事業を助成（R4実績：8団体）

○外国人留学生の県内就職支援

- ・外国人留学生の県内企業への就職を促進するための、留学生や企業に対するセミナー、留学生のイ

ンターシップ及び合同企業説明会を実施したほか、留学生を積極的に採用する県内企業の情報を発信

○外国人雇用に関する相談窓口の設置

- ・中小企業総合人材確保センターにおいて、事業者向けの外国人雇用に関する相談窓口を設置し、在留資格に応じた受入方法や制度を踏まえた相談を実施（H31. 4. 1～）

○外国人に対する消費生活相談体制の整備

- ・消費生活相談窓口（県民生活相談センター、可茂・飛騨県事務所）に多言語音声翻訳機を配備し、日本語を母語としない方からの相談に対応

○外国人の消費者被害防止に向けた取組み

- ・消費生活相談窓口を周知する外国語パンフレット（英語、タガログ語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語）を作成し、市町村や在住外国人相談センターを通じて配布
- ・ポルトガル語とタガログ語の「消費生活ガイドブック」を作成し、在住外国人が在籍する小・中学校や岐阜県在住外国人相談センターを通じて配布
- ・岐阜県在住外国人相談センターと連携し、国際交流協会や国際交流団体等に対して、在住外国人の消費者トラブル防止、相談窓口周知の情報発信を実施

○119番通報時等の三者間通話体制の構築

- ・日本語でのコミュニケーションが困難な外国人からの119番通報時や現場活動時に、消防職員が適確に対応できるよう、電話通訳センターを介した三者間及び二者間通話体制を県内全ての消防本部で構築。（言語：英語、中国語、ポルトガル語等18言語）

○外国人向け消防団読本の作成・配布

- ・県内在住外国人の消防団に対する理解を深めるため、消防団の活動内容等を紹介する読本を作成し、市町村、各国際交流協会等へ配布（作成言語：英語、中国語、ポルトガル語）

○外国人消防分団・隊設置に対する補助金の交付

- ・外国人に対する消防普及啓発や災害時の避難呼びかけ及び避難所での支援等を目的とした、外国人で構成する消防分団・隊を設置する市町村に対し、必要な資機材整備等に要する経費について1/2の範囲内で補助を実施

○河川利用に関する意識啓発

- ・河川利用者に対し、多言語化したポスターや啓発看板を用いて、水難事故防止・ゴミ放置防止等の意識啓発活動を実施

○「岐阜県川の防災情報」の多言語化

- ・雨量や水位情報等をリアルタイムで発信する「岐阜県川の防災情報（スマートフォン版）」を多言語化して提供

②令和6年度の取組予定

○日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

- ・令和元年度に策定した日本語教育実施計画を改定するとともに、日本語教室の立ち上げ支援や運営のアドバイスを行う地域日本語教育コーディネーターの派遣、地域の日本語教育を担う人材を育成する講習会の開催等を通じて、日本語教育環境の体制整備に向けた取組みを実施
- ・教室のない地域に在住する外国人向けに、オンラインでの学習機会を提供
- ・外国人県民への日本語教育を総合的に支援する「日本語教育総合支援センター（仮称）」を開設

○外国人材の活躍に向けた日本語教育や就労定着の支援

- ・外国人学校の卒業生など就労を目指す在住外国人を対象として、日本語教育から就労・定着までを一体的に支援するモデル的な取組みを行う外国人学校等に対し、事業費の一部を補助

○外国人児童生徒適応指導員の配置

- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒の急増に対応するため、母語を話すことができる外国人児童生徒適応指導員（日本の学校生活に適応するための通訳等）を26人配置し、学習活動の支援、学校生活への適応指導及び日本語についての指導・援助を行う等、外国人児童生徒に母語で対応できるよう環境づくりを推進〔対応言語（予定）：ポルトガル語 タガログ語 中国語〕

○JETプログラムの国際交流員（CIR）の活用

- ・国際理解を深めるため、公立学校における総合的な学習や外国人学校の授業・行事等において、国際交流員等を積極的に活用

○外国人患者受入環境の整備

- ・増加する外国人患者に対応するため、新たな医療通訳の確保に係る人件費、医療通訳サービスや多言語対応ツールの導入に係る経費を、病院及び診療所に対して助成
- ・医療や消防（救急）関係者などで構成する岐阜県外国人患者受入体制整備協議会を設置し、外国人患者の受入体制における課題を整理

○多言語版防災チラシ等の作成・配布

- ・日本語が不慣れな外国人向けに、正確な防災関係の知識を提供して、災害から身を守るために必要な備えを広報啓発する多言語版のチラシ等を作成し、イベント等で配布

○防犯講習会の開催

- ・各警察署において、在住外国人を集め、日本での習慣、モラル、犯罪被害防止対策などを内容とした小冊子等を活用し、犯罪被害防止を目的とした防犯講習会を実施

○外国人交通安全教育指導員の配置

- ・日本語が堪能な外国人を外国人交通安全教育指導員として採用し、外国人のコミュニティ等との連携を図り、交通安全に関する相談の受理、交通安全教材の作成、提供など効果的な交通安全教育を推進

○外国人に対する交通安全教育の実施

- ・外国人を雇用する企業や外国人学校等を対象に、参加・体験・実践型の交通安全教育を実施するほか、運転免許課に外国人交通安全教育指導員を派遣し、外国免許切替者等に対する交通安全指導等を実施

○運転免許試験問題の多言語化

- ・運転免許試験を受験する外国人に対し、学科試験問題や外国免許切替試験の際の知識確認を多言語化して提供

○音声翻訳アプリの活用

- ・事件事故や相談などの警察活動において外国人とのコミュニケーションを図るため、全警察署、交番にて翻訳アプリが搭載されたスマートフォン型端末（ポリストリップルアイ）を活用

○国際捜査官の養成

- ・語学研修により、外国人が関係する事件・事故等あらゆる警察事象に対応できる国際捜査官を養成

○在留外国人等総合対策の推進

- ・関係行政機関、住民団体、企業等と連携し、在留外国人等に係る犯罪被害防止、外国人コミュニティに対する犯罪組織の浸透防止等を図るための総合的な対策を推進

○在留外国人等対応業務専門職の配置

- ・在留外国人等への対応業務を一層充実させ、地域住民共々、安心して快適に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、外国人居住者の多い警察署（可児署・加茂署）に在留外国人等対応業務専門職を配置

○外国人の居住支援

- ・外国人をはじめとする住宅確保に配慮が必要な方の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援することを目的として、これらの方の入居を拒まない民間賃貸住宅を県が登録する事業を実施

○外国人向け防災啓発・減災事業

- ・岐阜県災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施するとともに、市町村が外国人防災対策に取り組む上で重要な項目をまとめた「市町村防災対策カルテ」により、市町村の取組みを促進。そ

のほか、外国人県民向け防災啓発講座や、ボランティアとも連携した市町村災害時多言語支援センター設置・運営訓練などを実施。

- ・外国人県民向け防災啓発講座や、ボランティアとも連携した市町村災害時多言語支援センター設置・運営訓練などを実施
- ・「清流の国ぎふ 防災・減災センター」にて、外国人の防災意識の向上と基礎的知識の習得を図るための防災講座を実施

○岐阜県在住外国人相談センター設置

- ・国際交流センター内に、岐阜県在住外国人相談センターを設置し、多言語（英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）の堪能な相談員を配置して相談対応をするとともに、外国人特有の文化や考え方に詳しい専門家（心理カウンセラー、弁護士等）と連携した相談体制を整備。
- ・多様な相談に対応するため、外国人カウンセラー等による外国人県民向けの「こころの相談会」や、名古屋出入国在留管理局職員による相談会等を実施
- ・上記相談員のほか、市町村に配置されている相談員も含めた情報交換、勉強会等を開催するとともに、他団体の相談員とのネットワークを構築

○在住外国人行政相談員の設置、相談窓口の設置、ネットワーク会議の実施

- ・県事務所に在住外国人行政相談員等（ポルトガル語、タガログ語）を配置し、各種行政窓口等に派遣し、多言語での相談対応を実施

○地域日本語コーディネーター等の派遣による日本語教室の設置や運営支援

- ・日本語教室の立ち上げ支援や、教室運営上の諸課題の解消などを目的に、地域日本語コーディネーター等を派遣

○日本語教室のボランティアのネットワークづくり化

- ・県内に存在する日本語教室を活性化し、岐阜県における日本語教育の体制整備を図るため、研修会を開催

○岐阜県多文化共生推進補助金

- ・初期指導教室の整備など、市町村が多文化共生の推進に向けて行う事業を補助

○地域日本語教室運営事業に対する支援

- ・日本語教室を運営する市町村や企業に対し、開設及び運営経費の一部を補助

○「やさしい日本語」の普及啓発事業に対する支援

- ・「やさしい日本語」の普及啓発を行う市町村や企業に対し、経費の一部を補助

○外国人の子どもの学習支援を行う担い手の育成・確保

- ・地域の日本語教室で教えるボランティア等が、外国人児童生徒に適切な日本語指導が出来るよう研修会を開催

○外国籍の子どもの進学支援

- ・義務教育の就学年齢を超えて高等学校進学などを旨とする外国籍の子どもが、希望する高等学校に進学、就学、就職ができるように、日本語指導、進学に必要な教科指導、受験準備、進路に関する相談・指導等を行う補習校的な進学支援教室に委託等を行う市町村に対して補助

○外国人の子ども・保護者向け生活設計支援

- ・外国人の子ども・保護者に対して、定住を前提とした日本の教育制度、就労環境等を理解した上で、生活設計をしてもらえるようライフプラン講座や相談会を実施

○外国人高校生を対象としたキャリア教育

- ・外国人児童生徒を対象に、関係機関と連携し外国人の先輩社員が、仕事内容ややりがい等を紹介する講座や具体的な職業・進路選択のための体験学習として職業体験を実施する

○医療通訳ボランティア派遣の斡旋・育成

- ・医療機関の依頼に応じて医療通訳ボランティア（ポルトガル語、中国語、タガログ語及びベトナム語）を斡旋
- ・医療通訳ボランティアの登録者の拡充やブラッシュアップを図るため、実践で役立つ知識の習得やロールプレイを通じた研修を実施

○災害時語学ボランティアの育成

- ・災害時の語学ボランティア向けの研修会を開催

○外国人防災リーダー育成事業

- ・外国人自身に地域や外国人コミュニティで、日本語に不慣れな方々への日本の災害の啓発、災害時のサポートなどを担ってもらうため、外国人防災リーダーを育成する講座を実施
- ・育成した外国人防災リーダーが実際に啓発講座の講師となるなど、活躍できる場を創出

○避難情報の多言語化

- ・市町村が発令する避難指示や土砂災害警報、河川等の情報を多言語で提供（言語：英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、やさしい日本語）

○多文化共生推進員の設置

- ・外国人県民と行政との橋渡しを担う人材を「岐阜県多文化共生推進員」として委嘱し、推進員による外国人県民への行政情報等の提供や、日本語教室、子どもの学習支援、国際交流イベントの開催などを通じ、地域における多文化共生を推進

○外国人県民会議の開催

- ・外国人県民の意見を施策に反映させるため、外国人県民会議を開催

○外国人に対する消費生活相談体制の整備

- ・消費生活相談窓口（県民生活相談センター、可茂・飛騨県事務所）に多言語音声翻訳機を配備し、日本語を母語としない方からの相談に対応

○多文化共生シンポジウムの開催

- ・外国人県民を含むすべての県民が地域社会で円滑に日常生活を送り、社会活動を行うことができる「多文化共生社会」を一層推進するため、多文化共生シンポジウムを開催

○河川利用に関する意識啓発

- ・河川利用者に対し、多言語化したポスターや啓発看板を用いて、水難事故防止・ゴミ放置防止等の意識啓発活動を実施

○「岐阜県川の防災情報」の多言語化

- ・雨量や水位情報等をリアルタイムで発信する「岐阜県川の防災情報（スマートフォン版）」を多言語化して提供

(6) 国際化時代に対応した人づくり

～教育・文化振興のための海外との交流～

①これまでの取組実績

○アジア陶磁デルタプロジェクト

- ・県現代陶芸美術館と（財）世界陶磁器エキスポ（現：韓国陶磁財団）（韓国）、台北県立鶯歌陶磁博物館（現：新北市立鶯歌陶瓷博物館）（台湾）が連携し、3機関を巡回する展覧会を開催
- ・アジア3地域のやきものの現況を紹介し、陶磁文化の相互理解を推進

○新北市立鶯歌（インゲー）陶瓷博物館との文化交流

- ・原副知事をトップとする訪問団を派遣し、県現代陶芸美術館との間で、「文化交流協定に関する覚書」を締結（H17.10）
- ・「文化交流協定に関する覚書」を背景とした共同研究プロジェクトの一環として、新北市立鶯歌陶磁博物館の招待により県現代陶芸美術館職員1名が台湾を訪問、調査研究を実施（R1.11）
- ・R1年の訪問調査及びその後の研究交流をもとに、台湾現代陶芸を紹介する展覧会「台湾現代陶芸の力 台湾・新北市立鶯歌陶瓷博物館所蔵品による」展を県現代陶芸美術館にて開催（R3.10.1～11.7）

○ブダペスト国立工芸美術館との文化交流

- ・令和3年10月、駐日ハンガリー特命全権大使、リスト・ハンガリー文化センター東京所長の県現代陶芸美術館視察を機に、県現代陶芸美術館との間で、「陶芸文化交流に関する覚書」を締結（R5. 1）
- ・ブダペスト国立工芸美術館による学術協力のもと、ハンガリー現代陶芸を紹介する「やきものとうたう：ハンガリー現代陶芸展」を県現代陶芸美術館にて開催（R5. 4. 22～7. 2）

○世界に羽ばたく若手音楽家の育成

- ・ぎふ・リスト音楽院マスターコース（受講者累計671人、留学生累計114人）、ぎふ・プラハ音楽院セミナー（受講者累計338人、留学生累計64人）を民間の国際交流団体や企業と協働により実施（プラハは平成30年度までの実績）

○国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT)、外国人スポーツ国際交流員(SEA)の招致

- ・「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」によりCIRを招致し、国際交流関係事業の補助や地域住民の異文化理解のための交流活動及び外国住民の生活支援などで活躍（R3年度実績7カ国12人）
- ・米国やカナダ等からALTを招致し、小中学校及び高等学校の外国語教育や国際理解教育の補助を実施（R3年度実績76人）
- ・県内スポーツ選手の競技力の向上を図るとともに、スポーツを通じた国際交流を促進するため、新体操の指導者をブルガリアから1名招聘し、スーパージュニアスクール事業等で小中高生を指導（H18年8月～H23年8月）

○青年海外派遣事業を通して国際的視野の養成

- ・「内閣府青年国際交流事業」により、青年を海外へ派遣し、世界各国の青年との交流を通じて、相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を養う機会を提供し、国際化社会において様々な分野で活躍できる青年を育成

○岐阜県交響楽団創立55周年記念「ウィーン公演」及び文化交流事業

- ・社団法人岐阜県交響楽団が、ウィーン楽友協会「黄金ホール」にて創立55周年の記念公演を実施。公演に併せて、茶会、謡曲などの文化交流事業も実施（H21. 5）

○青年ニューヨーク遊学支援

- ・健全な青少年を育成するという観点から、自分の夢を叶えるため、自分の能力を高めるため、専門的な資格取得、国際ボランティア経験、企業研修、芸術活動のスキルアップ等、日本では経験できない貴重な経験をするためなどを目的として、岐阜県青少年育成県民会議が青年のニューヨーク遊学支援を平成19年度から実施。（遊学者累計18人）

○文化芸術を通じた国際交流

- ・ぎふ清流文化プラザにおいて、リトアニアの文化に触れる事業を実施。リトアニア文化指導者合唱団と県内合唱団が共演するなど、文化を通じた相互理解を推進
- ・リトアニアの音楽団・合唱団と県内大学生・高校生とのコンサート共演や、リトアニア合唱団による高校・中学校を訪問しての合唱交流等を実施

○県図書館におけるグローバル人材育成に関わる取組み

- ・スマートフォン等を使用した英語学習を通じて ICT 技術を習得し、英語でブログや電子書籍を作成し発信する「ICT を活用した英語の電子書籍出版講座」を開催
- ・小学生と中学生以上それぞれを対象に、県内在住の外国人と交流し外国の文化を知る「外国文化に触れる交流会」を開催
- ・英語多読の効果的な取り組み方などを学ぶ英語多読講座を開催
- ・全国の図書館関係者、英語科教員等を対象に、英語多読講演会・シンポジウムを開催
- ・外国語新聞、雑誌の購入
- ・電子書籍を導入（英語学習関連など）
- ・語学学習や留学情報などに関する図書等を重点的に購入し、海外情報コーナーに設置
- ・さまざまな言語で絵本を楽しむ外国語によるおはなし会の開催

②令和6年度の取組予定

○質の高い文化・芸術のふれあいを通じた人づくり

- ・県有文化施設等において、質の高い文化・芸術にふれあい、親しむ機会の提供を通じ、文化・芸術の価値を理解でき、世界の人々と感動を共有できる人材を育成（国際的な美術展・文化展の開催、コンクール・レッスン・コンサートの開催、県内大学連携による講義、スポーツイベントの開催、世界淡水魚園の魅力向上等）
- ・ぎふ・リスト音楽院マスターコース、ぎふ・プラハ音楽院セミナーなど国際交流や友好関係を通して、世界に羽ばたく若手音楽家を育成

○岐阜の歴史・伝統文化の継承・発展

- ・岐阜県の歴史・伝統文化を理解し、育み、アイデンティティ（個性）を持った人材を育成
- ・世界に誇る岐阜県の遺産を通じたふるさとを愛する子どもたち（県民）を育む
- ・岐阜県の伝統文化を通して、心豊かな人間形成を推進

○国際社会に通用する人づくり

- ・外国語教育や国際理解教育の充実、県内の大学と国内外の大学との連携、外国人との交流機会の提供、高校生の留学支援、高校生や青年の海外研修、スーパーグローバルハイスクールの指定などによりグローバル人材を育成。また、教員を支援し、指導能力向上を促進

○岐阜県と交流がある国との図書館交流事業

- ・岐阜県とアルザス欧州自治体 CeA との協力協定に則り、両県の図書館間での交流を行うとともに、

- フランス文化を紹介する講演会やパネル展示を県図書館で開催
- ・ 図書の交換によりオランダ県立図書館から寄贈された図書を展示
- ・ 「岐阜県とベトナム社会主義共和国トゥアティエン＝フエ省との友好協力関係に関する覚書」に則り、両県省の図書館間での交流を行う
- ・ 図書等の交換によりトゥアティエン＝フエ省総合図書館から寄贈された図書及び工芸品を展示

○県図書館におけるグローバル人材育成に関わる取組み

- ・ 子どものための外国文化講座として、教えて海外のこと（小学生対象）を開催
- ・ 電子書籍による英語学習コンテンツの提供を継続

○陶芸文化の海外発信に向けた取組み

- ・ 陶磁文化の相互理解を深めること、また県陶芸文化の海外発信を目的に、新本市立鶯歌陶磁博物館と京畿陶磁美術館（韓国）との共同展覧会の開催に向け調査協力を行う

○ハンガリー陶芸家との交流

- ・ ハンガリーを拠点とする陶芸家と岐阜県を拠点とする陶芸家のハンガリー現代陶芸展（R5 開催）を機に深まった国際交流の成果を紹介する「W a y s o f E a r t h」展を県現代陶芸美術館にて開催（R6. 10. 18～11. 17）

○その他

- ・ 県美術館が開館以来収集してきた、フランスの画家オディロン・ルドンのコレクションを紹介する展覧会「PARALLEL MODE：オディロン・ルドン」を開催（R6. 9. 27～12. 8）

（7）国際交流戦略を支える基盤整備

～世界とのアクセス条件の向上や役割を明確化した海外拠点配置など～

①これまでの取組実績

○中部国際空港の活用

- ・ 国際拠点空港である中部国際空港の完全 24 時間運用の実現に向け、中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会（設立：H20. 4. 30、構成：43 団体／東海 3 県 1 市、（一社）中部経済連合会、名古屋商工会議所等）の一員として、第二滑走路の建設促進活動等に参画
- ・ 東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会（設立：S58. 1. 10、構成：愛知県及び愛知県内の関係市町村等）の参与として、空港アクセス整備に関する要望活動に参画
- ・ 中部国際空港利用促進協議会（構成：3 県 1 市（岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）、名古屋商工会議所、（一社）中部経済連合会等）の一員として、新規就航路線への支援、航空貨物を取り扱う企業への支援、海外観光客誘致のための海外メディア・旅行会社等の招へいなど航空需要の拡大に向けた活動、空港からの二次交通強化に関する活動等に参画

○海外拠点（海外駐在員事務所）の設置

- ・海外直結戦略を推進するため、県自らが海外駐在員事務所を設置し、海外ネットワークを構築するとともに、国際化に対応できる職員を養成

アジア 香港（S63～H15）、上海（H7～R3）

ヨーロッパ パリ（H2～H15）、ロンドン（H4～H15）、ライゼンハウト（H4～H15）、ミラノ（H8～H16）、ベルリン（H12～H17）

北アメリカ ニューヨーク（S61～H21）、ロサンゼルス（H2～H14）→サニーベル（シリコンバレー）（H14～H17）

オーストラリア ゴスフォード（H5～H11）

※最大時で9事務所設置（H8～H15の間）

○職員の人材育成

- ・海外駐在員事務所の外、国際化に対応できる職員を養成するために次のとおり職員を海外に派遣
- ・州政府派遣：ユタ州政府（H6～H17 累計5名）、ウエストバージニア州政府（H9～H17 累計3名）
- ・外務省派遣（S62～ 累計42名）、自治体国際化協会派遣（H元～H13、H18～累計19名）
- ・海外の大学研究機関派遣（H10～11 累計2名）
- ・国際観光振興機構（日本政府観光局）派遣（H23～累計7名）

○（公財）岐阜県国際交流センター機能の見直し

- ・国際交流センターは、平成元年、県民全体の国際交流活動を活性化させるため、地域の国際交流活動を支援する中核的組織として設立
- ・県と民間団体をつなぎ、より柔軟できめ細やかな支援を行うという固有の役割を果たすため、県関与の縮減、役割分担の明確化等により、国際交流センターの自主・自立性を強化

②令和6年度の取組予定

○中部国際空港の活用

- ・中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会の一員として、第二滑走路の建設促進活動等を継続
- ・中部国際空港への交通アクセスの充実に向け、東海北陸自動車道南伸建設促進期成同盟会による要望活動を継続
- ・中部国際空港利用促進協議会の一員として、航空需要の拡大に向けた活動・空港からの二次交通強化に関する活動を継続
- ・中部国際空港への職員の派遣

○地域の国際化推進体制・制度の構築

- ・同じ課題を持つ他県などとの連携により、地域の国際化推進のため、制度・仕組みの充実を検討
- ・中部広域による国際競争力のある面的観光地づくりを目指し、中央日本総合観光機構（設立：H29.5.26、構成：中部9県3市、地方自治体、観光関係団体及び企業等）と連携して国際観光振興事業を実施するため、職員を派遣（～R4）。訪日外国人有望市場を選定し、訪日外国人動向を的確

に把握して観光交流に期待できる対象国に対し、重点的施策を展開

○職員の人材育成

- ・グローバル化に対応できる職員の人材育成の観点から、海外での勤務経験・研修経験及びその他国際関係機関への派遣・研修として、外務省在外公館や CLAIR 海外事務所、日本政府観光局（JNTO）ロサンゼルス事務所へ派遣

○（公財）岐阜県国際交流センター事業の活用

- ・国際交流センターは、県民の草の根交流事業・多文化共生事業への助成などにより、地域の国際交流活動の支援を実施

2 国・地域別交流の方向性

（1）アジア・大洋州地域

ブータン【主な交流事例】

○林業（キノコ栽培技術）支援

- ・ CLAIR、JICA など外部事業を活用し、県林政部や林業関連機関等において研修生を受け入れ、キノコ栽培技術・知識の向上を図る実技研修を実施（CLAIR：H10～11、13～14、JICA：H15～17、JICA【琉球大学実施に協力】：H28～）

中国【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜県日本中国友好協会、岐阜日中協会など

○江西省（友好交流、産業・農林業、国際協力）

- ・昭和 63 年に友好提携をし、技術研修員の受入、植林事業、安八町・海津市の交流、県内企業の交流など幅広い分野で交流が進展
- ・友好提携 20 周年にあたり、古田知事が江西省を訪問。知事の訪問に併せて県内関係者約 80 名が同行。紹介展、岐阜県日本中国友好協会による「和平竜」の贈呈式、記念植樹、副省長との面談、協定締結式などを実施（H20. 11）
- ・県省間のより一層の交流と協力関係促進に関する覚書に署名。併せて林業分野における協定と、花き分野、産業人材育成に関する民間協定が締結
- ・本県と江西省の花き分野での技術交流を進めるため、受け入れる研修員や研修内容などについて調査を実施（H21. 12）

- ・日中青少年交流事業で、県内青年 25 名（行政、農業、花き、林業、学術、メディア等）が江西省を訪問し、視察や青年との交流を実施。
- ・江西省の花き分野に関わる人材育成並びに技術協力を進めるための研修員の受入を実施（CLAIR 事業、H22. 7～11、H23. 8～12）
- ・江西省の花き生産状況調査及びH23 年度花き研修員候補者面談を実施（CLAIR 事業、H23. 1）
- ・副知事が第 2 回国際友好都市交流大会出席のため、江西省訪問（H23. 11）
- ・江西省の花き生産状況調査（CLAIR 事業、H24. 2）
- ・江西省の花き産業育成支援を目的に、本県が有する流通ノウハウや生産者の経営理念などを江西省の花き業界関係者に広く紹介するセミナーを実施（H24. 11、H25. 2）
- ・江西省の花き産業育成支援を目的として、中国江西省の農業専門家及び花き業界のリーダー受け入れを実施（H25. 8、10）
- ・友好提携 25 周年にあたり、江西省代表団が岐阜県を訪問し、知事表敬や中国江西省紹介展オープニング式典等を実施（H25. 8）
- ・岐阜県代表団 58 名が江西省を訪問し、江西省人民政府副省長との面談、岐阜県紹介展オープニング式典、記念植樹等に参加（H25. 11）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花き生産者等 6 名が江西省を訪問し、江西省農業庁長との面談、農業科学院等の訪問を実施（H26. 9）
- ・県内友好団体及び県林政部職員が江西省を訪問し、同省内森林公園において関係者と協働による植樹活動等を実施（H26. 10）
- ・江西省で開催された第 3 回世界低炭素生態系経済大会等へ出席のため、県商工労働部職員らが同省を訪問（H26. 11）
- ・江西省で開催された第 4 回世界緑色発展投資貿易博覧会等へ出席のため、岐阜県上海事務所駐在員が同省を訪問（H28. 11）
- ・中国人民政治協商会議江西省委員会副主席を団長とする訪問団 6 名が当県を訪問し、知事面談や市町村表敬、県内視察を実施（H29. 8）
- ・知事が岐阜県と中国江西省との友好提携 30 周年に際し江西省訪問（H30. 11）
- ・江西省の協力を得て同省の訪日旅行社を県に招請（H30. 11-12）
- ・中国江西省上饒市婺源県の訪問団が観光国際局長を訪問（H30. 12）
- ・友好提携合わせて 30 周年にあたり、知事他県内関係者約 80 名が江西省を訪問。省長との面談、紹介展、記念植樹、木育教室、協定締結式などを実施（H30. 11）
- ・岐阜県園芸特産振興会花き部会と江西省花卉協会との間で交わした覚書締結から 10 周年を迎え、両者の交流をさらに進めるため「花き産業発展に関する覚書」を締結（H30. 11）
- ・農政部長と花き生産者 5 名らが江西省農業庁を訪問し、副農業庁長と面談（H30. 11）
- ・友好提携 30 周年にあたり、江西省代表団が岐阜県を訪問し、知事表敬や中国江西省無形文化遺産紹介展オープニング式典、祝賀コンサート等を実施（H30. 9）
- ・江西省の写真愛好家 3 名が岐阜県を訪問し、岐阜県の写真愛好家と交流。岐阜市、高山市、中津川市、恵那市及び白川村を訪問し、写真を撮影（H30. 10）。撮影した写真は、江西省で行った「岐阜県紹介展」で展示（H30. 11）

- ・岐阜県代表団約 80 名が江西省を訪問し、江西省委員会書記との面談、岐阜県紹介展オープニング式典、記念植樹等に参加（H30. 11）
- ・県省間のより一層の交流と協力関係促進に関する覚書に署名。併せて林業分野における覚書と、花き分野に関する民間団体での覚書を締結（H30. 11）
- ・岐阜県の写真愛好家 8 名が江西省を訪問し、江西省の写真愛好家と交流。南昌市、撫州市及び鷹潭市を訪問し、写真を撮影（H30. 11）。撮影した写真は、OKBふれあい会館で行った「岐阜県・江西省写真愛好家交流写真展」で展示（H31. 1）
- ・江西省人民代表大会代表団 6 名が岐阜県を訪問し、県議会との交流、県内視察等を実施（H30. 12）
- ・江西省林業訪問団 6 名が岐阜県を訪問し、「岐阜県林政部と江西省林業局との林業分野での交流促進に関する覚書」に基づく今後の交流方針について協議したほか、県内各地の森林・林業関係の施設を視察（R1. 5）
- ・第 11 回中国中部投資貿易博覧会へ出席のため、上海駐在員が江西省を訪問（R1. 5）
- ・邱水文江西省林業局長を団長とする訪問団が当県を訪問し、荻巣林政部長との面談や県内視察を実施（R1. 5）
- ・易煉紅江西省長を団長とする訪問団が当県を訪問し、知事との面談や県内視察を実施（R1. 9）
- ・岐阜県の写真愛好家 8 名が江西省を訪問し、江西省の写真愛好家と交流。景德鎮市、上饒市、南昌市を訪問し、写真を撮影（R1. 10）。撮影した写真は、岐阜県美術館で行った「岐阜県・江西省写真愛好家交流写真展」で展示（R2. 1）
- ・県林政部職員らが江西省を訪問し、覚書に基づき、令和 2 年度以降の交流の詳細について協議を行ったほか、江西省各地の森林・林業関係の施設を視察（R1. 12）
- ・岐阜県林政部次長を団長とする訪問団が江西省を訪問し、「国際野鳥観察週間」へ出席（R1. 12）
- ・鄭斌勇江西省自然資源庁副庁長を団長とする訪問団が当県を訪問し、危機管理部長との面談や県内の防災施設等の視察を実施（R1. 12）
- ・新型コロナウイルス感染症の発生に関連し、江西省へ支援物資（防護服 1,000 枚）を送付（R2. 2）
- ・新型コロナウイルス感染症に関連し、駐名古屋中華人民共和国総領事館から医療物資であるサージカルマスク（30,000 枚）を受贈（R2. 3）
- ・中国江西省直属機関第二保育院の幼児を対象にオンラインによる「ぎふ木育教室」を開催（R2. 12、R3. 12）
- ・江西省友好都市交流展示室への県産品の提供・展示（R3. 3）
- ・「第二回鄱陽湖国際野鳥週間」にあたり、知事ビデオメッセージを送付（R3. 11）
- ・中国江西省直属第五幼稚園の幼児を対象にオンラインによる「ぎふ木育教室」を開催（R4. 12）
- ・岐阜県と中国江西省との友好提携 35 周年を記念し、副知事他県内関係者約 40 名が江西省を訪問。同省林業科学院における記念植樹、中国江西省直属第五幼稚園において木育教室を開催（R5. 11）
- ・中国江西省林業局から研修員を受入れ（R5. 6～11）
- ・中国江西省林業局へ研究員を派遣（R5. 11～12）
- ・中国環境工程学院の学生が森林文化アカデミー等を訪問（R5. 11）

○中国との企業交流（GNI（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ））（産業）

- ・中部経済産業局の呼びかけにより 3 県 1 市を中心に G N I が発足 (H16. 7)
- ・岐阜県企業と連携を希望する IT 企業の調査のため中国上海へミッション派遣 (H17. 1)
- ・ソフトピアジャパンへ上海 IT 企業を招聘し、ビジネスマッチングを実施(H17. 3)。その結果、上海兆虹信息技术有限公司がソフトピアに進出(H17. 8 進出 H19. 7 退去)
- ・県内 IT 企業、ソフトピアジャパン、県などで構成されるビジネスチームを派遣 (H17. 4)
- ・中国 IT 企業 8 社を岐阜県へ招へい、ソフトピアジャパンの視察及び県内企業との商談会を実施 (H18. 2)
- ・中国 IT 企業 7 社を招聘し、ソフトピアジャパンの視察及び地元企業との商談会を実施 (H18. 8)
- ・「中国国際工業博覧会」に G N I ブースを出展し、地域の P R、商談を実施。県内企業も 1 社参加 (上海、H22. 11)
- ・G N I 協議会で R B C (Regional Business Conference) 事業に招聘する企業の発掘を目的として、中国 (深圳) にミッションを派遣し、グレーター・ナゴヤ地域を P R (H30. 12)
- ・「R B C (Regional Business Conference) in グレーター・ナゴヤ」において、グレーター・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資する AI・IoT 関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。中国企業は 4 社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施 (R1. 10)

○県内企業の海外事業展開を支援 (産業)

- ・中国・上海に事業拠点を持つ県内企業と連携し、県産品テストマーケティングを実施 (H24. 7)
- ・県が主体となり、認知度の向上と取扱店の開拓に向けて、香港「Food Expo」に出展し、商談を実施 (H25～28)
- ・(公財)岐阜県産業経済振興センター(GPC)が、県内企業の国際的な事業展開を支援するため、海外展示会への出展支援、海外ビジネス相談、最新経済セミナー等を実施。また、展示会出展をより効果の高いものとするため、現地のビジネス事情に詳しい専門家をアドバイザーに委嘱し、出展企業のブースで商談支援を実施。JETRO においても、中国貿易投資相談会を開催
- ・GPC が中国からバイヤーを招へいし、商談会を開催 (H24～28)
- ・中国広東省「モノづくり産業」視察ツアー実施 (H29)
- ・中国の SNS ツール「WeChat」内の特設サイトにおいて県産品を販売し、中国市場における県産品の販路拡大を支援 (R2、R3)

○中国からの観光客誘客 (産業)

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン(VJ)事業」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続き北京市、広州市など沿岸部等からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、中国 (広州市、北京市) ハイレベルミッションに参加して政府関係者及び主要旅行会社に中部の魅力を P R (H18. 8)
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、上海で開催される中国国際旅游交易会 (CITM 2006) に岐阜県ブースを出展 (H18. 11)
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、中国 (天津市、北京市) に中部教育観光誘致ミッションを派遣。

市長との面談や教育関係者、旅行社等への教育旅行説明会を開催（H19. 8）

- ・中部広域観光推進協議会と連携し、北京で開催される北京国際旅游博覧会（BITE 2009）に出展（H21. 6）
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、中国（北京市、上海市）ハイレベルミッションに参加して政府関係者及び主要旅行会社に中部の魅力をPR（H21. 11）
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、中国（北京市、南京市）ハイレベルミッションに参加して政府関係者及び主要旅行会社に中部の魅力をPR（H22. 9）
- ・上海万博の開催に合わせて、中国（上海市）において岐阜県観光プロモーションとして、GIFU プレゼンテーション、上海万博「岐阜県の日」への出展及び岐阜県観光物産展を開催（H22. 10）
- ・中国現地メディア向けセミナーを北京と上海で開催（H23. 8）
- ・新浪公司授賞式（北京）に出席（H24. 1）（「シナ新浪ウェイ微ボ 博」を活用した中国への情報発信の取り組みが評価されたため）
- ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携し、中国広東省で商務・研修・教育旅行に関するセールスコールを実施（H24. 2）
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、中国（上海市、広州市）へのハイレベルミッションに参加（H24. 5）
- ・昇龍道プロジェクト協議会と連携し、中国（上海市・杭州市）へのハイレベルミッションに参加（H24. 7）
- ・微博（中国版ツイッター）フォロワー・メディア向け交流会を開催（H25. 3 北京、H25. 6 上海、H26. 12 上海、H28. 1 上海）
- ・日中観光文化交流団に参加（H27. 5 北京）
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、上海市で開催された上海世界旅行博覧会（WTF2017）に出展。（H29. 4）
- ・上海にある中部の県上海事務所等と連携し、北京市で開催された北京国際旅游博覧会（BITE2107）に出展。（H29. 6）
- ・上海にある中部の県上海事務所等と連携し、上海市で開催された上海世界旅游博覧会（SWTF）に出展。（H30. 5）
- ・上海にある中部の県上海事務所等と連携し、北京市で開催された北京国際旅游博覧会（BITE2107）に出展。（H30. 6）
- ・上海にある県上海事務所等と連携し、北京で開催された北京世界旅游博覧会（BITE2019）に出展。（R1. 6）
- ・上海にある県上海事務所等と連携し、昆明市で開催された中国国際旅游交易会（CITM2107）に出展。（R1. 11）

○県産農畜水産物・林産物の輸出促進（農林業）

- ・農産物の販路開拓に向け、中国への流通ルートを構築するため、輸出促進協議会が主体となり、JETRO と連携して、上海国際食品見本市へ県内産の加工食品を出展（H20、H21）を行った他、県が主体となり、県内の流通業者と連携して、上海市内の百貨店（上海梅龍鎮伊勢丹百貨）での岐阜県観光物産展においてりんごの試験販売を実施（H22. 10）

※現在、検疫条件緩和の情報が確認できないため動きなし

- ・中国における木材需要、流通の動向や住宅需要の現状調査を実施（H16. 11）、国際省エネ建築技術製品上海推薦会における木製内装材の展覧・PRの実施（H18. 5）、木材製品の市場調査（H23. 1）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、中国（上海・江西省）における花きの市場動向、消費動向調査を実施（H26. 9）
- ・県と県内事業者が中国で木材産業調査を実施（H30. 7. 20～7. 21）
- ・岐阜県産の花き（切花）を初めて輸送し、友好提携30周年記念のレセプション会場において、県産花きを使用した花飾りを制作（H30. 11）
- ・中国での選材博覧会に県内事業者2社と出展し、県産材製品を出展しPRを実施。（R1. 12. 5～8）
- ・中国に向けた木材製品輸出についての研修会（R3. 12. 6）、オンラインセミナー（R4. 1. 12）、オンライン商談会（R4. 2. 22）を開催。県内事業者4社がオンライン商談会に参加

香港【主な交流事例】

- ・平成16年度に県、農業団体、商工業団体、JETROなどで構成する輸出促進協議会を設立し、香港の流通業者や県人会などと連携して、香港の百貨店等での本県産富有柿フェアを毎年継続して開催
- ・平成20年度からは、飛騨牛の輸出促進を図るため、国内外の食肉流通業者と連携し、飛騨牛を取り扱うレストラン等の認定や（H20～）、日本国総領事館や県人会と連携して、レストラン関係者等へ飛騨牛をPRする飛騨牛プロモーション（H23. 1）などを開催し、販路開拓に取組み（H30. 2 現在5店舗）
- ・輸出促進協議会主体で飛騨牛取扱レストランあるいは取扱意向のレストラン関係者の産地招聘を実施（H24年度～）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの輸出拡大に向け、花きの市場動向、消費動向調査、日本植物輸出協議会主催の花き展示会に花きを出品・PRを実施（H26. 12、H27. 2）
- ・清流の国ぎふ花の大商談会に、台湾の花のバイヤーを3名招待し、岐阜県産の花きのPRを実施（H28. 3）
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議が、香港の高級生花店において岐阜県花きフェアを実施（H30. 11）
- ・香港高級百貨店「YATA」と香港における県産農産物のブランド力向上に関する覚書を締結（H30. 11）

○無錫機電高等職業学校（産業）

- ・県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校と留学生派遣等の人材交流を進めることなどの覚書を締結（H18. 5）。平成20、22年度に1名ずつ留学生を受入れ。

○香港貿易発展局（産業）

- ・業界団体や企業間レベルでの交流が継続。県内・香港双方の企業ミッションの相互派遣・受入等を通じた企業間のビジネス連携推進のための相手方窓口として連携を継続

- ・同局主催の香港インターナショナルワイン&スピリッツフェアに岐阜県ブースを出展し県内酒蔵が日本酒をPR (H30、R1)

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・香港のショッップと県内事業者とのオンラインによる商談会を開催 (R3. 2)
- ・香港の連携型アンテナショッップ「COME IN'」にて、県産品テストマーケティングを実施 (H30、R2)

○香港からの観光客誘客（産業）

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン(VJ)事業」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続き香港からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・香港国際旅行展示会(ITE)に出展 (H27. 5、H28. 5、R4. 8)
- ・香港ブックフェアに出展 (H27. 6、R5. 7)
- ・岐阜県観光プロモーションを開催 (H30. 11)
- ・香港の最大手旅行社EGL 33周年記念式典においてPR、セールスコール実施(R1. 5)
- ・香港に向けて県内観光地からライブ配信(R2. 11)
- ・香港の最大手旅行社EGLと連携してプロモーション事業を実施(R3. 12～R4. 3)
- ・航空会社Peach Aviationと連携し、台湾からのメディア招請によるファミトリップを実施(R5. 11)

台湾【主な交流事例】

○台湾産業技術交流調査団

- ・梶原知事をトップとする訪問団が、台湾を訪問し、旅行者の県内誘致、観光地としての岐阜県PR、情報・通信分野をはじめとする行政経済関係との意見交換を実施 (H9. 10)

○台湾との企業交流（GNI(グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ)）（産業）

- ・日本進出済の台湾企業を対象に二次投資セミナーを開催し、グレーター・ナゴヤ地域をPR (H26. 3)

○台湾からの観光客誘客（産業）

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン・キャンペーン」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続き台湾からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・岐阜県観光連盟が高雄市と美濃鎮を訪問し、観光担当幹部との面談及び現地観光展での岐阜・愛知共同ブースを出展 (H19. 9. 21～9. 23)
- ・台湾から観光エージェント3社（うち1社は共催の交流協会予算）を招へいし、県内観光資源紹介ツアー及び地元企業との面談会（奥飛騨：23人参加、郡上：26人参加）、施設視察等を実施。名古屋市内において、「台湾観光投資セミナー～台湾からの観光客を増やすために～」を実施（91人参加）(H20. 2)
- ・台北市で開催された台北国際旅行博（ITF2009、2010、2011、2013）に出展（H21. 10～11、H22. 11、H23. 11、H25. 10、H27. 11）
- ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携し、高雄市の現地旅行会社等との個別面談の実施、

- 観光交流会（意見交換会、交流会）の開催、及び商談会に参加（H22. 11）
- ・観光庁、JNTOと連携し、台北市、台中市、高雄市で開催された教育旅行誘致現地説明会に参加（H23. 12）
- ・富山県、長野県と連携し、台北市、台中市、高雄市で開催された商品提案会に参加（H24. 2（台北のみ）、H25. 1、H26. 1、H27. 1、H27. 12、H28. 5、H29. 6）
- ・観光庁、（一社）スポーツツーリズム推進機構主催の「マラソン&サイクリング・ジャパン in 台北」に出展し、県内マラソン大会をプレゼンテーション（H26. 6）
- ・訪日旅行フェア「Touch The Japan」に出展（H29. 8）
- ・台北市において、現地旅行会社・メディア等を対象とした「岐阜県観光セミナー・商談会」を開催（H30. 1）
- ・知事による台湾政府とのオンライン会談（R2. 9）
- ・台湾（台北）に向けて県内観光地からライブ配信（R2. 11）
- ・台北市で開催された台北国際旅行博（ITF2020、2021、2022、2023）に出展（R2. 10、R3. 11、R4. 11、R5. 11）
- ・富山県、長野県と連携し、オンラインセミナー・個別説明会を開催（R4. 3）
- ・富山県、長野県と連携し、台北市で開催された商品提案会に参加（R5. 3、R5. 7）。合わせて、県観光連盟が台北市でセールスミッションを実施（R5. 3、R5. 7）
- ・有力訪日旅行社Lion Travelと連携してドライブ・プロモーション事業を実施（R4、R5）
- ・知事による台湾政府（観光協会秘書長、観光局長）との面談（R5. 7）
- ・台湾プロ野球球団「楽天モンキーズ」連携誘客キャンペーン「岐阜県 Day」記者発表（R5. 7 桃園）
- ・台湾プロ野球球団「楽天モンキーズ」連携誘客キャンペーン「岐阜県 Day」（R5. 9 桃園）
- ・航空会社Peach Aviationと連携し、台湾からのメディア招請によるファミトリップを実施（R5. 11）

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・台湾「Food Taipei」に出展（H23. 6）
- ・県内の部材関係企業と台湾企業とのビジネスマッチング及び工場視察を台中市にて開催。（H24. 12 ※台日産業技術合作促進会の協力）
- ・アッシュ・ペー・フランス（株）主催の日本「地場物産展」に出展（H26. 8）
- ・（公財）岐阜県産業経済振興センターに設けた基金を活用し、商工労働部、農政部、林政部が所管している海外市場展開にかかる事業（海外マーケティング調査及び調査結果をふまえた海外展示会等への参加等）を実施
- ・（公財）岐阜県産業経済振興センター台湾からバイヤーを招へいし、商談会を開催（H25、27）
- ・台北市内にて、JETRO 岐阜が現地バイヤーとの県産材製品に関する商談会を実施（H31. 1）
- ・台湾の連携型アンテナショップ候補店「治器（ドツワ）」にて、県産品テストマーケティングを実施（R4、R5）
- ・JETRO 岐阜により、飛騨の家具フェスティバルに現地バイヤーを招請（R5. 10）
- ・台湾の連携型アンテナショップ店「治器」と県産品の海外販路展開に関する覚書を締結（R5. 12）

○新北市立鶯歌（イングー）陶瓷博物館・新北市（教育・文化）

- ・原副知事をトップとする訪問団を派遣し、県現代陶芸美術館との間で、共同プロジェクト等の覚書を締結（H17.10）（県現代陶芸美術館と（財）世界陶磁器エキスポとの間で覚書を締結（H17.6））
- ・（財）世界陶磁器エキスポ、台北県立鶯歌陶磁博物館、県現代陶芸美術館が連携し、3機関を巡回する展覧会「アジア陶磁デルタプロジェクト」を開催
 韓国：H18.9.26～H18.12.31
 台湾：H19.2.6～H19.6.3
 岐阜県：H19.10.13～H19.12.16
- ・台湾現代陶芸の研究及び人的交流を目的に、新北市立鶯歌陶磁博物館の招待により県現代陶芸美術館職員1名が台湾を訪問、調査研究を行った（R1.11）
- ・R1年の訪問調査及びその後の研究交流をもとに、台湾現代陶芸を紹介する展覧会「台湾現代陶芸の力 台湾・新北市立鶯歌陶磁博物館所蔵品による」展を県現代陶芸美術館にて開催（R3.10.1～11.7）

○台湾への農畜水産物の販路開拓に向けた市場調査

- ・台湾への農産物の輸出の可能性を探るため、横井副知事をトップとする調査団を結成し、国内の輸出業者、台湾の流通業者、（公財）交流協会台北事務所と連携して、現地の百貨店や果実卸売市場などにおける流通動向調査を実施（H20.10～11）
- ・日本産牛肉の台湾への輸出解禁に対応し、同国への飛騨牛輸出を実施（H29.10）

○台湾高雄市からの訪問団

- ・台湾高雄市客家委員会訪問団（団長：古秀妃 高雄市客家委員会主任委員）による古田観光交流推進局長表敬（H24.4）
- ・台湾高雄市客家委員会訪問団（団長：古秀妃 高雄市客家委員会主任委員）による美濃市、大垣市訪問（H25.10）

○岐阜県産の木材製品の販路拡大を目指した常設展示場の開設等

- ・台湾において県内事業者5社とともに県産材製品を展示・販売する常設展示場を開設（H30.11.9～5ヶ月間）。また、展示場にてセミナーを開催（H30.12.15）。
- ・台湾での常設展示場を引き続き設置し、セミナー開催（R1.7.27）、商談会と体験イベント（R1.11.8～10）を開催
- ・台湾での常設展示場を引き続き設置し、オンラインによるセミナーと商談会（R2.10.30）を開催
- ・台湾での台北建材展（台湾・台北）に県内事業者3社が出展し、県産材製品を出展しPRを実施（R2.12.10～13）
- ・台湾での常設展示場を引き続き設置し R4.1.31 まで展示、オンラインによるセミナーと商談会（R3.11.5）を開催。県内事業者4社がオンライン商談会に参加
- ・台湾に向けた木材製品輸出についてオンラインによるセミナー及び商談会（R5.2.24）を開催。県内事業者4社がオンライン商談会に参加

インド【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・特定非営利法人ソムニードなど

○インドへの県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・経済新興大国として急速な経済成長を遂げるインドへの関心が高まる 中、インドの経済概況やビジネス環境について県及びJETROでは、県内企業向けビジネスセミナーを実施
- ・GNI協議会として、インドミッションを実施し、現地の投資環境調査や現地関係機関との意見交換等を通じた情報収集やネットワークづくりを実施（H29.11）
- ・JETRO岐阜として、インドアパレル工場への視察ミッションを実施（H30.10）

○国際ジョイント・ディグリープログラム

- ・岐阜大学とインド工科大学グワハティ校及びマレーシア国民大学との大学間連携を、岐阜地域の連携や関連産業との連携の仕組みへと発展させることを目指す同プログラムを立ち上げ（H31.4）
- ・「岐阜ジョイント・ディグリー国際シンポジウム2019」が岐阜市で開催され、インド政府のムイバ北東インド評議会議長官が来訪し、副知事と投資や観光分野での連携について意見交換を実施（R1.12）
- ・「岐阜ジョイント・ディグリーシンポジウム2020」をオンラインで開催（R2.12）

モンゴル【主な交流事例】

○教育交流

- ・日馬富士公平 新モンゴル日馬富士学園理事長及び岐南町国際交流協会会長が来訪し、知事と岐南町における教員の相互訪問などの交流について意見交換を実施（R1.12）

ネパール【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・大垣東高校講師と卒業生が「発展途上国ボランティアサークル」を結成し、ネパール語で作成した手作り絵本500冊以上を、日本ユネスコ協会連盟を通じてネパールへ寄贈（H16～）
- ・岐阜長良川ユネスコ協会が、書き損じハガキの回収や募金活動を通じて識字教育を支援。ネパールでも寺小屋をつくる活動を展開
- ・ネパール南部の貧しい村で、女性の自立、教育の普及、生活環境の改善のための活動を支援する「マヒラ・ジャグリティ・岐阜」が結成（H12.11）

韓国【主な交流事例】

- 春川(チュンチョン)市（GDCN: Global Digital City Network 世界知識産業都市連合）（産業）

- ・春川市と各務原市が中心となり H12. 11 に設立された GDCN の総会にオブザーバーとして毎年参加。
正式会員である各務原市を側面から支援するため、今後も連携を継続
- ・春川市と各務原市は姉妹都市提携を締結 (H15. 10)

○韓国との企業交流 (G N I (グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ)との連携) (産業)

- ・ソフトピアジャパンで「日韓 IT 企業ビジネス交流会」を開催し、韓国 IT 企業 8 社との商談会を実施 (H19. 11)
- ・「アジア・ビジネス・ラウンド事業」を開催し、韓国企業 12 社との商談会を実施 (岐阜市、H22. 9)

○韓国からの観光客誘客 (産業)

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン事業」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続き韓国からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・アジアナ航空の国際線機内誌を活用し、訪日個人旅行者に対する観光 P R を岐阜県、愛知県、名古屋市と連携して実施 (H18、19)
- ・中部広域観光推進協議会と連携し、ソウルで開催される韓国国際観光展「KOTFA」に 2009 年から出展 (H21. 6、H22. 6)
- ・立山黒部アルペンルートに人気があるため、富山県と連携し、韓国最大の旅行会社ハナツアーが主催するハナツアー旅行博覧会に出展 (H24. 5、H25. 5、H26. 5、H27. 6、H28. 6、H29. 6、H30. 6)

○ (財) 世界陶磁器エキスポ・京畿(キョンギ)道 (教育・文化)

- ・県現代陶芸美術館との間で、共同プロジェクト等の覚書を締結 (H17. 6) (県現代陶芸美術館と台北鶯歌(イングー)陶磁博物館との間で覚書を締結 (H17. 10))
- ・(財) 世界陶磁器エキスポ、台北県立鶯歌陶磁博物館、県現代陶芸美術館が連携し、3 機関を巡回する展覧会「アジア陶磁デルタプロジェクト」を開催
韓 国 : H18. 9. 26~H18. 12. 31
台 湾 : H19. 2. 6~H19. 6. 3
岐阜県 : H19. 10. 13~H19. 12. 16(韓国の李御寧初代文化相を招き講演会を開催)

○産業振興機関との提携による部材企業の経済・人材交流

- ・韓国の産業振興機関との協定に基づき、技術・人材に関する交流事業や商談会を実施し、中小部材企業の国際化を促進<県産経センター>
(財)韓日産業・技術協力財団 (ソウル市) H21. 3. 17 協定
韓国中小企業技術革新協会慶南支会 (チャンウォン市) H23. 2. 14 協定
韓国中小企業振興公団安山研修院 (アンサン市) H23. 2. 16 協定
- ・韓日ビジネス商談会 (旧韓国部品素材商談会) を開催 (H24~R2)

○岐阜県産の木材製品の販路拡大を目指した展示会への出展等

- ・「田園住宅博覧会」(H22. 9)

- ・「第 25 回 MBC 建築展示会」(H23. 2、H24. 1)
- ・「キョンヒャンハウジングフェア」H23. 2、H24. 2)
- ・「(社) 韓国木造建築技術協会との意見交換会 (H24. 1)
- ・「キョンヒャンハウジングフェア」、木材製品流通業界等の市場調査 (H27. 2)
- ・(社) 韓国木造建築技術協会が県内の木材加工施設等を視察研修(H27. 5. 19～5. 21)
- ・県内事業者 4 社と県が、韓国キョンヒャンハウジングフェア 2016 に県産材製品を出展 (H28. 2. 24～28)
- ・韓国木造建築技術協会との共同セミナーを開催 (H28. 2. 25)
- ・韓国木材産業等視察研修を開催 (H28. 2. 26)
- ・韓国都市の木質化シンポジウムに出展 (H28. 12. 2～4)
- ・県内事業者 5 社と県が、韓国「KOREA BUILD 2017」に県産材製品等を出展 (H29. 2. 22～26)
- ・韓国木造建築技術協会との共同セミナーを開催 (H29. 2. 25)
- ・韓国内で住宅建築に携わる大工など技術者が県立森林文化アカデミーや木材加工工場等で研修 (H29. 5. 24～5. 26)
- ・県内事業者 6 社・団体と県が、韓国「KOREA BUILD 2018」に県産材住宅や県産材製品等を出展 (H30. 2. 22～25)。本フェア期間中に、(社) 韓国木造建築技術協会との共催で日本式木造軸組住宅建築技術セミナー (H30. 2. 24) を開催。
- ・韓国内で住宅建築に携わる大工など技術者が県立森林文化アカデミーや木材加工工場等で研修 (H30. 5. 30～6. 1)
- ・県内事業者 4 社・団体と県が、韓国「KOREA BUILD 2019」に県産材住宅や県産材製品等を出展 (H31. 2. 20～24)。本フェア期間中に、(社) 韓国木造建築技術協会との共催で日本式木造軸組住宅建築技術セミナー (H31. 2. 23) を開催。
- ・韓国技術者向けに日本式木造軸組住宅の加工や建築技術を紹介する研修会を開催(R1. 5. 16～18)
- ・韓国技術者向けに日本式木造軸組住宅の加工や建築技術を紹介する研修会を開催(5. 10. 31～11. 2)
- ・県内事業者 8 社と県が、韓国「スウォンキョンヒャンハウジングフェア」に県産材製品等を出展 (R6. 3. 7～9)

○岐阜県産の花きの販路拡大を目指した人材交流

- ・国際花きシンポジウムに、韓国花き輸出連合組織の代表理事を招聘し、花きの活用方法や輸出をテーマとしたパネルディスカッションを実施 (H28. 3)

ベトナム 【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜・ベトナム友好協会 など

○ベトナム・ゲアン省

- ・ホー・ドゥック・ホック同省人民委員会委員長(当時)を団長とする訪問団が、岐阜県庁を訪問し、

知事を表敬訪問（H23. 12）

- ・知事が同省を訪問し、ホー・ドゥック・ホック同省共産党書記長、グエン・スアン・ドゥオン同省人民委員会委員長と面談（H27. 7）
- ・ホー・ドゥック・ホック同省共産党書記長、グエン・スアン・ドゥオン同省人民委員会委員長など一行が来岐され、岐阜県庁にて「岐阜県とゲアン省人民委員会との友好協力に関する覚書」を締結（H27. 11）
- ・県が投資環境調査ミッション（県内企業 14 者参加）を派遣し、グエン・スアン・ドゥオン同省人民委員会委員長等との面談や視察を実施（H28. 2）
- ・知事、議長等が同省を訪問し、グエン・ダック・ヴィン同省共産党書記長、グエン・スアン・ドゥオン同省人民委員会委員長らと面談した他、交流行事に出席（H28. 5）
- ・同省農業農村開発局から、農業担当者 2 名を受け入れ、県内農業施設等の視察を実施（H28. 9～H28. 10）
- ・グエン・スアン・ソン同省共産党副書記長を団長とする訪問団が来岐され、県内企業との意見交換会や県内企業視察を実施（H28. 10）
- ・県立関高校の生徒が、同省ヴィン市内のファン・ボイ・チャウ高校を訪問し、学生と交流事業を実施（H28. 10、H30. 2）
- ・県によるベトナム投資環境調査において、県内企業 19 者と同省を訪問し、レ・ゴック・ホア同省人民委員会副委員長等との面談や、現地ローカル企業視察等を実施（H29. 3）
- ・同省農業農村開発局から、農業担当者 13 名を受け入れ、県内農業施設等の視察を実施（H30. 7）
- ・グエン・ダック・ヴィン同省共産党書記長ら 11 名が来岐し、知事面談や友好協会主催長良川鶴飼や関市視察（H30. 9）
- ・ベトナム政府が、ベトナムの地方自治体と日本との連携を強化するため開催した「日本に出逢う～ベトナム北中部地域」に参加するため、国際交流課職員が同省を訪問（H31. 4）
- ・知事、グエン・ドゥック・トゥン人民委員会委員長が出席し、ゲアン省との共催によるオンライン投資セミナーを開催。

○トゥアティエン＝フェ省

- ・知事がベトナムを訪問した際、グエン・ヴァン・カオ同省人民委員会委員長と面談。
- ・グエン・ヴァン・カオ同省人民委員会委員長など一行が来岐にあわせ、「岐阜県とトゥアティエン＝フェ省との友好協力に関する覚書」を締結（H28. 11）
- ・県内企業と同省人民委員会との意見交換会を、中小企業団体中央会との共同により、ベトナム現地で実施（H29. 11）
- ・県立関高校の生徒が、フェ大学観光学校を訪問し、学生と交流（H30. 1、H31. 1）
- ・高山市副市長がフェ市を訪問し、「高山市とフェ市との友好協力関係に関する覚書」を締結（H30. 7）
- ・知事、岐阜大学学長、高山市長らが同省を訪問し、ファン・ゴック・トー同省人民委員会委員長や観光視察を実施。その際、岐阜大学とフェ大学が大学間包括協定を締結（H30. 11）
- ・同省観光関係者 3 名を岐阜県に招へいし、観光研修を実施（H30. 12）。また、観光交流の成果報告セミナーを同省にて開催（H31. 3）

- ・同省にて観光セミナーを開催（R1. 9、12）。また、同省観光関係者5名に対する県内観光施設等での研修を実施（R1. 11）
- ・県図書館とトゥアティエン＝フエ省総合図書館の間で図書 of 交換による交流を始めるとともに、県図書館においてパネル展示、寄贈された本の展示を開催（R3～）
- ・グエン・タイン・ビン同省人民委員会副委員長など一行が来岐、河合副知事と面談するとともに、知事と懇談会を実施（R4. 7）
- ・岐山高校長がクオック・ホック高校などを訪問し、今後の交流について意見交換（R5. 3）

○ヴィンフック省

- ・グエン・コン・ロック工業団地管理局長を団長とするヴィンフック省訪問団が岐阜県庁を訪問（H24. 3）
- ・ベトナム・ヴィンフック省のズウン・テイ・テウエン人民委員会副委員長を団長とする訪問団が、岐阜県庁を訪問し、商工労働部長を表敬訪問（H25. 5）

○フートー省

- ・日系企業によるベトナム・フートー省への投資促進のため活動するトラウム・ベトナム(株)のレー・ヌー・アン取締役会長と知事が面談（H25. 7）

○タイビン省

- ・ファム・ヴァン・スウェン副委員長を団長とする訪問団が、岐阜県庁を訪問し、上手副知事を表敬訪問。その後、訪問団に同行した高田充人 JICAシニア投資アドバイザー（ベトナム計画投資省外国投資庁派遣（経済産業省からの出向）、元岐阜県新産業労働局長）が知事と面談（H25. 9）

○ハナム省

- ・十六銀行が同省人民委員会及びドンバンⅢ工業団地とビジネス展開支援を目的とした関係強化に関する覚書・協定を締結。締結式には知事が立会い、同省人民委員会委員長と面談（H29. 4）

○ベトナム外国投資庁

- ・大垣共立銀行が、ベトナム外国投資庁（政府の外国投資窓口）およびベトコム銀行（ベトナム最大級の商業銀行）との間で、日系企業の進出支援に関わる業務協力の覚書を締結（H24. 3）
- ・ベトナム外国投資庁副長官を団長とする訪問団が岐阜県庁を訪問し、小林商工労働部次長を表敬訪問。また、大垣共立銀行が「ベトナム投資セミナー」（於：ソフトピアジャパン）開催し、ベトナム外国投資庁副長官他が講演（H24. 7）
- ・十六銀行が、ベトナム外国投資庁との間で、日系企業進出支援を目的とした業務協力協定を締結（H27. 11）
- ・ベトナム外国投資庁長官を団長とする訪問団が岐阜県庁を訪問し、上手副知事を表敬訪問（H28. 5）

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・日本酒を扱う輸入・卸売事業者と県内酒蔵とのオンラインによる商談会の開催（R3. 2～3）

○ベトナムからの観光客誘客（産業）

- ・ J N T O（日本政府観光局）が主催する商談会に参加（H26. 1、H26. 10）
- ・ 岐阜県観光セミナー・商談会を開催（H27. 7 ホーチミン）
- ・ ジャパンフェスティバル出展（H27. 11 ホーチミン）
- ・ ベトナム最大手旅行会社ヴェットラベルと大手メディアを招へい（H27. 11）
- ・ ベトナムビジネスジャパンセミナー・商談会参加（H28. 1 ハノイ）
- ・ VITM 出展（H28. 4 ハノイ）
- ・ ジャパンフェスティバル出展（H28. 11 ホーチミン）
- ・ ビジットジャパンセミナー・商談会（H28. 11 ホーチミン）
- ・ VITM 出展（H29. 4 ハノイ）
- ・ ビジットジャパンセミナー・商談会（H29. 10 ハノイ）
- ・ Japan Travel Festival 出展（H29. 10 ハノイ）
- ・ ビジットジャパンセミナー・商談会（H30. 1 ホーチミン）
- ・ ビジットジャパンセミナー・商談会（H31. 1 ホーチミン）
- ・ ベトナムの主要オンライン新聞「VnExpress」に広告記事を掲載（R3. 2～3）
- ・ ランドオペレーターと連携してプロモーション事業を実施（R3. 12～R4. 3、R5. 2～3）

○ベトナムセミナー－投資と観光の魅力－開催

- ・ ベトナムから、政府関係者、産業界から 80 人規模の訪問団を迎え、ベトナム・ゲアン省、駐日ベトナム大使館、B I D V 等と共催し、岐阜グランドホテルにてベトナムセミナーと県内企業との商談会を開催。（H27. 11）

○岐阜・ベトナム観光セミナーの開催

- ・ ベトナムの政府要人や地方政府幹部、産業界からなる観光交流ミッションが来岐した際、岐阜・ベトナム観光セミナー・商談会を開催。（H27. 7 H28. 7）

○農畜水産物の販路開拓

- ・ 岐阜県観光・食・モノ PR レセプション（H27. 7. 14、在越日本大使公邸（ハノイ）
- ・ 7. 15、総領事公邸（ホーチミン）にて 飛騨牛を現地要人へ PR。
- ・ 飛騨牛の取扱に前向きな現地飲食店オーナーの産地招聘（H27. 11. 24～25）
- ・ 清流の国ぎふ花き戦略会議において、花きの新たな輸出先国としての可能性を探るため、花きの市場動向、消費動向調査を実施（H27. 7）
- ・ ベトナム国ガバメントゲストハウスにおける飛騨牛フェアの開催（H28. 5. 24）
- ・ 海外では初となる県産鮎の調理講習会を開催（H30. 11）

タイ【主な交流事例】

○内水面漁業の発展に向けた協力

- ・ タイ農業協同組合省水産局に対する現地指導（H28. 8、H29. 5～6、H29. 12、H30. 9、H30. 12、R1. 9、

R1. 12)

- ・タイ農業協同組合省水産局から研修生等を受け入れ（H28. 10～11、H29. 3、H29. 8、H30. 11）
- ・タイ大学関係から2名を受け入れ（H30. 8）
- ・県とタイ農業・協同組合省水産局との間で、両国の内水面漁業の安定的な発展に向けて、教育的及び技術的協力を促進することを申し合わせる覚書を締結（R4. 9. 6）

アセアン【主な交流事例】

○アセアン地域諸国との交流（友好交流）

- ・在京アセアン各国の大使が来訪し、知事をはじめ県内の有識者と、今後の交流や協力について意見交換を実施（H20. 6）
- ・外務省による「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、メコン川流域周辺国訪問団の受入を実施

H21. 3 カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムの若手政治関係者 50名

H21. 10～11 カンボジア、タイのメディア関係者 20名

H22. 2 ラオス行政関係者 28名

H23. 2 ベトナムの若手メディア関係者 15名

H23. 7 メコン5カ国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム）の若手行政官等 50名

- ・平成26年度において、外務省による青少年交流事業「JENESYS2.0」により、各国の高校生・大学生等の訪問団の受入を実施

H26. 4 マレーシアの大学生 54名

H26. 6 ベトナムの大学生 55名

H26. 9 ミャンマーの学生 50名

H26. 10 カンボジアの高校生等 15名

H26. 12 フィリピンの大学生 30名

H27. 1 タイの大学生 25名

H27. 2 東ティモールの大学生等 20名

H27. 12 ミャンマー、タイの高校生、大学生約70名

H28. 1 カンボジアの高校生、大学生、大学院生 38名

○アセアンからの観光客誘客（産業）

- ・市場開拓として、経済成長が著しいアセアン地域からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・シンガポール最大の国際旅行博「NATAS」に出展（H21. 8、H22. 2、H22. 8、H23. 2、H23. 8、H24. 2、H24. 8、H25. 2、H25. 8、H26. 2、H29. 2、H29. 8、H30. 8、R1. 8、R5. 2、R5. 8）
- ・シンガポール最大級の国際旅行博「Travel Revolution」に出展（H28. 2）
- ・シンガポール旅行業者、メディアを対象に、現地で観光セミナー・商談会・交流会を開催（H21. 9）
- ・シンガポールにおける訪日旅行フェア「Japan Travel Fair」に出展（H23. 10、H28. 10、H29. 10、R5. 2、R5. 8）

- ・シンガポール Chan Brothers Travel Fair に出展(R1. 7)
- ・タイ旅行者、メディアを対象に、現地で観光セミナー・商談会・交流会を開催 (H21. 11)
- ・シンガポール及びマレーシアで岐阜県観光プロモーションを開催 (H22. 8)
- ・マレーシア国際旅行博「MATTA」に出展 (H22. 9、H23. 3、H23. 8、H24. 3、H24. 9、H25. 3、H27. 9、H28. 3、H28. 9、H29. 3、H29. 9、H30. 3、H30. 9、H31. 3、R1. 9、 R4. 9、R5. 3、R5. 9)
- ・マレーシアで AISO Japan Travel Product Seminar に出展(R1. 7)
- ・タイの国際観光見本市「TITF」に出展 (H23. 2、H23. 8、H24. 2、H24. 8、H25. 2、H27. 8、H28. 2、H29. 2、H29. 8)
- ・タイ訪日旅行フェア「Japan Travel Fair」に北陸新幹線沿線自治体と出展 (H30. 11)
- ・「Feel Gifu, Japan キャンペーン」をシンガポールで開催 (H23. 10、H24. 2)
- ・「Quality GIFU イベント」をシンガポールで開催 (H25. 1～2)
- ・インドネシア旅行者を対象に、現地で開催された観光セミナーに参加 (H23. 10、H24. 10、H29. 8)
- ・インドネシアのジャカルタ日本祭り、Visit Japan セミナー・商談会、旅行会社へのセールスコールを実施 (H24. 9～10)
- ・県観光連盟がインドネシア訪日旅行最大手の旅行会社 (JALAN TOUR) と連携し、観光プロモーションを実施 (H24. 10)
- ・インドネシアで、岐阜県観光セミナー・商談会を開催。ジャパン・トラベルフェアに参加。(H25. 10)
- ・県観光連盟がインドネシア訪日旅行最大手の旅行会社 (JALAN TOUR) と連携し、インドネシアの国際旅行フェア「Astindo」に出展 (H26. 3、H29. 3)
- ・フィリピンで旅行者を対象に、現地で開催された観光セミナー・商談会に参加 (H26. 11、H27. 8、H27. 11、H28. 10、H29. 10)
- ・フィリピンで岐阜県観光セミナー・商談会を開催 (H27. 7)
- ・フィリピンの旅行博 TTE に出展 (H28. 2、H29. 2、H30. 2、H31. 2)
- ・フィリピンの旅行博 TME に出展 (H29. 7、R1. 7)
- ・美濃和紙商品を P R するため、在シンガポール日本大使館のジャパン・クリエイティブ・センターが開催した和紙人形展に出展 (H30. 9)
- ・インドネシア語版の岐阜県公式 Facebook ページを開設し、現地消費者向けに情報発信 (R. 2. 4～)
- ・知事によるシンガポール及びマレーシアの有力訪日旅行会社とのオンライン会談 (R2. 9)
- ・シンガポール向けオンラインイベントにおいて PR 動画を配信 (R3. 2)
- ・マレーシアにおける中華系大手メディア「中國報 (オンライン)」に広告記事を掲載 (R3. 3)
- ・有力訪日旅行社 Follow Me Japan (シンガポール)、Apple Vacations (マレーシア) と連携してプロモーション事業を実施 (R3. 12～R4. 3)
- ・ランドオペレーターと連携してプロモーション事業を実施 (シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア) (R3. 12～R4. 3)
- ・オンライン訪日旅行商談会 (マレーシア、フィリピン、インドネシア) に参加 (R3. 12、R4. 1、R4. 2)
- ・有力訪日旅行社 Apple Vacations (マレーシア) と連携してドライブ・プロモーション事業を実施 (R5)
- ・有力訪日旅行社 Follow Me Japan (シンガポール) と連携してドライブ・プロモーション事業を

施(R5)

- ・タイ訪日旅行フェア「FIT Fair」に出展 (R5.1、R5.11)
- ・インドネシアにおける訪日旅行フェア「Japan Travel Fair」に出展 (R5.2、R5.8)

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・中国一極集中のリスク回避先として、アセアン地域への関心が高まり、海外ビジネスの相談が増加してきたことを踏まえ、(公財)岐阜県産業経済振興センター、JETRO では、海外市場環境調査ツアー、海外見本市への出展支援、最新経済セミナー等を実施
〈(公財)岐阜県産業経済振興センター〉
- ・アセアンビジネス個別相談会
- ・「メタレックス 2006、2013～2019、2023／タイ」見本市出展
- ・ベトナムビジネス投資環境調査ツアー実施
- ・ベトナム「モノづくり産業」視察ツアー実施 (H25.9、H27.9、H30.12、R1.10)
- ・タイ「モノづくり産業」視察ツアー実施 (H28.11)
- ・タイ中小企業経営者研修団受け入れ
- ・インドネシア「モノづくり産業」視察ツアー実施 (H26.12)
- ・海外バイヤーを招へいし、商談会を開催 (H27:タイ、H28:シンガポール、マレーシア、ベトナム、H29:ベトナム、タイ、H30:タイ、R1:シンガポール、タイ、ミャンマー、越境 EC)
- ・県内企業を募り、「MTA VIETNAM」に出展 (H28～H30)
- ・シンガポールのショップと県内事業者とのオンラインによる商談会を開催 (R3.2)
- ・シンガポールの連携型アンテナショップ「Supermama」にて、県産品テストマーケティングを実施 (R3、R5)
- ・シンガポールの連携型アンテナショップ「atomi」にて、県産品テストマーケティングを実施 (R4、R5)
- ・県産品の販売フェアをマレーシア「Bukit Jalil TSUTAYA BOOKS」にて開催 (R6.3)
〈JETRO 岐阜〉
- ・インドネシア投資ビジネス調査
- ・カンボジア・ベトナム南部投資セミナー
- ・ベトナム投資環境セミナー
- ・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ(GNI)活動により、「アジア SPA セミナー&コンサルティング・個別面談会」及び「下呂温泉 SPA コンサルティング&意見交換」を開催。シンガポールのスパ産業の紹介、タイのスパ企業による事例発表、商談会等を実施
- ・「アジア・ビジネス・ラウンド事業」を開催し、タイ企業 20 社との商談会を実施 (岐阜市、H22.9)
- ・シンガポール、タイ、インドネシア及びマレーシアにおいて、現地の政府関係者等を招いたレセプション会場での岐阜県産地場産品の PR (H25:インドネシア・シンガポール・タイ、H26:インドネシア)
- ・シンガポールにおける販路開拓に向け、現地バイヤーとの商談会の開催と流通関係者等を招いた交流会での県産品の PR (H22.8、H25)

- ・連携型アンテナショップ等と連携した、現地向け商品開発やテストマーケティングの実施
- ・県プロモーションの機会をとらえて、県内蔵元参加による日本酒 PR 及び現地日本酒輸入業者と県内蔵元とのマッチングを実施 (H22. 12)
- ・駐シンガポール日本国大使館主催の神戸智行展オープニングセレモニーにおいて、日本酒を PR (H25. 7)
- ・県、JETRO 岐阜、産経センターが連携し、(一社) 岐阜県工業会主催の「岐阜ものづくりテクノロジーフェア 2013」の併催事業として機械分野の海外バイヤー商談会を開催。シンガポールの医療関連メーカー1社と県内企業12社が商談(H25. 11)
- ・メッセナゴヤ 2014 に合わせて「タイ・ビジネス国際商談会 by グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ」を開催し、タイ企業 8 社とグレーター・ナゴヤ地域企業とのビジネスマッチングを実施 (H26. 11)
- ・「メコン地域・カンボジア投資セミナーin グレーター・ナゴヤ」を G N I として開催し、タイブラスワンとして注目を集めるメコン地域への域内企業の進出を後押しするため、カンボジア国政府関係者を招き、メコン地域の投資環境についてのセミナーを実施 (H27. 2)
- ・「シンガポールエアショー2020」への県内航空関連中小企業2社の出展を支援 (R2. 2)

○アセアン地域との企業交流 (G N I (グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ)) (産業)

- ・「クリーン・エナジー・エクスポ・アジア」に G N I ブースを出展し、グレーター・ナゴヤ地域の PR を行うとともに、共同出展した県内企業が商談を実施 (シンガポール、H23. 11)
- ・シンガポール国際企業庁と県内航空機関連企業の面談を実施 (H24. 2)
- ・タイミッションを派遣し、現地企業とグレーター・ナゴヤ地域内企業とのマッチングを実施 (H25. 9)
- ・「地銀及び商工中金・G N I 連携インドネシア・タイミッション」を G N I として実施し、日系既進出企業との意見交換を実施するとともに、現地ローカル企業とのマッチング及びネットワーキングを実施 (H26. 6)
- ・「G N I 及び地域金融機関・商社連携カンボジア・タイミッション」を G N I として実施し、成長著しいカンボジア・タイにおいて政府関係者、支援機関等のキーパーソンとのネットワークを構築。また経済特区・工業団地の現地調査、日系既進出企業からのニーズ調査及び情報収集、現地企業へのインダストリアルツアーやビジネスマッチングを実施 (H26. 12)
- ・G N I 協議会としてカンボジア・ミャンマーミッションを実施し、現地の投資環境調査や現地企業とのマッチングを行うとともに、現地政府機関とのネットワークづくりを実施 (H27. 7)
- ・「タイ・ビジネス商談会 in グレーター・ナゴヤ」を開催し、タイ企業とグレーター・ナゴヤ地域企業との商談を実施、併せてグレーター・ナゴヤ企業へのインダストリアルツアーを実施 (H28. 4)
- ・G N I 協議会として、フィリピンミッションを実施し、現地の投資環境調査や現地関係機関との意見交換等を通じた情報収集やネットワークづくりを実施 (H28. 11)
- ・タイのミッション団をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し域内企業とのビジネス商談会及びインダストリアルツアーを実施 (H29. 4, H30. 4, H31. 4)
- ・ベトナム・ハイフォン市企業の訪日に合わせ、域内企業とのビジネスマッチングを実施 (R4. 9)

- ・タイ企業とオンラインにて、域内企業とのビジネスマッチングを実施（R5.1）

○アセアン地域における農畜産物の販路開拓

- ・香港、タイ、シンガポール以外にも輸出先を拡げていくことが重要であるため、マレーシア及びインドネシアについて調査を実施
- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、日本花き文化を紹介するため、日本植物輸出協議会主催のシンガポール花き展示会において、県産花きをPR（H27.12）
- ・国際花きシンポジウムにシンガポール国立公園庁の職員を招へいし、花きの活用方法や輸出の可能性をテーマとしたパネルディスカッションを実施（H28.3）
- ・販売店「Jonetz by Don Don Donki Lot10」を対象に、飛騨牛海外推奨店認定式を開催（R5.7）
- ・5つ星ホテル内にある高級レストラン「勘八」を対象に、岐阜鮎海外推奨店認定式を開催（R5.7）

○ベトナム投資環境調査

- ・県内企業とともに、ベトナム・ゲアン省及びホーチミンを訪問し、ゲアン省幹部との面談のほか、工業団地見学、進出岐阜県企業への訪問等を実施。（H28.2）

○林業分野における外国人技能実習制度の検討

- ・外国人技能実習制度に新たに林業分野を加えることについて、インドネシア環境林業省から提案があり、今後の可能性等について調査を実施。

オーストラリア【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜日豪協会など

○オーストラリアからの観光客誘客（産業）

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン事業」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続きオーストラリアからの旅行者の積極的な誘客事業を展開
- ・国際観光振興機構（JNTO）と連携し、シドニーにおいて、岐阜県観光プロモーション推進事業として商談会・セミナーを実施したほか、知名度アップのため「日本の祭り」PRイベントで郷土芸能（数河獅子）を披露（H18.10）
- ・オーストラリアから観光エージェント2社（そのほか、海外誘客に携わる国内観光関係企業2社が自費参加）、外国人をターゲットとするメディア1社（在東京）を招へい（郡上市観光連盟予算）し、県内観光資源紹介ツアー（郡上市、美濃加茂市、各務原市）及び地元企業・地元企業との商談会（郡上市：18件、美濃加茂市：45件、合計63件）を実施
- ・岐阜市内において、「ビジット・グレーター・ナゴヤ セミナー ～オーストラリアからの観光誘客拡大に向けて～」を実施（92人参加）（H21.2）
- ・ブリスベン、シドニーにおいて、JNTO主催の商談会に参加（H29.12、H30.12、R5.8）

- ・シドニー、メルボルン、ブリスベンにおいて、JNTO 主催の商談会に参加 (R1. 12)
- ・シドニーで岐阜県観光セミナー及びレセプションを開催 (R1. 9)

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・JETRO 岐阜により、飛騨の家具フェスティバルに現地バイヤーを招請 (H30. 9)
- ・和雑貨セレクトショップ「Ginkgo Leaf」と連携し、県産品（陶磁器、刃物、木製品、紙製品）のテストマーケティングをシドニー近郊で実施 (R1. 10)
- ・天皇誕生日祝賀レセプションにて、陶磁器、和紙、日本酒のPRを実施 (R4. 2)
- ・オーストラリア岐阜県人会と連携し、祭ブリスベン、ジャパンフレンズデイで県産品（陶磁器、木製品、紙製品）のPRを実施 (R5. 9)

○農業大学校学生の海外派遣

- ・農業大学校などにおいて、国際的視野を持った担い手育成のため、派遣学習を実施。
- ・オーストラリアのニューサウスウェールズ州（NSW州）と岐阜県の間で、農業交流に関する盟約を締結。（H5）それを契機に、オーストラリアC. B. アレキサンダー農業短期大学と岐阜県農業大学校との交流を開始。
- ・本県からは、毎年C. B. アレキサンダー農業短期大学を訪問。アレキサンダー農業短期大学からも、平成6年、10年、12年、14年、20年に本校を訪問する等、両国間で相互交流を実施。

○海外農業研修生の派遣（農業）

- ・農業大学校などにおいて、国際的視野を持った担い手育成のため、研修派遣を継続

○環太平洋ばら友好協定締結（友好交流）

- ・「花フェスタ 2005 ぎふ」開催中に、環太平洋の国際ローズコンテスト開催地とバラの友好協定を締結 (H17. 5. 28)

アメリカ：ローズヒルズインターナショナルローズトライアルズ

(Rose Hills International Rose Trials)

オーストラリア：ナショナルローズトライアルガーデンオブオーストラリア

(National Rose Trial Garden of Australia)

ニュージーランド：ニュージーランドローズオブザイヤートライアル

(New Zealand Rose of the Year Trial)

- ・環太平洋ばら友好協定締結により、「ぎふ国際ローズコンテスト」の応募者も世界に広がるのが期待でき、花フェスタ記念公園の存在を世界にPRすることができるため今後も連携を継続

オーストラリア：ナショナルローズトライアルガーデンオブオーストラリア

(National Rose Trial Garden of Australia)

ニュージーランド：ニュージーランドローズオブザイヤートライアル

(New Zealand Rose of the Year Trial)

- ・花フェスタ 2015 ぎふのレセプション・開会式へ、友好協定を代表して、オーストラリアローズト

ライアル終身メンバーであるキム・サイラス氏を招待し、第12回ぎふ国際ローズコンテスト表彰式を開催。続いて、ぎふ国際ローズシンポジウムのパネリストとして出席。(H27.5.15~16)

- ・各国の国際ローズコンテストにおいて相互に表彰を継続

○農畜水産物の販路開拓

- ・JA 飛騨ミートがオーストラリア向けの飛騨牛の輸出施設として認定取得し、輸出が可能になったため、出発式を開催 (H30.7)
- ・同国初となる飛騨牛の知事トップセールスを実施 (R1.9)
- ・大手食肉卸「グローバルミート社」と飛騨牛のブランド力強化に関する協力覚書を締結 (R1.9)
- ・日本初となるオーストラリア向けいちごの輸出を記念し出発式を開催 (R3.2)
- ・いちごの本格輸出に向け、初めて在外公館でのPRやレストランでのメニューフェアを実施 (R4.2)
- ・グローバルミート社との協力覚書に基づき、同社幹部職員を飛騨牛産地に招聘 (R5.2~3)

(2) 欧州地域

オーストリア【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜日唄協会、日本ザルツブルク同好会など

○リンツ美術工芸大学（産業、教育・文化）

- ・IAMASの海外大学間交流の一環として、マルチメディアの最高水準をもつ大学と学生交流に関する協定締結 (H16)
- ・学生を短期間派遣することにより、国際レベルの知識の習得及び最先端情報の把握を促進。学生の国際的人的ネットワーク及びIAMASの教育・研究機関としてのグローバルネットワーク構築を推進

ベルギー【主な交流事例】

○関ヶ原古戦場とベルギー・ワーテルロー古戦場との交流促進

- ・欧州ナポレオン戦争の激戦地として名高いベルギーのワーテルロー古戦場と、アメリカ南北戦争最大の激戦地であるゲティスバーグ古戦場の関係者を関ヶ原古戦場に招き、世界古戦場サミットを開催。古戦場を通じた交流を続ける「世界古戦場サミット共同宣言」を表明 (H28.3)
- ・ワーテルロー古戦場を管理する団体「L'intercommunale bataille Waterloo 1815」と関ヶ原町は、史跡や施設の維持管理、展示協力等に関する姉妹古戦場協定を締結 (H29.8)
- ・岐阜関ヶ原古戦場記念館オープンにあたり、ワーテルロー古戦場管理団体から、ビデオメッセージを受領 (R2.10)

チェコ【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜県チェコ友好協会など

○プラハ音楽院（教育・文化）

- ・ぎふ・プラハ音楽アカデミー実施の合意書締結。同音楽院の教授陣を招き、レッスン、留学試験を実施（H11～）
- ・事業は定着しており、受講者等にも好評であることから事業を継続
（新型コロナウイルスにより教授の来日が困難な事から、R2～4年度事業は中止）

○先進的な森林技術（次世代型林業架線集材技術）の導入

- ・チェコ国立メンデル大学での技術研修会へ森林技術者を派遣（H28. 2. 12～2. 21、H29. 2. 4-2. 17）
- ・研修用機材としてチェコ製の次世代型林業架線集材機械（タワーヤーダ）を県立森林文化アカデミーに配備（H28. 3）

フィンランド【主な交流事例】

○ヘルシンキ芸術デザイン大学 [UIAH]（産業）

- ・スカンジナビア最大規模の芸術大学である UIAH からイルジェ・ソタマ学長が来岐し、「フィンランドにおけるデザイン及びデザイン産業の最新事情について」と題して講演（H12. 10）
- ・デザインセミナー実施（H13～14）
- ・デザイナー招聘（デザイナーと県内企業との新商品開発 H14～）
- ・(株)山加商店の北欧風デザインのランチ用食器を十六銀行ウインターキャンペーンの景品に採用
- ・デザイナー招聘については、県内企業との共同開発が一定の成果を挙げていることから、今後も継続

○先進事例調査

- ・少子化対策

○フィンランドからの観光誘客

- ・ヘルシンキで開催の旅行博 MATKA に出展（H30. 1）

フランス【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・県の国際交流員(CIR)を通して、県とフランスの交流支援や、岐阜日仏協会、岐フランスをはじめとする民間団体等の交流支援、県民に対するフランス文化の紹介等を実施

○フランス・岐阜／地域交流プログラム

- ・駐日フランス大使他在日フランス大使館の各分野の担当者 16 名が来岐。オール岐阜県とオールフランスとの地域間の交流・協力をこれまでにない形で深化・拡大させる新たな枠組として、岐阜県と在日フランス大使館との間で、「経済・産業」、「科学技術」、「観光」及び「文化・スポーツ」の 4 分野 19 項目からなる「フランス・岐阜／地域交流プログラム」を作成・合意 (H19.7)
- ・在京フランス大使館において、現在までの進捗状況を報告し、更に交流を深めるべく検討した結果、本プログラムを更新し、1 つのプログラムを統合し、新たに 3 つのプログラムを追加 (計 4 分野 21 プログラム) (H21.6)
- ・同プログラムの推進等、日仏関係の発展に顕著な貢献があったことが認められ、知事がレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章 (H23.6)
- ・駐日フランス大使公邸において「岐阜とフランス 未来へのパートナーシップ」レセプションを開催し、未来に向けたプロジェクトを「フランス・岐阜／地域交流プログラム 2nd ステージ」として発表。「観光・食・モノ」、「自治体交流」、「産業・大学研究」及び「教育文化・若者交流」の 4 分野を今後の重点分野とすることで合意 (H25.11)
- ・パリ市内の老舗ホテル「ウェストミンスター・オペラ」において、飛騨牛の魅力を P R するとともに、本県の「観光・食・モノ」を一体的に P R する「岐阜県・飛騨牛フェア」を開催 (H26.11)
- ・「コルマール国際観光展」に、県内自治体や民間事業者等と連携して出展し、本県の「観光・食・モノ」の P R を実施 (H26.11、H27.11)
- ・2020 年東京オリンピックに向け、フランス陸上競技連盟が 2017 年から 2020 年までの間、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施する旨の基本合意書を岐阜県、高山市、下呂市の三者と締結 (H27.11)
- ・2017 世界陸上ロンドン大会 50 km 競歩金メダリストであるヨアン・ディニズ選手らフランス競歩選手が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施。滞在中は、地元の観光・文化体験のほか、中学生を対象とした陸上教室や県内学生競歩選手との合同トレーニングなどの交流を実施 (H29.11)
- ・J A 飛騨ミートが、E U 向け食肉処理施設認定を取得 (H27.5) し、飛騨牛の輸出入発式及び輸出拡大レセプションを開催 (H27.7)
- ・パリの有名調理学校「ル・コルドン・ブルー」に飛騨牛を提供し、パリのシェフや将来シェフを目指す若者などに飛騨牛を紹介 (H27.11)
- ・学校法人石井学園が、パリのル・コルドン・ブルーで調理研修を受けており、H27 年度は、知事プロモーションで P R した飛騨牛料理で受講
- ・飛騨牛や地酒をはじめとする地場製品の販路開拓・拡大、及び県への誘客促進を図るため、有名シェフの協力を得て、「岐阜県・飛騨牛フェア」をパリ市内で実施 (H27.11)
- ・パリ市内ギャラリーにおいて、「美濃和紙展示会 in Paris」を開催し、美濃和紙の可能性を紹介 (H27.11)

- ・ コルマール国際観光展に出展し、県観光PRを実施 (H28. 11、H29. 11、H30. 11、R4. 11)
- ・ 海外デザイナーと連携した新商品を国際見本市にて発表・展示(セバスチャン・コンラン氏:H29. 1、H30. 1、H31. 1 メゾン・エ・オブジェ)
- ・ 駐日フランス大使公邸において第3期「フランス・岐阜／パートナーシップ」披露レセプションを開催し、「観光・食・モノ」、「自治体交流」、「ハイテク産業」及び「教育・文化・スポーツ・若者交流」の4分野での交流拡大を目指すことを発表 (H31. 2)

○アルザス欧州自治体（オ＝ラン県）との交流

- ・ 県産品販売・情報発信拠点「THE GIFTS SHOP」において「フランス・アルザスフェア」を開催 (H26. 10～11)
- ・ 本県とオ＝ラン県との間で、経済分野及び観光分野の交流を強化することを目的に、「岐阜県とオ＝ラン県との経済・観光に関する協力覚書」を締結 (H26. 11)
- ・ 高山市とコルマールとの間で、経済・観光分野に関する「協力協定」を締結 (H26. 11)
- ・ 白川村とリクヴィルとの間で、「友好協力推進宣言」に調印 (H26. 11)
- ・ 岐阜県のアンテナショップ「g. i. Foods」において、アルザスと岐阜県の特産品をPRする「フランスアルザス・岐阜フェア」を開催 (H27. 3)
- ・ オーランズブル城(オ＝ラン県)の中世祭り「サムライの伝説」において、岐阜県ブースを出展。岐阜県紹介パンフレットや関ヶ原古戦場のノベルティ等を提供し、岐阜県PRを実施。(H27. 6)
- ・ コルマール市内レストランJY'S(ミシュラン2つ星)で、期間限定で飛騨牛メニュー提供を実施 (H27. 9～10)
- ・ コルマール国際観光展に岐阜県のブースを出展し観光PRを実施(H26. 11～H30. 11)
- ・ 都内ホテルで、オ＝ラン県議会議長と藤野副知事が面談。同会場で岐阜県の観光、地場産品をPR (H27. 11)
- ・ 高山市がコルマール国際観光展に出展。市長がコルマール市長と面談(H27. 11)
- ・ リクヴィル村長及びアルザスワイン関係者が来日。白川村や高山市を訪問し、白川村長と意見交換 (H27. 11)
- ・ 知事が、オ＝ラン県を訪問し、議長との面談やアルザスウォークへの参加を実施 (H29. 9)
- ・ O N S E N・ガストロノミーツーリズム推進機構とアルザス観光機構との間で、ガストロノミーツーリズムの相互PRを目的とした連携協定を締結 (H29. 9)
- ・ 美濃和紙、美濃和紙商品をPRするため、ジャポニスム 2018 公式企画展第6回「伝統と先端と～日本の地方の底力～」に出展。テストマーケティングも実施 (H31. 2)
- ・ コルマールの連携型アンテナショップ「Konjaku」でテストマーケティング、日本酒セミナーを実施 (H29、R2、R3)
- ・ 両県の図書館間での図書の交換による交流を始めるとともに、県図書館においてフランスを知る講座やパネル展示、寄贈された本の展示を開催 (H30～)
- ・ O N S E N・ガストロノミーウォーキングの県内普及を図るシンポジウムを開催し、アルザスにおける取組みを県内に発信 (H30. 5) また、ブリジット・クリンケルトオ＝ラン県議会議長にもお越しいただき、「岐阜県とオ＝ラン県との友好交流に関する覚書」に更新し、「観光、文化、自治体交

流」を柱として交流を進めることで合意

- ・ O N S E N ・ ガ ス ト ロ ノ ミ ー ウ ォ ー キ ン グ i n 奥 飛 騨 ・ 平 湯 温 泉 を 開 催 。 ま た 、 ク リ ン ケ ル ト オ ー ラ ン 県 議 会 議 長 ら を 招 待 し 、 奥 飛 騨 の 魅 力 を P R (H 3 0 . 5)
- ・ 日 欧 産 業 協 力 セ ン タ ー か ら 、 岐 阜 県 、 岩 手 県 、 ア ル ザ ス ・ 欧 州 日 本 学 研 究 所 の コ ン ソ ー シ ア ム に 対 し 、 「 E U ・ 日 本 地 域 協 力 ヘ ル プ デ ス ク 業 務 」 の 受 託 が 決 定 (R 1 . 7)
- ・ オ ー ラ ン 県 と 隣 接 の バ ー ラ ン 県 が 合 併 し 、 ア ル ザ ス 欧 州 自 治 体 (C e A) と し て 組 織 再 編 (R 3 . 1)
- ・ 岐 阜 県 美 術 館 に お い て 、 オ ー ラ ン 県 出 身 の 芸 術 家 フ ラ ン ソ ワ ・ ジ ェ ケ ー ル 氏 に よ る 日 本 展 「 夕 暮 れ 」 を 開 催 (R 4 . 1 1)
- ・ 一 層 の 交 流 発 展 を 進 め る べ く 、 作 成 し た 岐 阜 県 と C e A と の 新 た な 協 力 協 定 に つ い て 、 C e A 議 会 が 承 認 (R 5 . 3) ・ 知 事 が 、 C e A を 訪 問 し 、 「 観 光 、 文 化 、 ス ポ ー ツ 」 の 3 分 野 を 軸 と し た 「 岐 阜 県 (日 本) と ア ル ザ ス 欧 州 自 治 体 (フ ラ ン ス) と の 協 力 協 定 」 に 調 印 (R 5 . 9)

○ユーラジウム校とのマンガ交流

大垣女子短期大学

- ・ 大垣女子短期大学（デザイン美術科）では、平成 22 年度から、パリの私立高等専門学校ユーラジウム校の学生の受入れを開始するとともに、平成 23 年度から、同校への短期研修派遣を開始
- ・ 大垣女子短期大学とユーラジウム校との間で、マンガ教育等に関する学生等の交流促進のための学術交流協定を締結（H26. 2. 25）

日本総合ビジネス専門学校

- ・ 日本総合ビジネス専門学校とユーラジウム校との間で、マンガ・アニメ教育に関する学術交流協定を締結（H26. 6. 5）し、平成 26 年度から、同校からの留学生の受入れを開始

○岐阜大学とパリ第 11 大学、リール大学（旧リール第 3 大学）との交流

- ・ 大学間の協力関係を強化するとともに、学生及び研究者の交流を推進するため、岐阜大学とパリ第 11 大学（H26. 12. 1）、リール第 3 大学（H27. 10. 1）との間で学術交流協定を締結
- ・ リール第 1 ～ 第 3 大学が「リール大学」として統合したことを受け、リール大学との学部間学術交流協定（岐阜大学地域科学部、リール大学人文・社会科学部）を大学間交流に格上げし更新（R2. 4）

○先進事例調査

- ・ 知事がフランスを訪問し少子化対策と地方分権について調査（H19. 5、H19. 8）

○第 3 回日仏自治体交流会議への参加

- ・ フランス・シャルトル市で開催された同会議に知事が出席し、日本側代表の一人として県のグローバル戦略とフランスとの交流についてプレゼンテーション（H24. 8）

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・ 家具を中心としたインテリア等における見本市「プラネットムーブル」の出展スペース確保について、県のベルリン駐在員が現地で主催者にプレゼンテーションを実施するなど側面的に支援

- ・県内企業との連携等により、現地セレクトショップにおいて、テストマーケティングを実施 (H25. 1)
- ・パリコレクション関連行事で試飲により県産日本酒をPR (H25. 9)
- ・和雑貨セレクトショップ「Discover Japan」と連携し、県産品 (陶磁器、刃物、木製品、紙製品など) のテストマーケティングをパリで実施 (H26. 1、H26. 11、H27. 11、H31. 1~2)
- ・知事トップセールスで県産品をPR
- ・ユーラジウム校(パリ)において、木枡を使ったワークショップを実施 (H26. 11)
- ・海外デザイナーと連携した新商品を国際見本市にて発表・展示(セバスチャン・コンラン氏:H29. 1、H30. 1、H31. 1メゾン・エ・オブジェ)
- ・コルマールの連携型アンテナショップ「Konjaku」にて、県産品テストマーケティング・オンライン日本酒セミナーを実施 (R2、R3)
- ・ストラスブル総領事館での天皇誕生日祝賀レセプションにて、陶磁器、刃物、和紙、日本酒等のPRを実施 (R3. 4、R5. 3)
- ・パリの連携型アンテナショップ「ランブラッセ」にて、県産品テストマーケティングを実施 (R4)
- ・ストラスブル総領事館での天皇誕生日祝賀レセプションにて、陶磁器、刃物、和紙、日本酒等のPRを実施 (R3. 4、R5. 3、R6. 3)

○フランスとの企業交流 (G N I (グレーター・ナゴヤ・インシアティブ)) (産業)

- ・「第48回パリ・エアショー」(フランス・パリ)において、ARD(パリ近郊圏開発公社)及びCEEVO(ヴァルドワーズ県経済振興委員会)の協力の下、G N Iセミナーを開催。県内企業2社の事例を紹介
- ・パリにG N I ミッションを派遣し、仏政府機関、対日投資関心仏企業との意見交換等を実施 (H23. 6、H25. 6)
- ・「フランス-グレーター・ナゴヤ経済投資セミナー」を開催し、双方向の経済投資を促進 (H24. 5)
- ・パリにG N I ミッションを派遣し、CEEVOと日仏産業協力に関する意見交換を実施 (H24. 7)
- ・日本へ進出済のフランス企業の二次投資を目的として、「“モノづくり”イノベーション・セミナー」を開催 (H25. 2)
- ・パリ国際エアショーへのミッション派遣を実施し、欧州航空機関連企業とのネットワークの構築、当地域の投資環境のPRを実施 (H27. 6)
- ・メッセナゴヤ2016にてヴァルドワーズ県との懇談会を実施し、地域交流を強化・促進。(H28. 10)
- ・パリにG N I ミッションを派遣し、仏関係機関、対日投資に関心を示す仏企業等との意見交換等を実施 (H29. 6)
- ・フランス航空機関連クラスターと(一社)中部航空宇宙産業技術センター及びG N Iが両地域の航空機産業の発展を共通目的としたMOUを締結 (H29. 9)
- ・エアロマートナゴヤ2017の開催に合わせ、欧州航空機産業クラスター(フランス、ドイツ、トルコ)からのキーパーソン来訪を受け、両地域の連携強化のための意見交換会及びテクニカルツアーを実施 (H29. 9)
- ・フランス企業視察団をグレーター・ナゴヤ地域へ招聘し域内企業とのビジネス商談会、意見交換会及びインダストリアルツアーを実施 (H29. 12)

○航空宇宙関連企業の販路開拓支援（産業）

- ・「エアロマート・トゥールーズ 2014」への県内企業出展に合わせて、各務原市長を代表としたミッションを派遣し、トゥールーズ市やトゥールーズ商工会議所、エアバス社及び関連 Tier1 企業などを訪問（H26. 12）
- ・県内中小企業参加のもと、「パリエアショー2015」に航空宇宙産業ミッションを派遣。エアバス社をはじめ機体メーカーのブースを訪問し、本県における航空宇宙産業の集積 状況や関連企業の実績・技術力を PR（H27. 6）
- ・東京エアロスペースシンポジウムに参加したフランス航空クラスター視察団が各務原市を訪問し、市長面談、市内企業等を視察（H27. 10）
- ・「2016 年国際航空宇宙展」に参加したフランス航空クラスターと各務原市長が面談（H28. 10）
- ・「エアロマート・トゥールーズ 2016」（フランス）開催に合わせて、県内企業等参加のミッション団を派遣。現地航空関連企業を訪問し、県内企業との交流および商談支援を実施（H28. 11）
- ・「パリエアショー2017」（フランス）開催に合わせて、県内企業等参加のミッション団を派遣。また、アルザス地域における現地航空関連企業を訪問し、県内企業との交流および商談支援を実施（H29. 6）
- ・「エアロマート名古屋 2019」に合わせて開催された「日仏ワークショップ」にて、本県における航空宇宙産業の状況や主要企業の PR を実施（R1. 9）

○航空宇宙博物館先進事例調査および連携推進

- ・航空宇宙産業に関する県内唯一の施設「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアル基本構想策定に向け、先進事例としてル・ブルジェ航空宇宙博物館を調査（H27. 6）
- ・知事および各務原市長立会いの下、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館とル・ブルジェ航空宇宙博物館がパートナーシップ基本合意書に署名（H30. 10）
- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館でル・ブルジェ航空宇宙博物館連携企画「日仏国際交流展」を開催（R1. 8～9）
- ・先進事例調査として、ル・ブルジェ航空宇宙博物館を訪問、館長との意見交換（R4. 7）
- ・企画展「くらべる・つながる 日仏航空ヒストリー」を開催（R5. 7～10）
- ・知事がル・ブルジェ航空宇宙博物館を訪問、館長と面談の上、パートナーシップ基本合意書の更新及び共同企画展の開催について協議（R5. 8）

○農畜産物の販路開拓

- ・新たな輸出先国を開拓するため、平成 26 年度から県が主体となり、フランス向けの輸出ルート開拓に着手（H26. 10 試験輸送実施）
- ・知事トップセールスにおいて「岐阜県・飛騨牛フェア」等を開催（H26. 11）
- ・在仏日本国大使館企画の和牛ウィークに参加、飛騨牛をパリ市内レストラン 5 店舗で PR（H27. 10）
- ・H27. 11 の知事トップセールスにおいて「岐阜県・飛騨牛フェア」の他、調理学校ル・コルドン・ブルー・パリ校での飛騨牛プロモーション等を開催

- ・フランスにおける県農産物のブランド化に向け、パリ市内のショップ兼レストラン「ダローザ」とメニュー開発や情報発信に関する覚書を締結（H29. 11）

○日本酒の販路開拓

- ・パリで日本酒のセミナー・試飲会等を実施（H30. 10～12、R1. 10）
- ・リヨン「WASHOKUイベント」において、県産日本酒のPRを実施。（R4）
- ・現地バイヤーとのオンライン商談会やパリのカフェレストランにおける一般向け日本酒試飲・販売会及びバイヤー向け日本酒試飲会等、県産日本酒のPRを実施（R6. 1～2）

○フランスへ日本文化の発信（花き）

- ・清流の国ぎふ花き戦略会議において、豊かな花文化とあわせて高品質な県産花きを海外へ発信するため、「コルマール国際観光展」において、県産花きを用いた、岐阜県発祥である寄せ植え華道による装飾展示を実施（H26. 11）

○岐阜県、高山市、下呂市とフランス陸上競技連盟が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用に関する基本合意書を締結

- ・2020年東京オリンピックに向け、フランス陸上競技連盟が2017年から2020年までの間、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施する旨の基本合意書を岐阜県、高山市、下呂市の三者と締結（H27. 11）
- ・2017年11月、2017世界陸上ロンドン大会50km競歩金メダリストであるヨアン・ディニズ選手らフランス競歩選手が飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施。滞在中は、地元の観光・文化体験のほか、中学生を対象とした陸上教室や県内学生競歩選手との合同トレーニングなどの交流を実施

○ジャポニスム2018における「岐阜の地歌舞伎」公演の開催

- ・日仏交流160周年を記念して開催された「ジャポニスム2018」の公式企画「地方の魅力ー祭りと文化」の一つとして、パリ日本文化会館大ホールにおいて、「岐阜の地歌舞伎」公演を開催（H30. 10）

＜演目・出演団体＞

「俊寛」加子母歌舞伎保存会

「戒詣恋釣針」鳳凰座歌舞伎保存会

衣裳展示 美濃歌舞伎保存会

ドイツ【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜日独協会など

○国立ミュンヘン民俗博物館、ケルン東洋美術館（教育・文化）

- ・オリベ 2003inNYの第2弾として「川が育んだ日本の伝統文化展」を開催
- ・「川が育んだ日本の伝統文化展－帰国展－日本の心と形／シーボルトの眼」を県美術館で開催（H17.8～10）
- ・今後も情報交換、学術交流を継続し、海外の優れた美術作品に触れる機会を県民に提供

○ドイツとの企業交流（G N I（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ））（産業）

- ・「外国企業誘致地域連携支援事業」（ジェットロ）を活用し、「Electronica 2008 第23回国際電子部品・コンポーネント専門見本市」にG N Iとしてブース出展すると同時に、83社への訪問を実施。（H20.11、ミュンヘン）
- ・「外国企業誘致地域連携支援事業」（ジェットロ）を活用し、「AGRTECHNICA 2009」にG N Iブースを出展。岐阜県からは6社が資料、商品サンプルを提供（H21.11、ハノーバー）
- ・ドイツの研究機関フラウンホーファーを招聘し、グレーター・ナゴヤ地域の企業とのマッチングを実施（H25.1、H25.11）
- ・日本へ進出済のドイツ企業の二次投資促進を目的として「グリーン・イノベーション・セミナー」を開催（H25.2）
- ・ドイツの研究開発拠点クラスターを招聘し、グレーター・ナゴヤ地域企業とのネットワーキングをG N Iとして実施（H26.9）
- ・ドイツ企業4社をグレーター・ナゴヤ地域（岐阜県）に招聘し、「ドイツ先進複合材関連企業セミナー&マッチング」をG N Iとして開催（H26.11）
- ・ドイツの炭素繊維複合材関連企業をグレーター・ナゴヤ地域に招聘し、当地域の投資環境のPRを行うとともに、ビジネスマッチングやセミナーを実施（H27.10）
- ・G N I協議会でR B C（Regional Business Conference）事業に招聘する企業の発掘を目的として、ドイツにミッションを派遣し、グレーター・ナゴヤ地域をPR（H30.11）
- ・「R B C（Regional Business Conference）in グレーター・ナゴヤ」において、グレーター・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資するAI・IoT関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。ドイツ企業は5社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施（R1.10）
- ・バイエルン州とオンラインにて、「今後の継続的な交流と、2021年に予定されている両国の企業間でのオンラインマッチング」について、意見交換を実施（R3.3）
- ・バイエルン州の外国企業とオンラインにて、外国企業との連携促進による新たなイノベーション創出を目的として、プレゼンセミナーとビジネスマッチングを実施（R3.11）
- ・バイエルン州にG N I ミッションを派遣し、州政府機関、独研究機関・企業との意見交換等を実施（R4.11）

○バーデン＝ヴュルテンベルク州（BW州）との連携強化

- ・県とBW州との間で、環境負荷の少ない持続可能な社会の実現を目指し、双方にとって有益な交流・協力関係を深化、拡大していくため、「エネルギー及び森林・林業に関する覚書」を締結

(H25. 5. 22)

- ・岐阜大学と太陽エネルギー・水素研究センター（ZSW）との共同研究に関する覚書の締結（H27. 3）
- ・岐阜県版次世代住宅の普及に対応できる施工技術者を育成していくため、国際たくみアカデミーとBW州フライブルク市のリヒャルト・フェーレンバッハ職業学校（R F G）において連携協定（覚書）を締結（H27. 6）
- ・国際たくみアカデミー職業訓練指導員のR F Gへの研修派遣（H27. 9）
- ・R F G指導教員の招聘（H28. 11）により訓練カリキュラム・指導方法を試行導入
- ・R F Gとの連携協定（覚書）を更新（H30. 6. 9、R3. 6. 9）
- ・R F G指導員を招へいし意見交換会、講義、導入したカリキュラム等のフォローアップを実施（H30. 10）
- ・県立森林文化アカデミーとロッテンブルク林業単科大学との間で、知事、BW州テレジアバウアー科学・研究・芸術省大臣、ロッテンブルク市長立会いのもと、技術交流・人材交流等の連携覚書を締結（H26. 11. 10）。これを契機に両校の間で学生のインターンシップ等研修受入、教員による学術・教育手法の調査研究、BW州と岐阜県の森林・林業関連産業分野の民間企業交流等が始まっている。
- ・県内森林技術者育成カリキュラムを開発するため、CLAIR 事業（自治体国際協力促進事業）を一部活用し、ドイツから森林技術者を招へい（H26. 9. 30～10. 3）
- ・県内の林業・林産業関係者でドイツにおける森づくり、施業現場、製材工場、建築、街づくり等の視察、現地企業とのビジネスミーティングを実施（H27. 11）
- ・BW州でロッテンブルク林業大学等と共催で日独林業シンポジウムを開催するとともに、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに、ドイツ森林環境教育等の調査を実施（H28. 6. 3～13）
- ・H F R 主催のサマーセミナーに学生 3 名が参加（H28. 9. 10～20）
- ・翔風祭行事「日独木造建築シンポジウム」において、H F R デドリッヒ教授による特別講演開催（H28. 11. 10～13）
- ・H F R 教授と教育連携を進めるため、本学教員の情報交換・学生及び一般向けシンポジウムの開催（H28. 11～12）
- ・H F R 等におけるドイツ森林環境教育・建築流通システム等を森林文化アカデミーの教育に導入するため同校教員 3 人が訪独調査（H29. 3. 12～30）
- ・森林文化アカデミーにおいて、2 か月間、H F R 学部生をインターンシップ受入（H29. 8～9）
- ・H F R 主催のサマーセミナーに学生 1 名、教員 1 名が参加（H29. 9. 16～24）
- ・BW州でロッテンブルク林業大学等と共催で、ドイツ森林環境教育プログラム実習等を実施（H29. 9. 21～10. 1）
- ・岐阜県内においてロッテンブルク林業大学等と共催で日独林業シンポジウムを開催し、大学間の連携強化、ドイツ企業と連携した商品開発を促進（H29. 11. 6～9）
- ・H32 年度に森林文化アカデミーに開設予定の「森林総合教育センター（仮称）」の基本構想を練るための木造建築デザインワークショップを実施し、その過程についてロッテンブルク林業大学と情報共有（H30. 2. 26～3. 4）

- ・森林総合教育センター（仮称）建設及びドイツ林業等の調査のため森林文化アカデミー教職員6名が訪独調査（H30.2～3）
- ・森林総合教育センター（仮称）整備に向けたプログラム開発のため、森林文化アカデミー教員1名が訪独・訪英し、英国の森林環境教育プログラム「フォレストスクール指導者育成コース」を受講（H30.3.7～16）
- ・河合副知事がBW州政府農村・消費者保護省を表敬訪問し、同省事務次官等と森林文化アカデミーとロッテンブルク林業大学との連携覚書期間（～H31.11）の延長を見据え、今後の連携の深化について協議（H30.9.5）
- ・ドイツ等の欧州における林業機械・獣害対策資材等の調査のため、森林文化アカデミー教職員3名が岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施（H30.7.19～26）
- ・HFR主催のサマーセミナーに森林文化アカデミー学生3名、教員1名が参加（H30.9.15～27）
- ・森林総合教育センター（仮称）の開校に向けた教育プログラムの実践研修のため森林文化アカデミー教員1名が訪独（H30.9.23～10.6）
- ・森林文化アカデミー内においてドイツの環境教育の専門家4名を招聘し森林総合教育センターの開校に向けた指導者向けセミナー等を開催（H30.12.2～4）
- ・ドイツにおける獣害対策と林業技術の調査のため森林文化アカデミー教職員2名と学生3名が岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施（H30.12.2～9）
- ・木造建築の授業におけるプログラム強化に向けて、ロッテンブルク林業大学と共同で木造建築デザインワークショップを実施するため、森林文化アカデミー学生2名と教員1名が訪独（H31.2.23～3.3）
- ・HFRにおいて、森林文化アカデミーの学生が1年間留学（R元.6～R2.5）
- ・森林総合教育センター（仮称）の開校に向けた森林環境教育研修のため、森林文化アカデミー教員1名が訪独（R1.6.30～7.16）
- ・HFR等サマーセミナーに森林文化アカデミー学生5名が参加（R1.9.15～22）
- ・HFR等森林環境教育研修へ森林文化アカデミー学生1名、教員1名が参加。（R1.9.20～10.6）
- ・ドイツにおける林業技術と燃料用木質ペレットの調査のため、森林文化アカデミー教職員2名が岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員とともに訪独調査を実施（R1.9.22～29）
- ・HFRとの連携協定の更新のため、学長や林政部長が訪独し、HFR学長とともに、11月に期限を迎える両校の連携に関する覚書の延長協定を締結（R1.10.21）
- ・林政部長及び森林文化アカデミー副学長がBW州農村・消費者保護省を訪問し、同省事務次官や林政部長とアカデミーとロッテンブルク林業大学との連携が一層深化するようBW州及び県の支援についての意見交換を実施（R1.10.22）
- ・森林文化アカデミーにおいて、3か月間及び6か月間、HFR学部生2名をインターンシップ受入（R1.10～12、R1.10～R2.3）
- ・HFR学部生1名（林業）のインターンシップのアカデミー受入れ（R4.8.16～31）
- ・HFR等サマーセミナーへ学生1名、引率教員1名が参加（R4.9.18～25）
- ・HFR等森林環境教育研修へ学生3名、引率教員1名が参加（R4.9.21～10.2）
- ・HFRにて今後のプロジェクト打合せ（森林環境教育）（R5.5.7～12）

- ・教員 2 名、学生 2 名によるドイツの木造建築事情の調査 (R5. 5. 7～16)
- ・日独木造建築シンポジウムを HFR 他にて開催、教員 2 名が講演 (R5. 5. 11)
- ・HFR へ 1 名留学 (R5. 9 月～2 月)
- ・HFR 職員 1 名による県内植生調査 (R5. 7. 19～20)
- ・HFR 等サマーセミナーへ学生 2 名、引率教員 1 名が参加 (R5. 9. 18～24)
- ・HFR 等森林環境教育研修へ学生 3 名、引率教員 1 名参加 (R5. 9. 16～10. 1)
- ・HFR 教員等の来岐 (狩猟・獣害対策研修)、シンポジウム「野生生物管理と獣害対策を考える」において講演 (R5. 11. 19～11. 25)

ハンガリー【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜県ハンガリー友好協会など

○リスト音楽院（教育・文化）

- ・同音楽院の教授を招き、全国に先駆けてぎふ・リスト音楽院留学選考会、マスターコース（短期集中講座）を岐阜県ハンガリー友好協会及び（公財）岐阜県教育文化財団が共催で実施（H10～）
- ・副知事、県ハンガリー友好協会会長及び（公財）岐阜県教育文化財団理事長らがリスト音楽院を訪問し、ヴィーグ・アンドレア学長らと今後のさらなる連携について意見交換（R1. 5）
- ・リスト音楽院のフェケテ・ジュラ副学長が来岐し、第 25 回記念ぎふ・リスト音楽院マスターコンサート 2019 を鑑賞（R1. 7）
- ・知事、県ハンガリー友好協会会長らがリスト音楽院を訪問し、ヴィーグ・アンドレア学長らと「清流の国ぎふ」文化祭 2024 で開催する海外交流コンサートへの出演や、今後のさらなる連携について意見交換（R5. 9）
- ・事業は定着しており、受講者等にも好評であることから今後も継続（新型コロナウイルスの影響により、R2～3 年度事業は中止、R4 年度事業は一部中止）

○ヴェスプレーム県（友好交流、教育・文化）

- ・平成 9 年から友好交流を進め、青年相互派遣のほか岐阜県ハンガリー友好協会による交流が進展
- ・「ギフ・ウィーク in ヴェスプレーム」（H11）で岐阜県の文化を紹介
- ・「ヴェスプレーム・ウィーク in ギフ」（H12）で県フォークダンス連盟が交流会
- ・「岐阜県とヴェスプレーム県の友好交流に関する覚書」を締結（H15. 10）
- ・岐阜県ハンガリー友好協会東濃支部が知事の親書を持参し、ヴェスプレーム県議長を表敬（H18. 6）
- ・ハンガリー・ヴェスプレーム県のラストヴィツァ議長が県を訪問。友好協会が県内各地の視察に同行し、下呂市、多治見市、岐阜市で歓迎懇親会を開催（H20. 4）
- ・文化など同県と交流を行う団体等の支援を行うなど、友好交流を今後も継続
- ・パンノン大学において開催された「日本の日」に、県ハンガリー友好協会が岐阜県紹介ブースを設置（同協会の依頼により、県から観光パンフレットを提供したほか、一位一刀彫り、春慶塗ワイン

- カップ等の展示品を貸与) (H22. 10)
- ・ヴェスプレーム県の町「アイカ」において、アルミニウム精錬工場の工業廃液を溜めるダムが決壊し有害物質を含んだ廃液が流出する事故が発生 (H22. 10)
- ・県ハンガリー友好協会及びライオンズクラブ国際協会 334-B 地区が、汚染物質の空中飛散対策用のマスク 42 万枚 (240 万円相当) を寄贈 (H22. 11)

○ブダペスト国立工芸美術館 (文化交流)

- ・令和 3 年 10 月、駐日ハンガリー特命全権大使、リスト・ハンガリー文化センター東京所長の県現代陶芸美術館視察を機に、県現代陶芸美術館との間で、「陶芸文化交流に関する覚書」を締結 (R5. 1)
- ・ブダペスト国立工芸美術館による学術協力のもと、ハンガリー現代陶芸を紹介する「やきものうたう：ハンガリー現代陶芸展」を県現代陶芸美術館にて開催 (R5. 4. 22～7. 2)

イタリア【主な交流事例】

○トリノ・ワイヤレス財団 (産業)

- ・(公財) ソフトピアジャパンと相互交流に関する覚書を締結 (H18. 9)
- ・岐阜県とトリノ市のあるピエモンテ州の産業振興を目指して、両地域の各企業が持つ技術力やニーズについての情報収集、交換を実施

○県内企業の海外事業展開を支援 (産業)

- ・海外デザイナーと連携した新商品を国際見本市にて発表・展示 (アトリエ・オイ社：H28. 4、H29. 4、H30. 4 ミラノサローネ)

リトアニア【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜・リトアニア友好協会、在岐阜リトアニア共和国名誉領事館など

○県出身の元外交官杉原千畝を縁とした交流

- ・カウナスで杉原千畝の顕彰を目的としたイベント「スギハラウィーク」が初めて開催され、知事が基調講演を実施 (H29. 9)
- ・副知事がカウナスで開催されたリトアニア独立 100 周年記念祝典に参加 (H30. 2)
- ・副知事を中心とした岐阜県代表団がカウナスにおける桜の植樹プロジェクトに参加 (H30. 9)
- ・観光国際局長がカウナスで開催されたカウナス臨時首都 100 周年記念祝典に参加 (H31. 2)
- ・リトアニア大統領から知事へ「リトアニア勲功章」授与 (R1. 7)
- ・リトアニア大統領来岐。八百津町人道の丘公園にて平和への願いを込めたメッセージプレート除幕式参加・杉原千畝記念館視察、岐阜大学にて記念講演・名誉博士号授与式に参加 (R1. 7)

- ・リトアニア外務省主催、杉原 2020 年を記念した「ハイレベル外交国際会議」にオンラインで知事が参加 (R2. 9)
- ・カウナスで開催された「スギハラウィーク」に、知事のビデオメッセージを送付した他、岐阜県観光 PR 等を実施 (R2. 10)
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレー、八百津町最終走者として駐日リトアニア大使が参加 (R3. 4)

○「リトアニア NOW」の開催

- ・リトアニアの魅力を多彩な分野で紹介するイベント「リトアニア NOW」を開催 (H30～) リトアニアゆかりのアーティスト等によるコンサート、企画展示、ワークショップ、パネル展示、特産品の販売等を実施 (参加者数…H30 : 9, 643 名、R1 : 10, 143 名、R2 : 5, 608 名、R3 : 7, 615 名、R4 : 8, 114 名、R5 : 8, 949 名)

○リトアニアの日本文化紹介イベント「Japan Days (now Japan)」に出展

- ・リトアニアで開催された日本文化イベント「Japan Days (now Japan)」に出展し、岐阜県、八百津町の観光資源や地場産品、杉原千畝を PR (H28～)

○文化芸術を通じた国際交流

- ・ぎふ清流文化プラザにおいて、「リトアニア文化芸術の夕べ」を開催し、リトアニア文化指導者合唱団と県内合唱団体が共演するなど、文化を通じた相互理解を推進した (H29. 9)
- ・リトアニアの音楽団・合唱団と県内大学生・高校生・文化団体とのコンサート共演や、リトアニア合唱団による高校・中学校を訪問しての合唱交流等を実施 (H30. 7、H30. 11、R1. 7)

○リトアニア杉原記念館修繕支援募金

- ・県と八百津町が、老朽化したカウナスの杉原記念館 (旧日本領事館) の修繕支援を目的とした募金活動を実施 (H28. 3～)
- ・これまで、施設の管理者である杉原「命の外交官」基金理事長に対し、計 4 万ユーロの募金を贈呈 (1 回目 : H28. 9、2 回目 : H29. 9)

○リトアニア杉原記念館への寄附金贈呈

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の継続が困難な状況となっている「杉原記念館」に対し、各種事業の実施を支援するため県と八百津町、在岐阜リトアニア共和国名誉領事館が、計 7 万ユーロの寄附金を贈呈 (R2. 7)

オランダ【主な交流事例】

○海外農業研修生の派遣 (農業)

- ・農業高校等において国際的視野を持った担い手育成のため研修派遣を実施

ポーランド【主な交流事例】

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・天皇誕生日祝賀レセプションにて、陶磁器、和紙、木工、日本酒等のPRを実施（R5.2、R6.2）

○ポーランド・カヌーチームとの交流

- ・恵那市とポーランド・カヌー連盟との間で事前キャンプに関する基本協定を締結し、翌10月、ポーランドを相手国として正式にホストタウン登録（R1.9）
- ・東京オリンピックの事前合宿として、ポーランド・カヌーチーム（スプリント）が恵那市にて事前合宿を実施（R3.7）

○シロンスク県との交流

- ・同9月に駐日ポーランド大使がシロンスク県と岐阜県との自治体交流を提案。
- ・駐日ポーランド大使主催で、知事、恵那市長、シロンスク県知事及びヴィスワ市長の5者が、オンラインで交流に向けた意見交換を実施（R3.12）
- ・シロンスク県知事一行が来岐。白川郷、スーパーカミオカンデ、高山市、恵那市、金華山等を視察するとともに、知事との意見交換を実施（R5.4）
- ・シロンスク県内のフォークダンスチーム「イステブナ」が恵那市において公演を実施。恵那北中学校生徒、国際交流協議会関係者、一般市民など300人程度が参加。（R5.5）
- ・知事がシロンスク県を訪問し、「経済」「観光」「スポーツ」「文化」の4分野を軸とした「岐阜県とシロンスク県の協力と友好関係の発展に関する覚書」に調印（R5.8）
- ・交流の第一弾として、ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」が加納高校音楽科生徒を対象とした民族舞踊ワークショップ及び舞踊団主催公演を開催（R5.11）
- ・県図書館においてシロンスク県パネル展を実施（R5.11～12）

○日本美術技術博物館マンガと中山道弘重美術館との交流

- ・両館によるオンライン面談を実施し、2024年3月に恵那市にて、両館の友好協力に関する協定を調印することについて合意（R5.8）
- ・恵那市長、中山道弘重美術館理事長らが日本美術技術博物館マンガを訪問し、「連携協定締結に向けた準備書面」に署名（R5.8）

ロシア【主な交流事例】

○岐阜かかみがはら航空宇宙博物館とロシアの宇宙博物館との交流促進

- ・宇宙開発大国ロシアの著名な宇宙博物館である国立サンクトペテルブルク歴史博物館、K. ツィオルコフスキー記念国立宇宙飛行史博物館及びモスクワ市立宇宙飛行士記念博物館と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が、それぞれ連携に関する覚書を締結（R1.9及びR2.1）
- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館リニューアルオープン2周年を記念して、ロシアとの共同企画

展「宇宙開発のはじまり」を開催（R2.3～5）

- ・ガガーリンの宇宙飛行から60周年の節目の年に合わせ、企画展「ユーリ・ガガーリン物語」を開催。ロシアの各博物館、在日ロシア大使館から貴重な写真や映像、メッセージなどを受領（R3.3～5）

スペイン【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜県スペイン友好協会など

○サラマンカ大学創立800周年(2018年)の交流事業

- ・サラマンカ大学が2018年に800周年を迎えるにあたり日本における記念事業を岐阜で実施するため、実行委員会(会長：岐阜大学学長)を立ち上げ（H29.1）
- ・プレイベント「名フィル50周年記念岐阜特別公演」をサラマンカホールで開催（H29.2）
- ・サラマンカ大学、岐阜薬科大学、岐阜大学の学術連携基本協定締結式及びサラマンカ大学創立800周年記念コンサートをOKBふれあい会館で開催（H30.4）
- ・サラマンカ大学日西文化センター「美智子さまホール」において、サラマンカ大学創立800周年記念「岐阜の地歌舞伎」公演を開催したほか、地歌舞伎衣裳や美濃和紙の技術と工芸品などを展示する企画展を開催（H30.10～11）

○スペインとの企業交流（GNI（グレート・ナゴヤ・イニシアティブ））（産業）

- ・「スペイン・ビジネス・セミナー in グレート・ナゴヤ」をスペイン大使館とGNI協議会により共同開催。グレート・ナゴヤ地域に進出した企業、国内企業によるセミナー及び同地域企業とのネットワーキングを実施（H30.5）
- ・「RBC（Regional Business Conference）in グレート・ナゴヤ」において、グレート・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資するAI・IoT関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。スペイン企業は2社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施（R1.10）
- ・スペインバスク自治州と、コロナ禍における日本とスペインの経済状況や、対日投資の現状、日本の投資環境および2021年に予定されている両国の企業間でのオンラインマッチングについて、意見交換を実施（R2.12）
- ・スペインバスク自治州の外国企業とオンラインにて、外国企業との連携促進による新たなイノベーション創出を目的として、プレゼンセミナーとビジネスマッチングを実施（R3.11）

○スペインからの観光誘客

- ・マドリードにて、観光セミナー開催（H30.11）
- ・マドリードで開催の欧州最大級の旅行博FITURに出展（H30.1、H31.1、R2.1、R5.1）

○農畜産物の販路開拓

- ・平成 29 年度に飛騨牛を初輸出し、現地シェフを対象に調理講習会等を実施 (H29. 11)

○日本酒の販路開拓

- ・マドリードで日本酒のセミナー・試飲会等を実施 (H29. 11)

スイス【主な交流事例】

○スイスとの企業交流（G N I（グレート・ナゴヤ・インシアティブ））（産業）

- ・スイスの研究機関 CSEM 社を招聘し、グレート・ナゴヤ地域の企業とのマッチングを実施。岐阜県は 3 社が参加 (H25. 1)
- ・スイスへミッションを派遣し、県内企業と現地先端研究機関とのマッチングを実施 (H25. 9)
- ・スイスの研究開発機関及び企業を招聘し、「スイス・次世代産業高度化セミナー in グレート・ナゴヤ」を G N I として開催し、セミナー及び G N 地域企業とのマッチングを実施 (H26. 8)
- ・スイス研究機関との共同研究、委託研究の進展などネットワーク強化を目的とした「スイス西部地域とグレート・ナゴヤ地域との交流促進事業」を G N I として実施。平成 26 年度は国内研究会を 2 回開催し、スイスとのビジネス連携について意見交換を実施 (H27. 2)
- ・「スイス西部地域とグレート・ナゴヤ地域との交流促進事業」を昨年引き続き実施し、スイス西部地域への G N I ミッションを派遣。マイクロナノテクノロジー技術を有する企業、産業クラスター、研究機関、支援機関を訪問し、ネットワークの構築及びビジネスマッチングを実施 (H27. 10)
- ・「スイス西部地域とグレート・ナゴヤ地域との交流促進事業」を実施し、国内研究会 (H28. 5、H28. 8) やスイス西部地域への G N I ミッション派遣 (H28. 9) を実施
- ・「スイス西部地域とグレート・ナゴヤ地域との交流促進事業」を実施し、国内研究会 (H28. 5、7、9、11、H30. 1、2) やスイス西部地域への G N I ミッション派遣 (H29. 6 H30. 6) を実施
- ・地域間交流促進事業において、「G N I スイスとの地域間交流フォーラム」を立上げ、国内研究会を年間計 7 回実施 (H31. 4, R1. 5, 7, 9, 11, R2. 1, 2)
- ・「GNI スイス西部地域ミッション」派遣において、ジュネーブで開催される精密機器、加工展示会に 6 社で共同出展及び現地でプレゼンテーションを実施 (R1. 6)
- ・「R B C (Regional Business Conference) in グレート・ナゴヤ」において、グレート・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資する AI・IoT 関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。スイス企業は 5 社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施 (R1. 10)

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・チューリッヒのショップにおけるテストマーケティングの実施 (H26. 11、H27. 11)
- ・知事トップセールスで県産品を P R (H26. 11、H27. 11)

ウクライナ

○朝日大学によるウクライナ支援プロジェクト

- ・朝日大学がウクライナ避難民支援の一環として留学生を受け入れ（R5、3月末3名を受入れ）

イギリス【主な交流事例】

○2015年世界陸上北京大会の事前合宿を飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで実施

- ・イギリスナショナルチーム選手7名、スタッフ8名が事前合宿を行い、合宿期間中に地元小中学生に対する陸上教室と地元との交流会を実施。（H27.7～8）

○岐阜県、高山市、下呂市とイギリスオリンピック委員会が2020年東京オリンピック事前合宿時における飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア利用に関する契約書を締結

- ・イギリスオリンピック委員会が2020年東京オリンピックの事前合宿として使用する飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアについて、対象施設、実施競技、合宿期間等を定めるとともに、合宿期間中に英国代表チームと地元住民との交流の場を設ける旨を定めた契約書を岐阜県、高山市、下呂市の三者と締結（H29.11）

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・ロンドンのショップにおけるテストマーケティングの実施（H27.11）
- ・知事トップセールスで県産品をPR（H27.11）
- ・英国大規模百貨店と連携した県産品フェアを開催（H31.4,5）
- ・現地バイヤーを対象としたオンライン商談会（工芸品等）を実施（R4）

○イギリスからの観光誘客

- ・ロンドンで開催の欧州最大級の旅行博WTMに出展（H27.11、H28.11、H30.11、R5.11）
- ・高付加価値旅行業界メディア「ASPIRE」と連携し、現地旅行会社を招請（R5.11）

○農畜産物の販路開拓

- ・平成27年度はフランスに加えてイギリスでも市場開拓を本格化し、11月にはロンドンで初めて飛騨牛フェアを開催。
- ・平成28年度以降も引き続きイギリスにおいて飛騨牛プロモーションを実施。

○日本酒の販路開拓

- ・ロンドンで日本酒の試飲会を実施（H27.11）
- ・現地バイヤーを対象としたオンライン商談会を実施（R4）

○イギリスとの企業交流（GNI（グレート・ノース・イニシアティブ））（産業）

- ・ファンボローエアショーへのミッション派遣を実施し、欧州航空機関連企業とのネットワークの

構築、グレーター・ナゴヤ地域の投資環境のPRを実施。(H28.7)

- ・双方地域企業の交流に向けて、ネットワーク構築を図るべく英国北部地域（ノーザンパワーハウス）とのオンライン交流会を実施（R3.6）
- ・日英経済連携（EPA）の活用によるビジネスメリットや実務の紹介を目的として、英国・イングランド北部ビジネスチャンスセミナーをオンラインにて実施（R5.2）

○航空宇宙博物館先進事例調査

- ・知事トップセールスにおいて英国王立空軍博物館を調査（H29.11）

○英国国立ヴィクトリア&アルバート博物館（V&A）との連携

- ・美濃市の美濃まつりで使われる「花みこし」をロンドンで活躍する日本人建築家の早津毅氏がアレンジし、花見をイメージして仕上げたインスタレーション作品を展示（R5.9~11）
- ・V&A分館にあたるヤングV&Aにて延長展示（R5.12~R6.1）
- ・美濃和紙を使用した紙布作りのワークショップを開催（R5.9）
- ・美濃和紙製品・英国の著名デザイナーとの連携製品を展示紹介するとともに、地酒の試飲会を実施（R5.9）

（3）北米地域

カナダ【主な交流事例】

○岐阜県とカナダ陸上競技連盟との交流

- ・岐阜県とカナダ陸上競技連盟が2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿時における岐阜メモリアルセンター利用に関する一般合意書を締結（H30.11）
- ・世界リレー2019横浜大会に向け、岐阜メモリアルセンターで事前合宿を実施。滞在中学校訪問やスポーツ教室を実施
- ・ジャパンパラ陸上競技大会（R1.7：岐阜メモリアルセンター）に選手が2名参加。滞在中、学校訪問を実施（R1.7）
- ・カナダ陸上競技連盟と地域住民とのホストタウン交流に向けた機運醸成を図るため、岐阜県公式SNS「カナダとのホストタウン交流 project」を開設し、応援メッセージ、岐阜紹介メッセージの送信、カナダ陸連からのメッセージ返信等の交流を実施。また、カナダパラリンピアンによるオンライントークショーや、カナダパラ陸上代表候補と地域住民とのオンライン交流イベントを開催（R2年度）
- ・カナダ陸上競技連盟が陸上チーム及びパラ陸上チームの東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における事前合宿を岐阜メモリアルセンター及び平田リバーサイドプラザで実施。事前合宿時には、公開練習や県内の中学生や大学生とのオンライン交流会などの交流イベントを開催（R3年度）

- ・カナダ陸上選手1名をぎふ清流ハーフマラソン2023に招待するとともに、来訪に合わせて小学生との交流を実施。加えて、カナダ陸上選手1名と高校生とのオンライン交流を実施。その他、児童・生徒からカナダ陸上選手に向けたメッセージ動画を送付。(R4年度)
- ・カナダ陸上競技連盟スタッフ3名を招へいた際に、小学生との交流を実施。(R5年度)

○県内企業の海外事業展開を支援（産業）

- ・カナダ岐阜県人会と連携し、トロントで行われたお正月イベントにて県産品PRを実施(R6.1)

アメリカ【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・岐阜県日米協会など

○米国との企業交流（GNI（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ））（産業）

- ・日米投資イニシアティブで来日したスマート・ソフト・キー社（米国）とシステムアドバンス社（大垣市）が生体認証システムを共同開発することで基本合意（H17.5）
- ・知事を団長とする訪問団が、GNIをPRするため、サンフランシスコでセミナーを開催（H18.11）
- ・在日米国商工会議所（ACCJ）中部支部と岐阜商工会議所とのビジネス交流会及び岐阜市内ツアー実施（H22.3）
- ・「GNI米国航空宇宙産業調査ミッション」により、米国航空機関連企業の3社を訪問し、今後の事業戦略及びニーズ調査を実施（H27.1）
- ・米国航空機関連企業2社を招聘し「グレーター・ナゴヤー米国航空宇宙シンポジウム2015」を開催。GNI地域とのネットワーキングも併せて実施（H27.3）
- ・「RBC（Regional Business Conference）in グレーター・ナゴヤ」において、グレーター・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資するAI・IoT関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。米国企業は1社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施（R1.10）

○県内企業の米国での販路開拓支援（産業）

- ・米国で開催される各種見本市情報の収集・提供、出展企業への支援を実施
- ・米国における県産品の販路開拓を目的とし、「NY国際レストラン&フードサービスショー」に出展（H22.3）
- ・日本酒の販路開拓支援のため、テストマーケティングを実施（H23, H25.3）
- ・サンフランシスコで開催された「SAKE DAY 2012」に県内の日本酒蔵元8社が初出展（H24.10）
- ・米国における岐阜県のブランディングを目的とし、ニューヨークのギャラリーでテスト販売を実施（H25.10）
- ・連携型アンテナショップ候補先と連携した、現地向け商品開発とテストマーケティングの実施（H28.9）

- ・ニューヨークで日本酒のセミナー・試飲会等を実施（H28.9、H30.2）
- ・ニューヨークのディストリビューターと県内事業者とのオンラインによる商談会を開催（R3.2～3）
- ・ロサンゼルス連携型アンテナショップ「TOIRO」にて、による県産品テストマーケティングを実施（R1、2、3）
- ・南加岐県人会と連携し、カリフォルニアのタナカファームで行われたイベントにて県産品PRを実施（R5.8）

○米国からの観光客誘客（産業）

- ・訪日外国人旅行者の大幅増を図る国の施策「ビジット・ジャパン事業」や中部地区隣県などと連携しながら、引き続き米国からの旅行者の積極的誘客を展開
- ・JNTO等と連携を図り、旅行関係の展示会、各種イベントに参加し、県観光情報（アクセス、観光スポット、特産品等）のPR、現地旅行社との商談を実施
- ・現地日系旅行代理店に県観光情報を提供し、観光ツアー造成を要請
- ・米国の空港や旅行会社に設置されている無料雑誌「INFOMAP JAPAN（'10号）」に岐阜県の特集記事を掲載
- ・在ニューヨーク総領事公邸及び全米で最大規模を誇る日米交流団体「ジャパン・ソサエティ」において岐阜県観光セミナーを開催（H28.9）
- ・ニューヨーク最大級の旅行フェア「NYタイムズトラベルショー」に出展（H30.1、H31.1、R2.1）
- ・ロサンゼルスで開催されるアメリカ西海岸最大の旅行フェアLATASに出展（H30.2、H31.2、R2.2、R5.2）
- ・米国向けオンラインイベントにおいて県内観光地からライブ配信（R3.2）
- ・ロサンゼルス連携型アンテナショップ「TOIRO」にて、県産品テストマーケティングを実施（R2、R3）

○メトロポリタン美術館（教育・文化）

- ・オリベ2003inNY「織部・アメリカ展」の開催（H15.10）
- ・同美術館寄託の「日本の美三千年の輝き ニューヨーク・バーク・コレクション展～縄文から琳派、若冲、広重まで～」を県美術館で開催（H17.7～8）
- ・今後も情報交換、学術交流を継続し、海外の優れた美術作品に触れる機会を県民に提供

○テネシー水族館（教育・文化）

- ・世界淡水魚園水族館が、テネシー水族館と友好提携調印（H16.7）
- ・情報交流・技術交換・展示水族の交換・相互訪問等の協力や世界の淡水環境と自然環境保護の重要性を訴えるために連携

○環太平洋ばら友好協定締結（友好交流）

- ・「花フェスタ 2005 ぎふ」開催中に、環太平洋の国際ローズコンテスト開催地とバラの友好協定を締結（H17.5.28）

アメリカ：ローズヒルズインターナショナルローズトライアルズ
(Rose Hills International Rose Trials)

オーストラリア：ナショナルローズトライアルガーデンオブオーストラリア
(National Rose Trial Garden of Australia)

ニュージーランド：ニュージーランドローズオブザイヤートライアル
(New Zealand Rose of the Year Trial)

- ・環太平洋ばら友好協定締結により、「ぎふ国際ローズコンテスト」の応募者も世界に広がるのが期待でき、花フェスタ記念公園の存在を世界にPRすることができるため今後も連携を継続

アメリカ：ローズヒルズインターナショナルローズトライアルズ
(Rose Hills International Rose Trials)

- ・花フェスタ 2015 ぎふのレセプション・開会式に友好協定を代表して、元世界バラ会連合会長トミー・ケアンズ氏を招待し、第12回ぎふ国際ローズコンテスト表彰式を開催。続いて、ぎふ国際ローズコンテストの基調講演の講師、パネリストを務める (H27. 5. 15~16)
- ・各国の国際ローズコンテストにおいて相互に表彰を継続

○日米自治体 CIO 会議

- ・国内自治体における CIO が重要であるとの認識を広めることを目的に開催、併せて日本国内版の「都道府県 CIO フォーラム」設立 (H15. 8)
- ・第1回の会議を千葉（幕張）で開催 (H15. 2)
- ・第2回会議を米国アリゾナで開催し、日本から本県を含め3県が参加 (H15. 9)
- ・第3回会議を東京で開催し、全米州 CIO 会議会長らが2名が参加 (H16. 2)
- ・第4回会議を米国ニューオリンズで開催し、日本から本県を含め4県が参加 (H16. 9)

○南加（南カリフォルニア）岐阜県人会

- ・「南加岐阜県人会」発足 (M44. 1)
- ・南加岐阜県人会創立 100 周年記念式典 知事表彰、感謝状授与 (H23. 8)

○ニューヨーク岐阜県人会

- ・「ニューヨーク岐阜県人会」発足 (S62. 1)
- ・ニューヨーク岐阜県人会創立 25 周年記念式典 知事表彰授与 (H24. 10)

○航空宇宙博物館先進事例調査および連携推進

- ・航空宇宙産業に関する県内唯一の施設「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアル基本構想策定に向け、スミソニアン博物館やNASA ケネディ宇宙センターなどの先進事例を調査 (H26. 10)
- ・展示物の相互貸出や人的交流など連携の可能性を調査・協議するため、スミソニアン博物館やシアトル航空博物館などを訪問 (H28. 2)
- ・「かかみがはら航空宇宙科学博物館」のリニューアルに向け、先進博物館として連携を模索するため、スミソニアン航空宇宙博物館等を調査 (H28. 5)

- ・県、各務原市とスミソニアン協会との間で、博物館の展示物の貸借や人材交流の促進に関する協定を締結（H28. 9）
- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館とシアトル航空博物館との間で、資料の相互貸出やプロジェクトの共同実施等に関するパートナーシップ協定をオンラインにて締結（R3. 9）
- ・シアトル航空博物館との協定締結を記念して、シアトルの街並みや博物館の展示を紹介するパネル展を開催（R4. 1～3）
- ・先進事例調査として、スミソニアン航空宇宙博物館を協定締結後、約 5 年振りに訪問し、館長との意見交換をはじめ、未公開施設を含め収蔵品等を調査（R5. 1）
- ・シアトル航空博物館とのオンライン協定締結後、現地調査を初実施（R5. 1）
- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の常田館長が就任後にスミソニアン航空宇宙博物館を表敬訪問し意見交換（R5. 12）

○2015 年世界陸上北京大会の事前合宿実施

- ・アメリカ、ナイキオレゴンプロジェクトの選手 6 名、スタッフ 7 名、合計 13 名が H27. 7～8 にかけて飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿を実施

○農畜産物の販路開拓

- ・平成 27 年 10 月、県内の食肉処理施設 JA 飛騨ミートからアメリカ向け輸出が可能になったため、本格的なアメリカ向け輸出の開始。
- ・アメリカにおいて、知事トップセールスによる「飛騨牛メニューフェア」等を開催（H28. 9）

○高地トレーニングセミナー及び陸上教室の開催

- ・米国オリンピック委員会委員による高地トレーニングに関するセミナー、及び米国陸上中長距離コーチによる中学生を対象とした陸上教室を開催（H28. 9）

○県出身の元外交官杉原千畝を縁とした交流

- ・「杉原リスト」のユネスコ「世界の記憶」登録に向け、アメリカのユダヤ人団体や杉原千畝氏が発給したビザにより生き残った人々（杉原サバイバー）等に対し、協力要請（H28. 9）
- ・全米で最大規模を誇る日米交流団体「ジャパン・ソサエティ」と県が連携し、杉原サバイバーによる講演会をニューヨークで開催（H28. 9）
- ・米国カリフォルニア州議会が、杉原千畝の功績を称え 2021 年 7 月 29 日を「杉原ビザの日」に制定したことをうけ、知事のビデオメッセージを送付（R3. 7）

○ユダヤ系社会をターゲットとした観光誘客プロモーション

- ・JTB と連携し、ニューヨーク及びロサンゼルスに“命のビザ”「杉原千畝・訪日旅行インフォメーションセンター」を設置し、杉原千畝記念館など千畝関連施設に関する情報や、高山、白川郷、下呂及び馬籠等の周辺観光地の情報をワンストップで提供（H29. 12～3、H31. 1～3）
- ・ユダヤ系主要メディアと連携し、千畝関連施設及び県内観光地について情報発信（H29. 12）

- ・ JNTO と連携したオンラインセミナーへの参加（米国 Jewish 系ホールセラーI world of Travel）（R2. 10）
- ・ 米国 Japan House と連携したオンラインセミナー参加（Visas for Life” 80th Anniversary: The Legacy of Chiune Sugihara）（R2. 12）
- ・ 米国ユダヤ系 TV における岐阜県特集番組放送（R3. 1、R3. 5）

○関ヶ原古戦場とアメリカ・ゲティスバーグ古戦場との交流促進

- ・ 欧州ナポレオン戦争の激戦地として名高いベルギーのワーテルロー古戦場と、アメリカ南北戦争最大の激戦地であるゲティスバーグ古戦場の関係者を関ヶ原古戦場に招き、世界古戦場サミットを開催。古戦場を通じた交流を続ける「世界古戦場サミット共同宣言」を表明（H28. 3）
- ・ ゲティスバーグ古戦場が所在するゲティスバーグ区と関ヶ原町は、住民の交流促進と住民同士の相互理解の促進に関する姉妹都市協定を締結（H28. 9）
- ・ ゲティスバーグ古戦場を管理するゲティスバーグ国立軍事公園と関ヶ原古戦場は、史跡や施設の維持管理、展示協力等に関する姉妹古戦場協定を締結（H28. 9）
- ・ 姉妹古戦場協定に基づく取り組みとして、ゲティスバーグ国立軍事公園より、ゲティスバーグの戦いで使用された軍服等が紹介展示用に寄贈され、関ヶ原町歴史民俗資料館にて公開展示を実施（H30. 11～）
- ・ 岐阜県と関ヶ原町より、関ヶ原の戦いで使用された甲冑のレプリカを手作りで製作し、ゲティスバーグ国立軍事公園に紹介展示用に寄贈（H31. 3）
- ・ 岐阜関ヶ原古戦場記念館オープンにあたり、ゲティスバーグ区及びゲティスバーグ国立軍事公園から、ビデオメッセージを受領（R2. 10）

○日米学生会議

- ・ 令和元年 8 月、第 71 回日米学生会議（岐阜サイト）が岐阜県で初めて開催され、参加した学生は長良川鵜飼の視察（岐阜高校生が英語で説明）、白川郷の視察に加え、岐阜市／岐阜市国際交流協会の国際交流・多文化共生の取組みを学び、最終日にはサイトフォーラムを実施

（4）中南米地域

アルゼンチン【主な交流事例】

○ブエノスアイレス州（農業）

- ・ 県内企業等の出資により（株）ギアリンクス設立（H12. 12）
- ・ 同社がアルゼンチン共和国内で、農地約 1, 250ha を取得し生産を開始（H15. 8）
- ・ 県とブエノスアイレス州が交流に関する覚書に署名（H15. 10）
- ・ 約 600t の大豆を初収穫し、そのうち約 160t を輸入（H16. 4）
- ・ 緊急時の県民食料確保等のため、本県と同社が「食料供給協定」を締結（H16. 6）

- ・ブエノスアイレス州から研修生を受入れ (H16. 9)
- ・アルゼンチンの自社農場(アルゼンチン国内で4カ所、合計1,265haを所有)で有機大豆400t、トウモロコシ200tを生産し、日本に輸出 (H21)

○在アルゼンチン岐阜県人会 (友好交流)

- ・発足 1973 (S48) 年6月
- ・在亜岐阜県人会創立10周年 (S58)
- ・在亜岐阜県人会創立30周年記念式典 (H15. 10)
- ・在アルゼンチン県人会創立35周年記念式典 (H20. 5)
- ・在アルゼンチン県人会創立40周年記念式典 (H25. 8)
- ・在アルゼンチン県人会創立45周年記念式典 (H30. 7)
- ・若手リーダーの招聘 (H31. 1)

ブラジル【主な交流事例】

○ブラジル岐阜県人会 (友好交流、多文化共生)

- ・「ブラジル岐阜県人親睦会」発足 (S13. 7)
- ・ブラジル移住80周年記念式典 (H5. 10)
- ・ブラジル県人会創立60周年記念式典 (H10. 5)
- ・ブラジル移住90周年記念式典 (H15. 10)
- ・ブラジル岐阜県人会創立70周年記念式典 (H20. 5) (日本人移住100周年)
- ・ブラジル岐阜県人会創立75周年記念式典 (H25. 8)
- ・ブラジル岐阜県人会創立80周年記念式典 (H30. 7)
- ・若手リーダーの招聘 (H31. 1)
- ・その他、県内ブラジル人支援事業、県費留学生受入事業、岐阜県農業高校生海外実習派遣事業などにおける協力関係を推進

○海外農業研修生の派遣 (農業)

- ・農業高校等において、国際的視野を持った担い手育成のため、研修派遣を継続

○県内企業の海外事業展開を支援 (産業)

- ・ブラジル岐阜県人会と連携し、日本祭りにおいて県産品(陶磁器、刃物、木製品、紙製品)のPRを実施 (R5. 7)
- ・ブラジル岐阜県人会と連携し、ブラジル岐阜県人会創立周年記念式典及びブラジル移住110周年記念式典にて県産品PRを実施 (R5. 7)
- ・ブラジル岐阜県人会と連携し、サンパウロ市内のレストランにて日本酒試飲会を実施 (R5. 12)

メキシコ【主な交流事例】

○在メキシコ岐阜県人長良会（友好交流）

- ・発足 1993（H5）年12月
- ・在メキシコ岐阜県人長良会創立15周年 知事表彰授与（H21.2）

○メキシコとの企業交流（GNI（グレート・ノバ・イニシアティブ））（産業）

- ・メキシコへの工業団地の開発状況調査や日系既進出企業等との意見交換及び情報収集を目的としてGNIメキシコ投資環境調査ミッションを実施（H27.11）

ペルー【主な交流事例】

○ペルー岐阜県人会（友好交流）

- ・発足 1983（S58）年9月
- ・ペルー岐阜県人会創立25周年 知事との懇談会実施（H20.5）
- ・ペルー岐阜県人会創立30周年記念式典（H25.8）
- ・ペルー岐阜県人会創立35周年記念式典（H30.8）
- ・若手リーダーの招聘（H31.1）

○岐阜県ペルー友好協会（友好交流）

- ・岐阜県民とペルー国民の相互理解と友好・親睦を深め国際交流に貢献することを目的として岐阜ペルー友好協会が発足（H22.11）。交流会開催（H23.10）

（5）アフリカ・中近東地域

チュニジア【主な交流事例】

○エルガザーラ IT テクノパーク（産業）

- ・「チュニジア IT パートナーセミナー」（在日チュニジア大使館主催）がソフトピアジャパンで開催され、エルガザーラ IT テクノパーク代表がプレゼンテーションを実施（H18.1）
- ・県ニューヨーク駐在員がチュニスで開催された国際展示会「SiSE」（チュニジア貿易振興センター主催）に参加、エルガザーラ IT テクノパーク視察（H18.6）
- ・同展示会に参加したソフトピアジャパン入居企業のシステムアドバンス（大垣市）とチュニジア共和国 IT 企業 C&DI 社が両社の連携と交流に関する覚書を締結（H18.6）

エジプト【主な交流事例】

○岐阜・エジプト友好協会（友好交流）

- ・岐阜県民とエジプトの相互理解と友好を深めることを目的として、岐阜・エジプト友好協会が発足（H23.3）

イラン【主な交流事例】

○東海イラン友好協会（友好交流）

- ・イランとの様々なレベルでの交流を通じて、両国の相互理解と発展に寄与することを目的に東海イラン友好協会（会長：神田真秋前愛知県知事／事務局：中嶋英子（多治見市在住））が発足（H28.7）
- ・設立記念パーティーにレザ・ナザルアハリ駐日イラン・イスラム共和国特命全権大使、外務省国際貿易・経済担当大使羽田浩二氏（元在テヘラン大使）、外務省中東2課長西永知史氏が来賓として出席（H28.7）
- ・同パーティーにおいて、陶芸家7代加藤幸兵衛氏（東海イラン友好協会幹事）から、ペルシャ陶技ラスター彩を学びに来ているイラン人陶芸家2名（ベフザド・アジュダリ氏、アッバス・アクバリ氏）を紹介
- ・7代加藤幸兵衛氏、イラン人陶芸家2名の作成したラスター彩陶壁モニュメント3作品が県に寄附され、花フェスタ記念公園に設置
- ・これを記念した除幕式（東海イラン友好協会主催）が開催され、県都市公園整備局長から3名に知事感謝状を贈呈（H28.9）
- ・花フェスタ記念公園「秋のバラまつり」の中で、H29.10.21～22を「ペルシャデイ」と位置付け、県主催でラスター彩・ペルシャ工芸品展示（茶室「織部庵」）、H28.9に寄付されたラスター彩モニュメント前の野点（ペルシャのバラの庭、※台風の為、花のミュージアムに会場変更）を実施した他、協会主催の「シルクロード茶会（薄茶席）」、イラン民族衣装、風景写真等の展示、チャイハネ（イランのお茶の振る舞い）を実施（H29.10）

イスラエル【主な交流事例】

○イスラエルとの企業交流（GNI（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ））（産業）

- ・「RBC（Regional Business Conference）in グレーター・ナゴヤ」において、グレーター・ナゴヤ地域製造業の更なる高度化、製造現場の効率化に資するAI・IoT関連の先端技術を持つ外資系企業をターゲットとした。イスラエル企業は2社招へいし、同地域への海外企業の進出を促進するとともに、県内企業とのビジネスマッチングを実施（R1.10）

モロッコ【主な交流事例】

○県民の草の根交流を支援

- ・ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会、岐阜ボランティアサークル

○ウジュダ・アンガッド府（友好交流、国際協力）

- ・在日モロッコ王国大使館が、ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会による桜の植樹をきっかけとした岐阜県とウジュダ・アンガッド府との友好交流について提案
- ・知事がモロッコを訪問し、「岐阜県とウジュダ・アンガッド府の友好交流に関する覚書」に署名（H19.8）。ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会も訪問団を派遣
- ・JICA 事業、（一財）自治体国際化協会（CLAIR）事業を活用し、県で技術研修員を受入れ、県立国際園芸アカデミーで緑地帯維持管理能力向上に係る研修を実施（H21～H23）するとともに、同研修分野の専門家を派遣して現地指導を実施（H24.1）。H24 年度からは、「再生可能エネルギー活用能力向上」をテーマとした研修を実施（H24～26）。H27 年度は、同府内のムハンマド1世大学から研修生を岐阜大学に受入れ、「地震工学」に係る研修を実施（H27）。H29 年度は、造園分野の府技術職員を招へいし県内で研修を実施（H29）
- ・知事や在岐阜モロッコ王国名誉領事（ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会会長）らが同府を訪問。その際には、両方で覚書の追加文書に署名（H30.4）
- ・同府園芸担当者を受け入れ、県内関連施設での研修および関係者との意見交換を実施（R2.2）

○マラケシュ＝サフィ府（友好交流、国際協力）

- ・知事や在岐阜モロッコ王国名誉領事（ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会会長）らがモロッコを訪問し、「岐阜県とマラケシュ・サフィ州の友好交流に関する覚書」に署名（H30.4）
- ・（公財）岐阜県国際交流センターが同州との友好交流を深めるため、友好交流担当2名を受け入れ、今後の交流に向けた意見交換や視察を実施（H30.10）

○ぎふワールド・ローズガーデン（旧花フェスタ記念公園）（友好交流）

- ・（財）花の都ぎふ花と緑の推進センターが、ぎふ・モロッコ王国・モナコ公国同好会、在日モロッコ王国大使館の協力のもと、花フェスタ記念公園に「モロッコ・ロイヤルローズガーデン」を開園（H20.10）
- ・花フェスタ 2015 ぎふ実行委員会の特別顧問に駐日モロッコ王国特命全権大使が就任し、「花フェスタ 2015 ぎふ」のレセプション、開会式に大使・参事ご一行が参加。また、モロッコ関連イベントを、大使館のアドバイスを頂きながら企画を進め、実施（H27.5/15・16）
- ・花フェスタ記念公園で、知事、駐日モロッコ王国大使館全権公使及び同好会会長らが参加し、県と在日モロッコ王国大使館の主催で日本・モロッコ王国外交関係樹立 60 周年記念行事「モロッコウィーク」を開催（H28.10.8～12）
- ・花フェスタ記念公園で、知事、駐日モロッコ王国特命全権大使、公使、日本モロッコ協会長、同好会会長らが参加し、「岐阜県とウジュダ・アンガッド府の友好交流に関する覚書」締結 10 周年、また、ラシャッドブフラル大使の初めての岐阜訪問を記念した植樹式を開催（H29.10.7）。また、H29.10.7～8 を「モロッコデイ」と位置付け、花のミュージアム前芝生広場やモロッコ・ロイヤルローズガーデン周辺にモロッコスーク（市場）をイメージした本場モロッコのグルメ、雑貨、ショッピングの他、ベリーダンスなどステージショーを展開

- ・花フェスタ記念公園「春のバラまつり&モロッコデイ」開催（H30.5.12～6.17）にあわせ、モロッコ政府産業・貿易・投資・デジタル経済大臣付投資担当国務長官による「モロッコ経済セミナー」を実施（H30.5.11）。また、モロッコデイ（H30.5.12～5.13）では、モロッコスーク（市場）をイメージした、本場モロッコのグルメやベリーダンスなどのステージショー、工芸職人によるデモンストレーションを展開
- ・岐阜県とモロッコ王国との共同プロジェクトとして、モロッコ王国との友好交流の証である、花フェスタ記念公園内「モロッコ・ロイヤルローズガーデン」の改修について、モロッコ王国手工芸庁と改修に係る覚書を締結（R1.11.8）
- ・ぎふワールド・ローズガーデン内に「モロッコガーデン」をオープン（R4.10.15）。オープニングセレモニーに併せ、モロッコ王国主催で、本場の職人による、モロッコのグルメ、手工芸、雑貨などを紹介するモロッコヴィレッジを実施（R4.10.15～10.23）

UAE【主な交流事例】

○医療福祉産業の海外展開を支援

- ・「Arab Health 2020」 ジャパンパビリオンへの県内企業 2 社の出展を支援（R2.1）
- ・「Arab Health 2021 Online showcase」（JETRO 主催）への県内企業 2 社の出展を支援（R3.5～7）
- ・「Arab Health 2023」 ジャパンパビリオンへの県内企業 1 社の出展を支援（R5.1～3）
- ・「Arab Health 2024」 ジャパンパビリオンへの県内企業 1 社の出展を支援（R6.1～2）